

令和3年度 一般会計決算附属資料

医療部 主要な施策の成果

予算科目	款	04 衛生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	医療部
	項	01 保健衛生費	1,982千円		2,036千円	54千円	97.3 %		
	目	06 医療対策費					(参考)当初予算額	課	医療政策課
	事業	01 地域医療体制整備補助金					2,036千円		
基本計画		09 地域包括医療・ケア体制の充実		主な財源					
目的	民間病院が行った施設整備に対して支援を行うことにより、市民が安心して生活できる医療環境を確保する。								
主要な事務・事業の概要	地域医療を支える民間病院の施設・設備整備に係る借入金利子を補助対象として、補助金を交付した。								
	○地域医療体制整備補助金 対象医療機関：特定医療法人三青園丹後ふるさと病院								
		1,982千円		成果・課題	民間医療機関を支援することで、地域の医療環境の確保に寄与している。				

予算科目	款	04 衛生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	医療部
	項	01 保健衛生費	60,052千円		60,052千円	0千円	100.0 %		
	目	06 医療対策費					(参考)当初予算額	課	医療政策課
	事業	02 公的病院等運営事業補助金					60,052千円		
基本計画		09 地域包括医療・ケア体制の充実		主な財源					
目的	地域に必要な不採算医療等の機能を担う公的病院等に対し、救急医療を実施する上で必要な経費に対して補助を行うことにより、本市の医療提供体制を確保する。								
主要な事務・事業の概要	公的病院等が、救急医療を実施する上で必要となる医師・看護師等職員の当直及び待機に係る費用を対象経費として補助金を交付した。								
	○公的病院等運営事業補助金		60,052千円						
	対象医療機関：公益財団法人丹後中央病院								
対象経費		：80,015千円		成果・課題	○市内の救急医療体制は、市立2病院と民間1病院が担っており、当該補助金の交付により本市における救急医療体制を維持することができた。 ○引き続き支援を行い、救急医療体制を維持していく必要がある。				

予算科目	款	04 衛生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	医療部
	項	01 保健衛生費	3,867千円		3,867千円	0千円	100.0 %		
	目	06 医療対策費					(参考)当初予算額	課	医療政策課
	事業	03 休日応急診療事業					3,867千円		
基本計画		09 地域包括医療・ケア体制の充実		主な財源					
目的	休日における急病患者の診療について、市内の医療機関に委託することにより、市民が安心して生活できる救急診療体制を確保する。								
主要な事務・事業の概要	休日や年末年始における急病患者の診療を市内の医療機関に委託した。								
	○休日応急診療業務委託料 実施医療機関：丹後ふるさと病院、中江医院、上田医院 ※弥栄病院、久美浜病院でも実施 実施日数：71日（日曜、祝日、年末年始） 午前9時から正午、午後2時から午後5時 延べ患者数：1,448人				3,867千円				
					成果・課題	○休日・年末年始において、応急的な診療を受けられる医療機関を委託により確保することで、救急診療体制を維持することができた。 ○直営で休日診療所開設する場合と比較すると、医師・看護師等の医療スタッフの体制確保の面や費用対効果の面でも業務委託が有効である。 ○実施協力医療機関の安定的な確保が課題である。			

予算科目	款	04 衛生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	医療部
	項	01 保健衛生費	105,111千円		105,111千円	0千円	100.0 %		
	目	06 医療対策費					(参考)当初予算額	課	医療政策課
	事業	04 市立診療所繰出金					105,111千円		
基本計画		09 地域包括医療・ケア体制の充実	主な財源	繰入金 再編交付金事業基金繰入金 19,000千円					
目的		誰もが安心して医療を受けられる地域医療の維持・充実を図るため、市立診療所の運営に必要な経費を繰り出す。							
主要な事務・事業の概要	国民健康保険直営診療所事業特別会計へ市立診療所運営経費及び市債の元利償還金の一部を繰り出した。								
	○国民健康保険直営診療所事業特別会計繰出金		105,111千円						
	＜繰出金の内訳＞		(単位：千円)						
		間人診療所	野間診療所	佐濃診療所	大宮・五十河診療所	宇川診療所	合 計	備 考	
	公債費	3,775		46	5,888	17,202	26,911		
	診療体制確保費用	36,014					36,014	人件費	
	医師等派遣費用	7,121	901	2,595			10,617		
	施設管理費用	328			84	97	509	修繕料、保険料等	
	医療機器等整備費用				976	1,152	2,128	建設改良費等	
	指定管理委託料				896	28,036	28,932		
	合 計	47,238	901	2,641	7,844	46,487	105,111		
		成果・課題							

予算科目	款	04 衛生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	医療部		
	項	01 保健衛生費					100.0 %				
	目	06 医療対策費	1,272,626千円		1,272,626千円	0千円	(参考)当初予算額	課	医療政策課		
	事業	05 市立病院繰出金					1,253,000千円				
基本計画		09 地域包括医療・ケア体制の充実	主な財源	国補	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金				14,000千円		
				繰入金	新型コロナウイルス感染症支え合い基金繰入金				2,000千円		
目的		市立病院の運営を維持するため、必要な経費の一部を一般会計から病院事業会計に繰り出す。									
主要な事務・事業の概要	地方公営企業法第17条の2の規定による経費の負担の原則、「地方公営企業繰出金について」等に基づき算定した繰出基準額を基本とした病院事業会計への繰出金。 ○病院事業会計繰出金 1,272,626千円 ＜繰出金の内訳＞ (単位：千円)										
			弥栄病院			久美浜病院			合 計		
				基準内	基準外		基準内	基準外		基準内	基準外
	収益的収入	医業収益	250,745	250,745	0	190,667	190,667	0	441,412	441,412	0
		医業外収益	263,609	263,352	257	205,247	204,382	865	468,856	467,734	1,122
		小計	514,354	514,097	257	395,914	395,049	865	910,268	909,146	1,122
	資本的収入	他会計負担金	13,563	0	13,563	23,371	0	23,371	36,934	0	36,934
		出資金	155,608	101,458	54,150	169,816	118,692	51,124	325,424	220,150	105,274
		小計	169,171	101,458	67,713	193,187	118,692	74,495	362,358	220,150	142,208
	合 計		683,525	615,555	67,970	589,101	513,741	75,360	1,272,626	1,129,296	143,330

予算科目	款	04 衛生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	医療部
	項	01 保健衛生費	7,200千円		7,200千円	0千円	100.0 %		
	目	06 医療対策費					(参考)当初予算額	課	医療政策課
	事業	06 医療確保奨学金貸与事業					18,000千円		
基本計画		09 地域包括医療・ケア体制の充実		主な財源					
目的	市立病院等の医療機関において医師業務に従事する意思を有する者に対し、奨学金を貸与することにより、市の医療体制の充実に必要な医師の確保を図る。								
主要な事務・事業の概要	将来、市立病院等の市内医療機関に医師として勤務する意思を有する医学生及び研修医に対し、奨学金を貸与した。								
	○医療確保奨学金等貸与額 貸与者 ： 3人（うち、新規貸与者なし） 貸与期間 ： 令和3年4月～令和4年3月 ・一般診療科志望者（小児科、産婦人科以外）への貸与 月額200千円×12月×3人								
				成果・課題	○令和3年度までの貸与者23人（貸与中3人含む）のうち、これまで7人が市立病院に勤務しており、目的に対する成果が発現している。 ○制度利用希望者への周知のため、広報を強化するとともに、指導医の確保に努めるなど、制度利用者が市立病院等の市内医療機関で勤務しやすい体制を整える必要がある。				

予算科目	款	04 衛生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	医療部
	項	01 保健衛生費	2,568千円		2,686千円	118千円	95.6 %		
	目	06 医療対策費					(参考)当初予算額	課	医療政策課
	事業	50 医療対策一般経費					3,735千円		
基本計画		09 地域包括医療・ケア体制の充実		主な財源	諸収入 市有自動車損害共済金 64千円				
目的		地域医療の充実と市立病院・市国民健康保険直営診療所の運営、調整のための一般経費							
主要な事務・事業の概要		地域医療の充実を図るために必要となる事務を執行するとともに、医療確保のため京都府立医科大学等の大学関係者や医療関係者を訪問した。 ○旅費 15千円 ○消耗品費（書籍、事務用品等） 49千円 ○修繕料 64千円 ○有料道路通行料、駐車場使用料 11千円 ○会計年度任用職員任用経費（1人） 2,377千円 ○京丹後市立病院改革プランに係る有識者会議開催経費（1回/全4回） 52千円 ・委員謝金（6人、委員数：7人） 24千円 ・費用弁償 1千円 ・有識者会議座長との打ち合わせ旅費等 27千円							
				成果・課題	引き続き医師の招へいに向けた情報収集や要望活動を展開するとともに、本市の医療提供の現状確認、医療機関連携等考えながら、更なる医療提供体制の充実に努める必要がある。				

令和3年度 一般会計決算附属資料

健康長寿福祉部 主要な施策の成果

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部
	項	01 社会福祉費	490千円		493千円	3千円	99.3 %		
	目	01 社会福祉総務費					(参考)当初予算額	課	生活福祉課
	事業	02 行旅死亡人等取扱事務					217千円		
基本計画		18 支え合い、助け合う地域福祉の推進		主な財源	諸収入 行旅死亡人等遺留金品 191千円				
目的	市内において、旅行中に死亡し引取者のいない方や、市内で死亡し引取者のない方に対し、墓地、埋葬等に関する法律に基づき縁故者に代わって援助措置を行う。								
主要な事務・事業の概要	○「墓地、埋葬等に関する法律」に基づくもの 490千円								
	京丹後市民であって、葬祭、埋葬をする者がいないとき又は判明しないときは、墓地、埋葬等に関する法律により、死亡地の市町村長が、これを行わなければならない。 該当者（3体）について、葬祭、火葬を行った。								
主要な事務・事業の概要	・ 遺骨保管謝金 30千円				成果・課題	行旅病人及行旅死亡人取扱法及び墓地、埋葬等に関する法律に基づき、事務を適正に執行できた。			
	・ 消耗品費（棺、骨箱等） 174千円								
主要な事務・事業の概要	・ 死体検案書作成手数料 37千円				成果・課題	行旅病人及行旅死亡人取扱法及び墓地、埋葬等に関する法律に基づき、事務を適正に執行できた。			
	・ 遺体搬送料 78千円								
主要な事務・事業の概要	・ 火葬料 45千円				成果・課題	行旅病人及行旅死亡人取扱法及び墓地、埋葬等に関する法律に基づき、事務を適正に執行できた。			
	・ 遺体処置料 57千円								
主要な事務・事業の概要	・ 霊安室使用料 69千円				成果・課題	行旅病人及行旅死亡人取扱法及び墓地、埋葬等に関する法律に基づき、事務を適正に執行できた。			

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部																								
	項	01 社会福祉費	479千円		481千円	2千円	99.5 %																										
	目	01 社会福祉総務費					(参考)当初予算額	課	生活福祉課																								
	事業	03 ぐらしの資金貸付事業					1,171千円																										
基本計画	18 支え合い、助け合う地域福祉の推進		主な財源	諸収入 ぐらしの資金貸付金元金収入 130千円																													
目的	一時的に生活が不安定な低所得者世帯に対し、ぐらしのための緊急に必要とする資金の貸付を行い、自立更生及び生活意欲の促進を図る。																																
主要な事務・事業の概要	○ぐらしの資金貸付金 310千円 貸付を希望する一時的に生活が不安定な低所得者世帯に対し、面談による状況聴取を行い、申請を受け付けて貸付審査会の審査を経て資金の貸付を行った。 《貸付実績》 <table><tr><td></td><td>平成29年度</td><td>平成30年度</td><td>令和元年度</td><td>令和2年度</td><td>令和3年度</td></tr><tr><td>申請件数</td><td>14件</td><td>8件</td><td>2件</td><td>3件</td><td>6件</td></tr><tr><td>貸付件数</td><td>10件</td><td>7件</td><td>1件</td><td>3件</td><td>4件</td></tr><tr><td>貸付金額</td><td>1,000千円</td><td>890千円</td><td>45千円</td><td>300千円</td><td>310千円</td></tr></table> ○貸付金管理台帳システム委託料（保守） 130千円 ○需用費（消耗品費、印刷製本費） 39千円				平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	申請件数	14件	8件	2件	3件	6件	貸付件数	10件	7件	1件	3件	4件	貸付金額	1,000千円	890千円	45千円	300千円	310千円						
				平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度																									
			申請件数	14件	8件	2件	3件	6件																									
			貸付件数	10件	7件	1件	3件	4件																									
			貸付金額	1,000千円	890千円	45千円	300千円	310千円																									
				成果・課題	○一時的に生活が不安定な低所得者世帯に対し、緊急的な貸付支援を行うことで、世帯の自立更生及び生活意欲の助長促進を図ることができた。 ○収入や一時的な困窮などの対象要件に合致しない相談者には、他の支援につないだ。																												

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部																									
	項	01 社会福祉費	21,961千円		22,186千円	225千円	98.9 %		課	生活福祉課																								
	目	01 社会福祉総務費					(参考)当初予算額																											
	事業	05 民生児童委員活動事業					22,791千円																											
基本計画		18 支え合い、助け合う地域福祉の推進		主な財源	府補	民生委員・児童委員活動費補助金				12,025千円																								
目的		民生児童委員活動を支援するとともに、活動に対して補助金を交付し、民生児童委員活動の充実を図る。			府補	民生児童委員協議会会長活動費補助金				72千円																								
					府補	民生児童委員協議会地域福祉活動促進費補助金				1,018千円																								
主要な事務・事業の概要	○単位民生児童委員協議会活動費補助金				21,761千円		○研修会等経費				200千円																							
	<table><tr><td></td><td>委員数</td><td>補助金額</td></tr><tr><td>峰山町</td><td>41人</td><td>4,439千円</td></tr><tr><td>大宮町</td><td>31人</td><td>3,382千円</td></tr><tr><td>網野町</td><td>45人</td><td>4,859千円</td></tr><tr><td>丹後町</td><td>26人</td><td>2,842千円</td></tr><tr><td>弥栄町</td><td>19人</td><td>2,123千円</td></tr><tr><td>久美浜町</td><td>38人</td><td>4,116千円</td></tr><tr><td>合計</td><td>200人</td><td>21,761千円</td></tr></table>			委員数	補助金額	峰山町	41人	4,439千円	大宮町	31人	3,382千円	網野町	45人	4,859千円	丹後町	26人	2,842千円	弥栄町	19人	2,123千円	久美浜町	38人	4,116千円	合計	200人	21,761千円			・旅費、有料道路通行料		39千円			
		委員数	補助金額																															
	峰山町	41人	4,439千円																															
大宮町	31人	3,382千円																																
網野町	45人	4,859千円																																
丹後町	26人	2,842千円																																
弥栄町	19人	2,123千円																																
久美浜町	38人	4,116千円																																
合計	200人	21,761千円																																
				・バス運転委託料		123千円																												
				・消耗品費、燃料費		22千円																												
				・会場借上料		16千円																												
		※委員の任期：令和元年12月1日～令和4年11月30日																																
		単位民生児童委員協議会の研修会等実施回数				成果・課題	○民生児童委員活動に補助金を交付し、活動を支援した。 ○コロナ禍での活動となり、全員研修会や視察ができず、単位民児協を中心とした活動となったが、単位民児協の研修への支援ができた。 ○複雑なケースが増加する中、民生児童委員に求められる知識は非常に幅広く負担が大きくなっているため、負担軽減についての検討を継続して実施していく必要がある。																											
		<table><tr><td>町域</td><td>峰山町</td><td>大宮町</td><td>網野町</td><td>丹後町</td><td>弥栄町</td><td>久美浜町</td></tr><tr><td>回数</td><td>6</td><td>2</td><td>13</td><td>2</td><td>2</td><td>3</td></tr></table>										町域	峰山町	大宮町	網野町	丹後町	弥栄町	久美浜町	回数	6	2	13	2	2	3									
町域	峰山町	大宮町	網野町	丹後町	弥栄町	久美浜町																												
回数	6	2	13	2	2	3																												

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部
	項	01 社会福祉費	812千円		820千円	8千円	99.0 %		
	目	01 社会福祉総務費					(参考)当初予算額	課	生活福祉課
	事業	06 戦没者追悼事業					820千円		
基本計画		18 支え合い、助け合う地域福祉の推進		主な財源	府補 援護事務交付金（10/10）151千円				
目的	戦没者を追悼し、遺族を慰謝激励するとともに、平和を祈念する。								
主要な事務・事業の概要	○京丹後市戦没者追悼式（参列者数：243人）607千円 開催日：令和3年11月10日（水） 場 所：京都府丹後文化会館 ・需用費（祭壇、送迎バス燃料費ほか）182千円 ・役務費（クリーニング代ほか）51千円 ・委託料（送迎用マイクロバス運転委託料）32千円 ・使用料及び賃借料（送迎バス借上料、会場借上料）342千円 ※新型コロナウイルス感染防止対策を講じた上で実施				○その他（援護事務に係る経費）205千円 ・需用費（消耗品費）168千円 ・役務費（郵送料）37千円				
	○京都府戦没者追悼式（参列者数：13人） 開催日：令和3年10月14日（木） 場 所：国立京都国際会館（京都市） ※新型コロナウイルス感染防止対策のため規模を縮小し実施				成果・課題	○戦没者を追悼し、遺族を慰謝激励するとともに、世界の恒久平和を願うことができた。 ○戦後75年以上が経過し、いかに戦争の記憶を風化させず、平和の尊さを語り継いでいくのかが、大きな課題となっている。 ○戦没者遺族の高齢化に伴い、戦没者追悼式の参列者が減少していることから、開催内容等について、検討する必要がある。			

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部
	項	01 社会福祉費	65,265千円	65,265千円	0千円	100.0 %		
	目	01 社会福祉総務費				(参考)当初予算額	課	生活福祉課
	事業	08 社会福祉協議会運営費助成事業				65,265千円		
基本計画	18 支え合い、助け合う地域福祉の推進		主な財源					
目的	京丹後市社会福祉協議会事務職員の人件費の補助を行うことで、円滑な協議会運営を支援し、社会福祉活動の充実を図る。							
主要な事務・事業の概要	○社会福祉協議会運営費補助金		65,265千円					
	※社会福祉協議会の補助対象職員：17人							
		補助対象職員数	補助金					
	H28	17人	67,500千円					
	H29	19人	67,500千円					
	H30	19人	67,500千円					
	R元	19人	66,840千円					
	R2	17人	71,264千円					
	R3	17人	65,265千円					
社会福祉協議会は、社会福祉法第109条に規定された「地域福祉の推進」を目的とする社会福祉法人。市が策定した「地域福祉計画」と密接な関連を持ち、福祉関係機関や団体、地域住民等と連携しながら積極的に取組を進めている。								
成果・課題	社会福祉協議会本所及び6支所の事務職員人件費の補助を行うことで、協議会の円滑な運営に寄与するとともに、地域福祉活動の充実を図ることができた。							

予算科目目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部																		
	項	01 社会福祉費	880千円		900千円	20千円	97.7 %																				
	目	01 社会福祉総務費					(参考)当初予算額	課	生活福祉課																		
	事業	09 災害見舞金等事業					400千円																				
基本計画		18 支え合い、助け合う地域福祉の推進		主な財源																							
目的		被災された市民に対し見舞金・弔慰金を支給し、被災者の生活を支援する。																									
主要な事務・事業の概要	京丹後市災害見舞金等支給要綱の規定に基づき、被災された市民の方に対し、災害見舞金・弔慰金を支給した。 ○災害見舞金 380千円 ・火災によるもの： 8件 370千円 <table><tr><td rowspan="2"></td><td colspan="2">全 焼</td><td colspan="2">部分焼</td></tr><tr><td>件数</td><td>見舞金</td><td>件数</td><td>見舞金</td></tr><tr><td>住 家</td><td>7件</td><td>350千円</td><td>1件</td><td>20千円</td></tr><tr><td>非 住 家</td><td>0件</td><td>0千円</td><td>0件</td><td>0千円</td></tr></table> ・風水害によるもの： 1件（非住家・部分壊） 10千円 ○災害弔慰金 500千円 ・住家全焼による世帯主死亡： 1件 300千円 ・住家全焼による世帯主以外の者の死亡： 1件 200千円				全 焼		部分焼		件数	見舞金	件数	見舞金	住 家	7件	350千円	1件	20千円	非 住 家	0件	0千円	0件	0千円	成果・課題	○京丹後市災害見舞金等支給要綱の規定に基づき、災害見舞金を支給することで、被災者の生活を支援することができた。 ○令和3年10月に発生した建物火災により死亡された方のご家族に対し、迅速に災害弔慰金を支給した。			
						全 焼		部分焼																			
				件数		見舞金	件数	見舞金																			
				住 家	7件	350千円	1件	20千円																			
非 住 家	0件	0千円	0件	0千円																							

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部
	項	01 社会福祉費	32千円		32千円	0千円	100.0 %		
	目	01 社会福祉総務費					(参考)当初予算額	課	生活福祉課
	事業	10 地域再建被災者住宅等支援事業					32千円		
基本計画		18 支え合い、助け合う地域福祉の推進		主な財源	府補 地域再建被災者住宅等利子補給補助金 32千円				
目的	平成29年台風18号災害で住宅等に被害を受けた市民が行う被災住宅の再建等に対し補助金を交付することにより、被災住宅の復旧を図る。								
主要な事務・事業の概要	平成29年台風18号で被災した大規模災害に係る地域再建被災者住宅等支援事業補助金交付要綱に基づき、住宅補修及び再建に関連する経費に対し補助金を交付した。								
	○地域再建被災者住宅等利子補給補助金 1件 32千円								
				成果・課題	平成29年台風18号災害で床上浸水の被害を受けた住宅を再建するために補助金を交付し、被災住宅の復旧を支援することができた。				

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部
	項	01 社会福祉費	217千円		283千円	66千円	76.6 %		
	目	01 社会福祉総務費					(参考)当初予算額	課	生活福祉課
	事業	11 健康と福祉のまちづくり審議会事業					603千円		
基本計画		18 支え合い、助け合う地域福祉の推進		主な財源					
目的	審議会で市長の諮問に応じた各福祉分野の調査、研究及び審議等を行い、市民の健康づくりと福祉の増進を図る。								
主要な事務・事業の概要	○審議内容：第4次京丹後市地域福祉計画について 第3次京丹後市健康増進計画について ○審議会委員：15人 ○委員任期：令和3年6月2日から令和4年6月1日 ○審議会開催：2回 ○部会開催：地域福祉部会4回 延べ 26人 健康推進部会4回 延べ 24人				217千円				
	・ 委員報酬（4,000円×支払い対象延べ50人） ・ 費用弁償				200千円 17千円				
					成果・課題	第4次京丹後市地域福祉計画及び第3次京丹後市健康増進計画について、それぞれ審議いただき、計画策定に向けた答申をいただくことができた。			

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部																		
	項	01 社会福祉費	116,267千円		116,297千円	30千円	99.9 %																				
	目	01 社会福祉総務費					(参考)当初予算額	課	生活福祉課																		
	事業	12 峰山総合福祉センター管理事業					116,434千円																				
基本計画		18 支え合い、助け合う地域福祉の推進	主な財源	使用料	峰山総合福祉センター使用料				74千円																		
				使用料	公有財産使用料				40千円																		
				諸収入	峰山総合福祉センター光熱水費負担金				19千円																		
目的		福祉事務所としての峰山総合福祉センターの維持管理のほか、市民や各種団体に会議・イベント等で幅広く活用していただけるよう設備機能を維持管理する。		市債	峰山総合福祉センター整備事業債（合併特例債）				98,200千円																		
主要な事務・事業の概要	○総合福祉センター維持管理経費		12,835千円		[参考]																						
	・消耗品費（清掃・衛生消耗品、蛍光灯ほか）		153千円		峰山総合福祉センター利用実績（貸館）																						
	・燃料費（冷暖房用灯油代）		2,282千円		<table><tr><td></td><td>利用件数</td><td>利用人数</td></tr><tr><td>コミュニティホール</td><td>132件</td><td>5,043人</td></tr><tr><td>研修室</td><td>31件</td><td>291人</td></tr><tr><td>和室1</td><td>5件</td><td>36人</td></tr><tr><td>和室2</td><td>3件</td><td>19人</td></tr><tr><td>合計</td><td>171件</td><td>5,389人</td></tr></table>						利用件数	利用人数	コミュニティホール	132件	5,043人	研修室	31件	291人	和室1	5件	36人	和室2	3件	19人	合計	171件	5,389人
		利用件数	利用人数																								
	コミュニティホール	132件	5,043人																								
	研修室	31件	291人																								
	和室1	5件	36人																								
	和室2	3件	19人																								
	合計	171件	5,389人																								
	・光熱水費（電気、上下水道）		5,002千円																								
・修繕料		937千円																									
（空調設備修繕、コミュニティホール照明修繕ほか）																											
・通信運搬費（FAX通信料、火災通報用回線通信料）		105千円																									
・手数料（貯水槽法定検査、地下タンク検査）		115千円																									
・火災保険料		38千円																									
・日直代行業務委託料（業務時間外、休日・祝日等貸館対応）		1,112千円																									
・施設清掃委託料（センター内清掃・福祉団体へ委託）		434千円		※利用件数及び利用人数は、利用申請書により計上。																							
・設備維持管理及び保守点検業務委託料		2,288千円																									
（自家用電気工作物保安管理、消防設備、エレベーター保守ほか）																											
・土地借上料（公用車駐車場）		350千円																									
・清掃用具借上料		19千円		成果・課題																							
○総合福祉センター西館屋根等改修工事		103,432千円																									
・工事監理委託料		2,444千円																									
・工事請負費（屋根、壁面改修工事）		100,988千円		○適正な施設管理により福祉事務所の機能維持を図るとともに、総合福祉センターとして市民や各種団体に幅広く利用してもらい、市民の健康づくりと福祉の充実を図ることができた。 ○施設の老朽化が進んでいる中、漏水対策として屋根や壁面改修工事等を行ったが、今後も計画的に維持管理を行っていく必要がある。																							

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部								
	項	01 社会福祉費	345千円		6,645千円	6,300千円	5.1 %										
	目	01 社会福祉総務費					(参考)当初予算額	課	生活福祉課								
	事業	14 災害時要配慮者支援事業					372千円										
基本計画		18 支え合い、助け合う地域福祉の推進															
目的		災害時の避難支援プランに基づき、避難行動要支援者登録台帳の継続的な管理を行うため、関係機関との情報共有を図り、災害に備えた地域の協力体制づくりを推進する。		主な財源													
主要な事務・事業の概要		避難行動要支援者登録台帳の管理・定期更新を行った。															
		○消耗品費（ファイル、ラベルシール、コピー用紙ほか）25千円															
		○通信運搬費（郵送料）188千円															
		○災害時要配慮者支援台帳システム保守料132千円															
		【避難行動要支援者登録台帳】 災害が発生する可能性がある時又は発生した場合、自力では避難が困難な在宅の高齢者や障害者の方などを、地域の方々や消防署などが協力し、助け合いながらスムーズな避難行動を行うことを目的として、避難行動要支援者登録台帳を整備している。 この台帳は、毎年3月1日を基準日として、区長、民生児童委員の協力により見直しを行っている。 ※要支援者台帳登録者数															
		<table><tr><td></td><td>登録者数</td><td>対前年</td></tr><tr><td>令和3年3月31日現在</td><td>1,547人</td><td>70人増</td></tr><tr><td>令和4年3月31日現在</td><td>1,471人</td><td>76人減</td></tr></table>			登録者数	対前年	令和3年3月31日現在	1,547人	70人増	令和4年3月31日現在	1,471人	76人減					
	登録者数	対前年															
令和3年3月31日現在	1,547人	70人増															
令和4年3月31日現在	1,471人	76人減															
		【台帳共有先】 ・自治会、民生児童委員、京丹後警察署、京丹后市社会福祉協議会、避難支援者 ・市の関係部署 長寿福祉課、障害者福祉課、健康推進課、総務課、各市民局、消防署															

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部
	項	01 社会福祉費	600千円		600千円	0千円	100.0 %		
	目	01 社会福祉総務費					(参考)当初予算額	課	長寿福祉課
	事業	18 介護福祉士養成奨学金貸与事業					1,800千円		
基本計画		20 暮らしに生きがいのある健康長寿のまちづくり		主な財源					
目的	市内の福祉施設において介護福祉士として従事しようとする意思を有する者に対して、奨学金を貸与することにより、介護福祉士の養成及び市内介護事業所への就職を促進し、福祉体制の充実を図る。								
主要な事務・事業の概要	将来、市内の福祉施設等に介護福祉士として勤務する意思を有する者に対し、奨学金を貸与した。			600千円					
	○介護福祉士養成奨学金貸与事業 貸与者：1人（50千円/月） 貸与期間：令和3年4月～令和4年3月（2年目）								
				成果・課題	将来、本市において、介護福祉士として介護等事業所への就業促進を図るため、本事業の周知・広報活動を強化し、制度利用者を増やす必要がある。				

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部
	項	01 社会福祉費	1,744千円		1,829千円	85千円	95.3 %		
	目	01 社会福祉総務費					(参考)当初予算額	課	長寿福祉課
	事業	19 権利擁護支援体制整備推進事業					1,829千円		
基本計画		20 暮らしに生きがいのある健康長寿のまちづくり		主な財源	国補	障害者地域生活支援事業費補助金（1/2）			135千円
目的	成年後見制度の利用の促進に関する法律に基づき、判断能力が十分でない高齢者、知的障害者及び精神障害者等が成年後見制度を円滑に利用できるような体制づくりを行い、身近な住み慣れた地域で安心できる「ささえあい」による権利擁護の推進を図る。				府補	地域医療介護総合確保事業費補助金（10/10）			1,255千円
					府補	新型コロナウイルス感染症対策強化事業費補助金（3/4）			74千円
					府補	障害者地域生活支援事業費補助金（1/4）			67千円
主要な事務・事業の概要	地域における成年後見制度を始めとした権利擁護支援体制の整備の事務局・相談窓口として成年後見サポートセンターを設置し、日常的な相談対応のほか、専門職等との連携による権利擁護チームの支援、普及啓発活動、権利擁護支援を担う人材養成などの取組を行った。 ○権利擁護支援体制あり方検討委員会開催経費 ・委員謝金（委員7人、開催3回） ・委員費用弁償（委員7人、開催3回） ・消耗品費（事務用品） ・郵便代 ○普及啓発・担い手養成事業の実施 ・普及啓発・担い手養成事業委託料 （委託先：京丹後市社会福祉協議会）				○相談支援体制等に関する経費				99千円
					・アドバイザー謝金				12千円
					・備品購入費				87千円
成果・課題						○権利擁護支援体制あり方検討委員会での検討・連携のもと、専門職と協働して市民に向けた啓発講座の開催など、権利擁護支援の体制づくりに取り組めた。 ○成年後見制度が必要となる人が増える中、近隣市町とも連携しながら、制度の普及啓発とともに、地域での見守りや担い手の仕組みづくりを進める必要がある。			

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部
	項	01 社会福祉費	2,646千円		3,000千円	354千円	88.2 %		
	目	01 社会福祉総務費					(参考)当初予算額	課	長寿福祉課
	事業	21 福祉施設入所予定者PCR検査費用支援事業					12,000千円		
基本計画		20 暮らしに生きがいのある健康長寿のまちづくり		主な財源	国補 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 2,000千円				
					繰入金 新型コロナウイルス感染症支え合い基金繰入金 500千円				
目的	高齢者福祉施設等における新型コロナウイルス感染症の発生を未然に防ぎ、安心して介護サービスが利用出来る環境を整えることを目的に、新規の入所予定者に対してPCR検査を実施した法人を支援する。								
主要な事務・事業の概要	○福祉施設入所予定者PCR検査費用補助金 2,646千円								
	対象施設等：入所（入居）系の高齢者福祉施設、障害者福祉施設								
	補助率：10/10（補助上限額：1人当たり2万円）								
	サービス種別	申請法人	人数	補助金額					
	特別養護老人ホーム	（福）みねやま福祉会	25人	444千円					
		（福）丹後大宮福祉会	6人	86千円					
		（福）丹後福祉会	18人	131千円					
		（福）はしうど福祉会	14人	239千円					
		（福）あしぎぬ福祉会	11人	146千円					
		（福）北丹後福祉会	16人	263千円					
		（福）太陽福祉会	10人	160千円					
	認知症対応型共同生活介護	（福）みねやま福祉会	7人	107千円					
		（特非）ふくし京丹後	7人	97千円					
		（福）丹後大宮福祉会	2人	40千円					
		（福）丹後福祉会	1人	4千円					
		（福）太陽福祉会	3人	50千円					
	介護老人保健施設	（福）社会福祉協議会	3人	21千円					
養護老人ホーム	（福）あしぎぬ福祉会	4人	62千円						
				成果・課題					

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部																							
	項	01 社会福祉費	565,680千円		601,377千円	35,697千円	94.0 %																									
	目	01 社会福祉総務費					(参考)当初予算額	課	生活福祉課																							
	事業	23 住民税非課税世帯等臨時特別給付金給付事業					0千円																									
基本計画		18 支え合い、助け合う地域福祉の推進		主な財源	国補 住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業補助金(10/10) 565,097千円																											
目的		新型コロナウイルス感染症の影響を受けている住民税非課税世帯等の生活・暮らしの支援として臨時特別給付金を支給する。																														
主要な事務・事業の概要	○会計年度任用職員任用経費（2人） 417千円				【住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業の概要】																											
	○職員手当等（時間外勤務手当等） 412千円				●給付額：対象世帯1世帯につき10万円																											
	○需用費（消耗品費、印刷製本費） 453千円				●支給対象世帯																											
	○役務費（通信運搬費、払込料金取扱手数料） 2,253千円				令和3年度住民税非課税世帯（基準日：令和3年12月10日）																											
	○負担金、補助及び交付金 562,145千円				(単位：世帯)																											
参考	・京都府自治体情報化推進協議会システム改修負担金 745千円				<table><tr><th colspan="3">プッシュ方式（確認書）</th><th colspan="2">転入者・措置入所者等</th><th colspan="2">家計急変世帯</th><th rowspan="2">支給合計</th></tr><tr><th>送付</th><th>支給</th><th>拒否等</th><th>申請</th><th>支給</th><th>申請</th><th>支給</th></tr><tr><td>5,899</td><td>5,544</td><td>49</td><td>27</td><td>27</td><td>43</td><td>43</td><td>5,614</td></tr></table>					プッシュ方式（確認書）			転入者・措置入所者等		家計急変世帯		支給合計	送付	支給	拒否等	申請	支給	申請	支給	5,899	5,544	49	27	27	43	43	5,614
	プッシュ方式（確認書）			転入者・措置入所者等						家計急変世帯		支給合計																				
	送付	支給	拒否等	申請						支給	申請		支給																			
5,899	5,544	49	27	27	43	43	5,614																									
・住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金 561,400千円				※プッシュ方式（確認書）において、送付数と支給数の差について、拒否等を除いた以外の要因は、他市町に居住している親族の扶養となっているなど、対象にならないため返送をしない方、又は住所地で生活をしていないなど、実際の居住地が不明な方などが存在しているためである。																												
■令和4年度への繰越事業				返送がない対象者については、確認書の再送付及び市が把握している転送先がないかのチェックなどを行った。																												
・住民税非課税世帯等臨時特別給付金 35,447千円				成果・課題	新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、様々な困難に直面した方々に対し、速やかに生活・暮らしの支援を行うことができた。																											
(令和4年9月完了予定)																																

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部																			
	項	01 社会福祉費	1,222千円		2,000千円	778千円	61.1 %																					
	目	01 社会福祉総務費					(参考)当初予算額	課	長寿福祉課																			
	事業	24 福祉施設等抗原定性検査キット購入費用支援事業					0千円																					
基本計画		20 暮らしに生きがいのある健康長寿のまちづくり		主な財源	繰入金 新型コロナウイルス感染症支え合い基金繰入金 1,000千円																							
目的	福祉施設等において、新型コロナウイルス感染症の感染拡大及び安全で安定的な事業活動を継続することを目的に、施設職員や利用者等の健康状態を確認するために使用する抗原定性検査キットの購入費用の一部を補助する。																											
主要な事務・事業の概要	○福祉施設等抗原定性検査キット購入費用補助金 1,222千円 対象施設等：高齢者福祉施設、障害者福祉施設、児童福祉施設 ※市内で福祉施設等を運営している社会福祉法人等への補助 補助率：2/3 補助上限額：1法人当たり25万円				【内訳】																							
					<table><tr><th>申請法人</th><th>補助金額</th></tr><tr><td>(公社)京丹後市シルバー人材センター</td><td>29千円</td></tr><tr><td>(福)はしうど福祉会</td><td>57千円</td></tr><tr><td>(福)あしぎぬ福祉会</td><td>57千円</td></tr><tr><td>(福)丹後大宮福祉会</td><td>250千円</td></tr><tr><td>(福)太陽福祉会</td><td>58千円</td></tr><tr><td>(福)みねやま福祉会</td><td>72千円</td></tr><tr><td>(福)よさのうみ福祉会</td><td>250千円</td></tr><tr><td>(福)あみの福祉会</td><td>250千円</td></tr><tr><td>(福)丹後福祉会</td><td>29千円</td></tr><tr><td>(福)京丹後市社会福祉協議会</td><td>170千円</td></tr><tr><td>合 計</td><td>1,222千円</td></tr></table>					申請法人	補助金額	(公社)京丹後市シルバー人材センター	29千円	(福)はしうど福祉会	57千円	(福)あしぎぬ福祉会	57千円	(福)丹後大宮福祉会	250千円	(福)太陽福祉会	58千円	(福)みねやま福祉会	72千円	(福)よさのうみ福祉会	250千円	(福)あみの福祉会	250千円	(福)丹後福祉会
申請法人	補助金額																											
(公社)京丹後市シルバー人材センター	29千円																											
(福)はしうど福祉会	57千円																											
(福)あしぎぬ福祉会	57千円																											
(福)丹後大宮福祉会	250千円																											
(福)太陽福祉会	58千円																											
(福)みねやま福祉会	72千円																											
(福)よさのうみ福祉会	250千円																											
(福)あみの福祉会	250千円																											
(福)丹後福祉会	29千円																											
(福)京丹後市社会福祉協議会	170千円																											
合 計	1,222千円																											
成果・課題	施設で陽性者が確認された場合における、施設利用者や介護等従事者の健康状態を早期に確認し、事業の継続や人員体制の確保に向けた環境整備に寄与することができた。																											

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部
	項	01 社会福祉費	6,693千円		7,087千円	394千円	94.4 %		
	目	01 社会福祉総務費					(参考)当初予算額	課	生活福祉課
	事業	50 社会福祉総務一般経費					8,842千円		
基本計画		18 支え合い、助け合う地域福祉の推進		主な財源					
目的	福祉事務所の円滑な運営を行うための事務経費のほか、ひとり親家庭等の自立や障害者の社会参加を促進するため、社会福祉団体に補助金を交付し、福祉の向上を図る。								
主要な事務・事業の概要	○福祉事務所共通物品購入経費（事務用品、封筒等）		2,516千円						
	○福祉事務所公用車管理経費		3,295千円						
	・修繕料（公用車車検、定期点検、修理費等）		1,310千円						
	・燃料費		1,345千円						
	・役務費（自動車登録、自賠責保険料等）		522千円						
	・公課費（自動車重量税）		118千円						
	○職員旅費、有料道路通行料等		7千円						
	○母子家庭奨学金申請書に関する通知書郵送料		71千円						
	○安全運転管理者講習会負担金		9千円						
	○ごみ持込処理手数料		57千円						
	○社会福祉団体事業補助金		378千円						
	・母子寡婦福祉会活動補助金		317千円						
	・障害者団体活動補助金		61千円						
	○会計年度任用職員任用経費（産休育休代替）（1人）		360千円						
	・報酬		330千円						
	・費用弁償		30千円						
				成果・課題	○福祉事務所の運営を円滑に実施することができた。 ○社会福祉団体へ補助金の交付を行うことにより、ひとり親家庭等の自立や障害者の社会参加の促進に寄与することができた。				

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部		
	項	01 社会福祉費	15,271千円		15,719千円	448千円	97.1 %		課	生活福祉課	
	目	02 くらしとしごと寄り添い支援費					(参考)当初予算額				
	事業	01 自立相談支援事業					12,326千円				
基本計画		18 支え合い、助け合う地域福祉の推進		主な財源	使用料	公有財産使用料				29千円	
目的		多様な問題を抱える生活困窮者に対して、自立相談支援員による伴走型の支援等によって日常生活や社会生活、就労等による金銭的な自立の促進を図るとともに、生活困窮者支援を通じた地域内外のネットワークの構築により、支え合い、助け合う地域づくりを推進する。			国負	生活困窮者自立支援負担金（3/4）				8,316千円	
					国補	生活困窮者自立支援補助金（2/3）				241千円	
					諸収入	寄り添い支援総合センター光熱水費負担金				188千円	
主要な事務・事業の概要	○会計年度任用職員任用経費（自立相談支援員）				9,674千円		《支援実績》				
	・報酬（3人）				6,758千円		年度	新規相談者数 （うち市民相談）	前年度から 引き継ぎ数	プラン 作成数	就労者数
	・期末手当（3人）				1,425千円		H30	186人 （104人）	56人	80件	15人
	・社会保険料、雇用保険料				1,340千円		R元	168人 （105人）	73人	77件	17人
	・費用弁償（通勤費）				151千円		R2	305人 （160人）	54人	164件	21人
	○その他相談支援等経費				2,209千円		R3	264人 （118人）	174人	302件	20人
	・研修等旅費（自立相談支援員、事務職員）				55千円						
	・光熱水費				550千円						
	・燃料費				200千円						
	・通信運搬費（電話代、光回線使用料等）				486千円						
	・相談支援等公用車経費（リース、保険料）				506千円						
	・コピー機借上料				9千円						
	・ソフトウェア等使用料				85千円						
	・消耗品費（事務用品、コピーチャージ料）				309千円						
・その他支援センター維持管理等経費				9千円							
○過年度国庫支出金返還金（生活困窮者自立支援負担金）				3,388千円		成果・課題	○フリーダイヤルやLINE、来所による相談に加え、庁内や関係機関及び地域事業所からの紹介や総合相談会など相談しやすい環境整備につとめた。 ○コロナ禍の影響による収入減少者に対して、社会福祉協議会の生活福祉資金貸付と連携することで生活の維持を支援することができた。（対象数98件） ○伴走型支援によって、各種制度へのつなぎに加え、就労（20人）、勤務時間の増加や副業等による増収（38人）につなげることができた。				

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部																																			
	項	01 社会福祉費	4,170千円		4,410千円	240千円	94.5 %																																					
	目	02 暮らしとしごと寄り添い支援費					(参考)当初予算額	課	生活福祉課																																			
	事業	02 離職者等支援事業					2,870千円																																					
基本計画		18 支え合い、助け合う地域福祉の推進		主な財源	国負 生活困窮者自立支援負担金（3/4） 2,418千円																																							
					国補 生活困窮者自立支援補助金（2/3） 630千円																																							
目的		離職等で経済的に困窮し、住宅喪失又は喪失のおそれのある方に住居費を支給する。また、住居を喪失している方には、緊急一時的に宿泊場所を提供し、再就労に向けた支援を行う。																																										
主要な事務・事業の概要	○緊急一時生活支援事業		945千円		○離職者住宅支援給付事業補助金（家賃給付） 3,225千円																																							
	《支援実績》				《支援実績》																																							
	<table><tr><td>年度</td><td>利用人数</td><td>利用日数</td></tr><tr><td>平成29年度</td><td>2人</td><td>24日</td></tr><tr><td>平成30年度</td><td>0人</td><td>—</td></tr><tr><td>令和元年度</td><td>1人</td><td>54日</td></tr><tr><td>令和2年度</td><td>3人</td><td>46日</td></tr><tr><td>令和3年度</td><td>10人</td><td>135日</td></tr></table>		年度	利用人数	利用日数	平成29年度	2人	24日	平成30年度	0人	—	令和元年度	1人	54日	令和2年度	3人	46日	令和3年度	10人	135日			<table><tr><td>年度</td><td>利用人数</td><td>利用月数</td></tr><tr><td>平成29年度</td><td>0人</td><td>—</td></tr><tr><td>平成30年度</td><td>0人</td><td>—</td></tr><tr><td>令和元年度</td><td>1人</td><td>1か月</td></tr><tr><td>令和2年度</td><td>15人</td><td>42か月</td></tr><tr><td>令和3年度</td><td>18人</td><td>91か月</td></tr></table>				年度	利用人数	利用月数	平成29年度	0人	—	平成30年度	0人	—	令和元年度	1人	1か月	令和2年度	15人	42か月	令和3年度	18人	91か月
	年度	利用人数	利用日数																																									
平成29年度	2人	24日																																										
平成30年度	0人	—																																										
令和元年度	1人	54日																																										
令和2年度	3人	46日																																										
令和3年度	10人	135日																																										
年度	利用人数	利用月数																																										
平成29年度	0人	—																																										
平成30年度	0人	—																																										
令和元年度	1人	1か月																																										
令和2年度	15人	42か月																																										
令和3年度	18人	91か月																																										
				成果・課題	○コロナウイルス感染症の拡大を含めた社会情勢の変動の影響により、離職や家賃滞納等で住居を失った状態で相談に来る方が増加したが、緊急一時的な生活拠点を提供することで、他制度等へのつなぎとして生活困窮者の自立を支援することができた。 ○住宅支援給付補助金について、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて住居を失うおそれのあった方に家賃相当額を給付することでコロナ禍によるニーズに対応することができた。																																							

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部
	項	01 社会福祉費	22,695千円		23,262千円	567千円	97.5 %		
	目	02 暮らしとしごと寄り添い支援費					(参考)当初予算額		
	事業	03 就労準備支援事業						21,266千円	
基本計画		18 支え合い、助け合う地域福祉の推進		主な財源	国補 生活困窮者自立支援補助金（2/3） 13,823千円				
目的	直ちに一般就労することが困難な方に対して、生活基礎能力の習得や就職活動に向けた技術、知識の取得、個々の適性を見極め等を計画的かつ一貫して支援する。								
主要な事務・事業の概要	○会計年度任用職員任用経費（自立相談支援員） 6,502千円				○その他事業運営経費 697千円				
	・報酬（就労準備支援、2人） 4,512千円				・相談支援等公用車経費（保険料、車検経費） 116千円				
	・期末手当（就労準備支援、2人） 950千円				・消耗品費 64千円				
	・社会保険料、雇用保険料 882千円				・燃料費、光熱水費 426千円				
	・費用弁償（通勤費） 158千円				・施設維持管理費（火災保険料、保守委託料等） 65千円				
	＜居場所づくり事業＞				・使用料（ソフトウェア使用料1台） 26千円				
	利用者数：9人（生活困窮8人、生活保護1人）				○過年度国庫支出金返還金（生活困窮者自立支援補助金） 1,996千円				
	延べ利用者数：246人（月平均21人）								
	居場所セミナー開催実績5回（延べ25人参加）								
	○就労準備支援事業委託料 13,500千円								
	・通所型訓練による就労準備支援事業 13,500千円								
	委 託 先：企業組合労協センター事業団				成果・課題				
	利用者数：13人（生活困窮11人、生活保護2人）				○通所型居場所・訓練事業について、コロナ禍で時間短縮や除菌対策等を施しながら開設することで、利用者のニーズにこたえることができた。				
	延べ利用者数：506人（月平均42人）				○居場所利用から訓練利用へのステップアップが困難な方への対応として自前のセミナーを開催し、ステップアップにつながった。				
				○11人が訓練を終了し、うち5人は就労に、4人については他事業（福祉就労等）への移行につなげることができた。					

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部	
	項	01 社会福祉費	734千円		782千円	48千円	93.8 %			
	目	02 暮らしとしごと寄り添い支援費					(参考)当初予算額	生活福祉課		
	事業	04 子どもの学習支援事業							2,870千円	
基本計画		18 支え合い、助け合う地域福祉の推進		主な財源	国補 生活困窮者自立支援補助金（1/2） 367千円					
目的	生活保護受給世帯の子どもを中心に貧困の連鎖を防止するため、学習支援員が対象世帯を訪問し、子どもの学習支援と併せて家庭での学習環境などを整える。									
主要な事務・事業の概要	○会計年度任用職員任用経費（学習支援員） 734千円									
	・報酬（1人） 669千円									
	・社会保険（雇用保険） 14千円									
	・費用弁償（通勤費） 34千円									
	・消耗品費 8千円									
	・ソフトウェア使用料（支援用パソコン） 9千円									
	《支援実績》									
	年度	対象世帯数	対象小学生	対象中学生	延べ訪問回数					
	平成29年度	7世帯	6人	6人	236回					
	平成30年度	6世帯	5人	6人	172回					
	令和元年度	5世帯	5人	4人	169回					
	令和2年度	1世帯	0人	1人	12回					
	令和3年度	3世帯	1人	2人	41回					
						成果・課題	○中学2年生への学習支援及び親への相談支援により、高等学校進学に向けた学習及び学習環境を整えることができた。 ○要保護児童対策地域協議会のケース会議にも出席し、学校を含めた関係機関と連携することができた。 ○学習支援と併せて養育支援を進めるための体制を強化する必要がある。 ○高等学校と連携して、就学から就労への支援の繋ぎを図る必要がある。			

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部																
	項	01 社会福祉費	3,028千円		3,028千円	0千円	100.0 %		課	生活福祉課															
	目	02 暮らしとしごと寄り添い支援費					(参考)当初予算額																		
	事業	05 家計改善支援事業					3,028千円																		
基本計画	18 支え合い、助け合う地域福祉の推進		主な財源	国補 生活困窮者自立支援補助金（2/3） 2,018千円																					
目的	自立相談支援事業利用者の自立を促進するため、家計の改善に向けた家計状況の把握・債務整理・将来に向けたキャッシュフロー作成などによる支援を実施し、家計状況の見える化を進め、利用者自身の家計管理能力の向上を図る。																								
主要な事務・事業の概要	○生活困窮者相談支援事業委託料 3,028千円 生活福祉資金貸付事業や日常生活自立支援事業等の家計にまつわる事業を実施している京丹後市社会福祉協議会に委託を行うことで、再度、困窮状態へ陥らないように、貸付後の返済を含めた家計の改善に向けた早期の支援を行った。 【実績】 <table><tr><td></td><td>被保護者</td><td>他(自立相談)</td><td>合計</td></tr><tr><td></td><td>①</td><td>②</td><td>(①+②)</td></tr><tr><td>R2</td><td>1 人</td><td>4 人</td><td>5 人</td></tr><tr><td>R3</td><td>2 人</td><td>11 人</td><td>13 人</td></tr></table> ※令和2年度から自立相談支援員による生活困窮者相談支援事業を実施。 令和3年度から京丹後市社会福祉協議会へ委託。			被保護者	他(自立相談)	合計		①	②	(①+②)	R2	1 人	4 人	5 人	R3	2 人	11 人	13 人							
				被保護者	他(自立相談)	合計																			
				①	②	(①+②)																			
			R2	1 人	4 人	5 人																			
R3	2 人	11 人	13 人																						
			成果・課題	○社会福祉協議会へ委託することで、事業利用者の掘り起こしができた。 ○事業を利用することで、家計の整理が進み、家計の維持向上が進んだ。 ○精神疾患や知的障害を抱える、又はうかがわれる利用者（9人）が多く、どこまで家計管理能力を利用者に求めるか慎重に実施する必要がある。																					

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部
	項	01 社会福祉費	4,541千円		4,542千円	1千円	99.9 %		
	目	02 暮らしとしごと寄り添い支援費					(参考)当初予算額	課	生活福祉課
	事業	06 自立相談支援機能強化事業					4,542千円		
基本計画	18 支え合い、助け合う地域福祉の推進		主な財源	国補 生活困窮者自立支援補助金（10/10） 4,303千円					
目的	寄り添い支援総合サポートセンターが実施する自立相談支援事業の相談支援の窓口拡大と自立に向けた支援の強化を図る。								
主要な事務・事業の概要	○自立相談支援機能強化事業委託料 4,541千円 市内の地域福祉を担っている京丹後市社会福祉協議会に委託することで相談の掘り起こしと連携強化を目指した。特に、離職等により困窮リスクが高い特例貸付を受けた方に対しても自立相談支援事業の利用勧奨も行った。 【実績】 ・相談受付：47件（延べ相談回数261回、連絡調整129回） ・プラン件数：32件 ・臨時夜間窓口：5日間（相談者3人） ※R2はWeb相談・LINE相談導入による相談窓口の拡大、R3は委託による窓口の拡大と支援機能強化								
	成果・課題	○社会福祉協議会が受ける相談や夜間窓口の実施により、47件を寄り添い支援総合サポートセンターにつなぐことで、支援の窓口が拡大できた。 ○事業委託をすることで社会福祉協議会との連携が強化され、情報の共有化により生活福祉資金の貸付、フードパントリーの利用などの支援機能が強化できた。 ○相談者に応じて、寄り添い支援総合サポートセンターだけではなく、他の関係機関とも連携し、問題解決につなげることができた。							

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部
	項	01 社会福祉費	4,616千円		4,762千円	146千円	96.9 %		
	目	02 くらしとしごと寄り添い支援費					(参考)当初予算額		
	事業	07 新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金支給事業						0千円	
基本計画	18 支え合い、助け合う地域福祉の推進		主な財源	国補 新型コロナウイルス感染症セーフティネット強化交付金 4,616千円					
目的	新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、社会福祉協議会が実施する総合支援資金の貸付が終了するなどにより、さらなる貸付を利用できない生活困窮世帯を対象に、新型コロナウイルス生活困窮者自立支援金を支給するもの。								
主要な事務・事業の概要	○職員手当等 341千円 ・時間外勤務手当 341千円 ○需用費 10千円 ・消耗品費 10千円 ○役務費 5千円 ・通信運搬費 5千円 ○負担金、補助及び交付金 4,260千円 ・新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金 4,260千円				【支給月額】 単身世帯6万円、2人世帯8万円、3人以上世帯10万円 【支給期間】 3か月（1度に限り再申請可能…合計6か月） 【利用実績】 初回申請決定：20世帯、37か月（R3.7 受付開始） 再申請決定：5世帯、15か月（R3.12 受付開始） ※制度改正により申請受付期限がR3.8末からR4.8末までと延長された。				
	【支給対象】 特例総合支援資金の貸付を受けた者で、次のいずれかに該当する世帯 ・貸付を借り終えた者又は借り終わる世帯 ・貸付を申請したが、不承認となった世帯 ・貸付の相談等をしたが、自立支援金申請日までに貸付の申請ができなかった世帯				成果・課題	○京丹後市社会福祉協議会と連携し、生活福祉資金の特例貸付終了者に対して、個別に自立支援金の案内・勧奨ができたが、生活福祉資金の特例貸付と自立支援金の収入・資産要件の違いや、求職活動要件等の要件の違いがあることから、自立支援金の利用に結びつかない人も多かった。 ○生活福祉資金の特例貸付に自立相談支援機関として寄り添い支援総合サポートセンターが関与したため、円滑に給付と支援を実施できた。			

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部																																					
	項	01 社会福祉費	3,410千円		3,411千円	1千円	99.9 %																																							
	目	03 障害者福祉費					(参考)当初予算額	課	障害者福祉課																																					
	事業	01 通所費助成事業					3,366千円																																							
基本計画		19 地域で共に生きる障害者福祉の推進		主な財源	府補 きょうと地域連携交付金（共同作業所等通所費助成事業） 1,200千円																																									
目的	共同作業所等に通所している利用者の通所に係る交通費を助成し、障害者及びその保護者の経済的負担を軽減することで、社会参加と自立の促進を図る。																																													
主要な事務・事業の概要	生活指導、職業訓練の場である共同作業所等の通所に必要な交通費を助成した。 ○共同作業所等通所費助成金 3,410千円 助成対象：施設通所のために利用する公共交通機関の運賃 助成対象延べ人数：723人（13施設） 【参考】通所施設 <table><tr><th>法人名</th><th>施設名</th><th>延べ人数</th></tr><tr><td rowspan="6">社会福祉法人 よさのうみ福祉会</td><td>峰山共同作業所</td><td>265人</td></tr><tr><td>みねやま作業所</td><td>71人</td></tr><tr><td>ゆうゆう作業所</td><td>109人</td></tr><tr><td>すまいる</td><td>12人</td></tr><tr><td>リフしかやの里</td><td>11人</td></tr><tr><td>ワークセンター花音</td><td>15人</td></tr><tr><td rowspan="2">社会福祉法人 あみの福祉会</td><td>だるまハウス</td><td>29人</td></tr><tr><td>四つ葉ハウス</td><td>30人</td></tr></table>				法人名	施設名	延べ人数	社会福祉法人 よさのうみ福祉会	峰山共同作業所	265人	みねやま作業所	71人	ゆうゆう作業所	109人	すまいる	12人	リフしかやの里	11人	ワークセンター花音	15人	社会福祉法人 あみの福祉会	だるまハウス	29人	四つ葉ハウス	30人	<table><tr><th>法人名</th><th>施設名</th><th>延べ人数</th></tr><tr><td rowspan="2">社会福祉法人 久美の浜福祉会</td><td>つばさ</td><td>62人</td></tr><tr><td>あおぞら</td><td>12人</td></tr><tr><td>特定非営利活動法人 みらい</td><td>みらい</td><td>36人</td></tr><tr><td>特定非営利活動法人 つなぐ</td><td>つなぐ</td><td>60人</td></tr><tr><td>株式会社 NINE</td><td>ナイン舞鶴</td><td>11人</td></tr></table>				法人名	施設名	延べ人数	社会福祉法人 久美の浜福祉会	つばさ	62人	あおぞら	12人	特定非営利活動法人 みらい	みらい	36人	特定非営利活動法人 つなぐ	つなぐ	60人	株式会社 NINE	ナイン舞鶴	11人
					法人名	施設名	延べ人数																																							
					社会福祉法人 よさのうみ福祉会	峰山共同作業所	265人																																							
						みねやま作業所	71人																																							
						ゆうゆう作業所	109人																																							
						すまいる	12人																																							
						リフしかやの里	11人																																							
						ワークセンター花音	15人																																							
					社会福祉法人 あみの福祉会	だるまハウス	29人																																							
						四つ葉ハウス	30人																																							
法人名	施設名	延べ人数																																												
社会福祉法人 久美の浜福祉会	つばさ	62人																																												
	あおぞら	12人																																												
特定非営利活動法人 みらい	みらい	36人																																												
特定非営利活動法人 つなぐ	つなぐ	60人																																												
株式会社 NINE	ナイン舞鶴	11人																																												
成果・課題	障害者とその保護者の経済的負担を軽減することで、障害者の職業訓練と社会参加、自立の促進を支援することができた。																																													

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部
	項	01 社会福祉費	29,242千円		29,242千円	0千円	100.0 %		
	目	03 障害者福祉費					(参考)当初予算額	課	障害者福祉課
	事業	02 障害者等手当支給事業					30,388千円		
基本計画	19 地域で共に生きる障害者福祉の推進		主な財源	国負 特別障害者手当等給付費負担金（3/4） 21,808千円					
目的	常時介護が必要な在宅障害児者への手当支給により経済的支援を行い、障害者福祉の向上を図る。								
主要な事務・事業の概要	在宅重度障害児者への経済的支援策として、国制度である障害児福祉手当及び特別障害者手当を支給した。 ○障害児福祉手当 5,967千円 手当月額：14,880円 支給人数：延べ401人（月平均33人） ○特別障害者手当 23,275千円 手当月額：27,350円 支給人数：延べ851人（月平均71人） ○支給対象月：令和3年2月～令和4年1月（年4回支給） ただし、資格喪失児者に対しては随時支給。								
					成果・課題	手当の支給により、在宅重度障害児者の経済的負担の軽減を図ることができた。			

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部																								
	項	01 社会福祉費	1,318千円		1,338千円	20千円	98.5 %		課	障害者福祉課																							
	目	03 障害者福祉費					(参考)当初予算額																										
	事業	03 じん臓機能障害者通院交通費助成事業					1,524千円																										
基本計画		19 地域で共に生きる障害者福祉の推進		主な財源																													
目的	慢性透析療法のために通院治療を必要とする透析患者が、公共交通機関や自家用車を利用して通院する場合、その交通費の一部を助成し、経済的負担の軽減を図る。																																
主要な事務・事業の概要	じん臓機能障害者に対して、通院に必要な交通費の一部を助成した。 ○じん臓機能障害者通院交通費助成金 公共交通機関での通院費又は片道20kmを超える自家用車での通院実費（25円/km）のいずれかのうち、月10千円を上限として1/2を助成した。 （単位：人、千円） <table><tr><td></td><td>峰山町</td><td>大宮町</td><td>網野町</td><td>丹後町</td><td>弥栄町</td><td>久美浜町</td><td>合計</td></tr><tr><td>実人数</td><td>1</td><td>3</td><td>7</td><td>4</td><td>1</td><td>15</td><td>31</td></tr><tr><td>助成額</td><td>41</td><td>103</td><td>268</td><td>143</td><td>39</td><td>724</td><td>1,318</td></tr></table>					峰山町	大宮町	網野町	丹後町	弥栄町	久美浜町	合計	実人数	1	3	7	4	1	15	31	助成額	41	103	268	143	39	724	1,318					
						峰山町	大宮町	網野町	丹後町	弥栄町	久美浜町	合計																					
					実人数	1	3	7	4	1	15	31																					
	助成額	41	103	268	143	39	724	1,318																									
成果・課題	じん臓機能障害により慢性透析療法を必要とする方が安心して通院治療に専念できるよう、通院交通費に対し助成金を交付することで、経済的な負担の軽減を図ることができた。																																

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部	
	項	01 社会福祉費					99.9 %			
	目	03 障害者福祉費	1,718,072千円		1,718,255千円	183千円	(参考)当初予算額	課	障害者福祉課	
	事業	04 障害福祉サービス事業					1,689,660千円			
基本計画		19 地域で共に生きる障害者福祉の推進		主な財源	国負	介護給付・訓練等給付費負担金（1/2）			820,986千円	
					国負	障害児通所給付費負担金（1/2）			33,476千円	
					府負	介護給付・訓練等給付費負担金（1/4）			410,493千円	
					府負	障害児通所給付費負担金（1/4）			16,738千円	
					府補	障害者福祉サービス等利用支援事業費補助金（1/2）			1,729千円	
					府補	医療的ケア児者等福祉サービス利用等促進事業補助金（1/2）			84千円	
目的	障害のある方が自立した日常生活及び社会生活を営むことができるよう、一人ひとりの状態に合った障害福祉サービスの給付その他の支援を行い、障害者福祉を推進する。									
主要な事務・事業の概要	○扶助費		1,712,575千円		・ サービス利用に係る利用者負担を軽減する支援給付費等					3,775千円
	・ 各種サービスを利用するための介護給付費等		1,708,800千円		＜高額及び障害者福祉サービス等利用支援費支給関係＞ 延べ利用者数					
	介護給付費等関係 延べ利用者数及び給付実績									
	訪問系（居宅介護等）		1,402人	77,978千円						
	日中活動系（生活介護）		2,918人	689,693千円						
	日中活動系（訓練等）		2,819人	378,464千円						
	短期入所		527人	52,225千円						
	施設入所支援		1,205人	170,907千円						
	共同生活援助		967人	160,993千円						
	療養介護（医療費除く）		179人	49,670千円						
	計画相談		2,634人	41,359千円						
	児童発達支援		929人	27,822千円						
	放課後等デイサービス		772人	27,992千円						
	保育所等訪問支援		139人	2,850千円						
	障害児相談支援		522人	8,274千円						
	特定障害者特別給付費		2,170人	19,719千円						
	特例介護給付費等		12人	854千円						
成果・課題	○障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援する法律及び児童福祉法に基づくサービス支給決定・給付を適切に実施することができた。 ○利用者の経済状況に応じた負担軽減を図ることができた。 ○ニーズに応じた給付ができるよう事業所と一層の連携を図っていく必要がある。									

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部		
	項	01 社会福祉費	28,567千円		28,733千円	166千円	99.4 %				
	目	03 障害者福祉費					(参考)当初予算額	障害者福祉課			
	事業	05 自立支援医療事業					26,343千円				
基本計画		19 地域で共に生きる障害者福祉の推進		主な財源	国負	障害者自立支援医療費負担金（1/2）			14,073千円		
					府負	障害者自立支援医療費負担金（1/4）			7,037千円		
				府補	障害者自立支援医療特別対策事業費補助金（1/2）			194千円			
目的	障害の除去又は程度の軽減を目的に、都道府県が指定する医療機関で手術や血液透析等の医療を受けた場合、必要な医療費を公費で負担し、経済的負担の軽減を図る。										
主要な事務・事業の概要	身体障害者の障害を除去又は軽減するために行われる更生医療費、身体に障害がある又は障害が残るとされる病気にかかっている18歳未満の児童が手術等により治療効果が期待できるものについて育成医療費、療養介護サービス利用者に対して療養介護医療費をそれぞれ給付した。 また、更生医療の対象とならない在宅酸素療法等を受けている身体障害者に対して、特別対策事業として医療費の一部を助成した。				○審査支払事務手数料					31千円	
					支払先：国保連合会及び社会保険診療報酬支払基金						
					【医療の主な内容】						
	○自立支援医療（更生医療）給付費				14,324千円	●更生医療：人工関節置換術、ペースメーカー移植術、人工透析等					
	対象障害：肢体不自由、心臓機能障害、じん臓機能障害、免疫機能障害					●育成医療：肢体的手術及び理学療法等					
認定人数：99人					●特別対策：在宅酸素療法、ぼうこう又は直腸の機能障害となった原因疾患						
○自立支援医療（育成医療）給付費				248千円	●療養介護医療：障害支援区分が区分5以上の重症心身障害者等の医療費						
対象障害：肢体不自由											
認定人数：1人											
○自立支援医療特別対策事業給付費				389千円							
対象障害：呼吸器機能障害、ぼうこう又は直腸の機能障害											
認定人数：5人											
○自立支援医療（療養介護医療）給付費				13,575千円	成果・課題	医療費の負担を軽減することにより、障害児者が安心して治療に専念し、日常生活能力の回復、改善を図ることができた。					
給付対象：療養介護サービス受給者の療養医療費											
認定人数：15人											

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部
	項	01 社会福祉費	12,965千円		12,965千円	0千円	100.0 %		
	目	03 障害者福祉費					(参考)当初予算額	課	障害者福祉課
	事業	06 補装具事業					11,038千円		
基本計画		19 地域で共に生きる障害者福祉の推進		主な財源	国負 障害児者補装具給付費負担金（1/2） 6,482千円				
					府負 障害児者補装具給付費負担金（1/4） 3,241千円				
目的	身体障害児者等の身体機能を補完又は代替する補装具の購入及び修理に係る費用を支給することで、障害児者の安定した日常生活及び社会生活の維持及び向上を図る。								
主要な事務・事業の概要	補装具の購入及び修理に係る費用を支給した。 ○身体障害児補装具給付費 5,167千円 ・購入件数： 26件 5,033千円 ・修理件数： 4件 134千円 ○身体障害者補装具給付費 7,798千円 ・購入件数： 49件 6,685千円 ・修理件数： 33件 1,113千円 【主な給付内容】 ●障害児：下肢装具、座位保持装置、車椅子、座位保持椅子等 ●障害者：補聴器、車椅子、視覚障害者安全つえ、歩行器等				成果・課題	補装具の購入及び修理に係る費用を支給することによって、障害児者の経済的負担が軽減され、生活上の不便さの緩和や身体的条件を改善することができた。			

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部			
	項	01 社会福祉費	145,050千円		149,478千円	4,428千円	97.0 %					
	目	03 障害者福祉費					(参考)当初予算額					
	事業	07 地域生活支援事業						154,652千円	課	障害者福祉課		
基本計画	19 地域で共に生きる障害者福祉の推進		主な財源	国補	障害者地域生活支援事業費補助金（上限1/2）			30,284千円				
目的	障害のある方が地域で自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、総合的に支援する体制をつくり、障害者福祉の向上を図る。			府補	障害者地域生活支援事業費補助金（上限1/4）			15,141千円				
				府補	きょうと地域連携交付金（福祉ｸｸｸ-利用料等助成事業）			1,600千円				
				繰入金	ふるさと応援基金繰入金			24,000千円				
主要な事務・事業の概要	障害のある方に対して相談や移動支援、用具等の支給など各種事業を実施した。											
	事業名等		決算額	延べ件数等		事業名等				決算額	延べ件数等	
	在宅重度身体障害者訪問入浴サービス事業		517千円	利用回数： 41 回		成年後見制度利用支援事業				485千円	利用者数： 2 人	
	障害者相談支援事業（2か所）		17,200千円	相談件数：1,774 件		※後見人への報酬助成、登記等の手数料						
	移動支援事業（9事業者に委託） ※屋外での移動が困難な方への外出支援		7,670千円	利用時間：2,912 時間		日常生活用具給付事業				18,813千円	交付件数： 1,640 件	
	地域活動支援センター事業（3か所）		44,452千円	利用者数：1,103 人		※ストマ用装具、頭部保護帽、吸引器等						
	障害者・児童日中一時支援事業		47,228千円	利用回数：9,869 回								
	障害児通学支援事業（聾学校への通学支援）		3,140千円	利用回数： 346 回								
	福祉タクシー利用券・福祉ガソリン利用券 交付事業（印刷製本費を含む）		5,071千円	交付者数：1,194 人								
	自動車改造費・免許取得教習費助成事業		200千円	交付者数： 2 人								
	京都歯科サービスセンター北部診療所運営 事業		243千円	患者数： 36 人								
	精神障害者社会復帰教室 ※歯科教室、運動教室、創作活動		31千円	開催回数： 9 回								
							成果・課題	○相談支援をはじめとした各種事業を社会福祉法人等に委託し、総合的に支援する体制を充実させることで、サービス量の確保に努めた。 ○各種実施事業について、ニーズに応じたサービス提供の一層の充実が図られるよう事業所と連携しながら進める必要がある。				

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部			
	項	01 社会福祉費	9,602千円		9,602千円	0千円	100.0 %					
	目	03 障害者福祉費					(参考)当初予算額	課	障害者福祉課			
	事業	08 障害者就労支援事業					8,355千円					
基本計画	19 地域で共に生きる障害者福祉の推進		主な財源	国補	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金			1,500千円				
目的	障害者の就労等を支援する事業を実施し、障害者の就労促進と自立支援を図る。			府補	きょうと地域連携交付金（障害者就労支援事業）			2,400千円				
			繰入金	ふるさと応援基金繰入金			2,000千円					
主要な事務・事業の概要	○需用費（雇用促進リーフレットを作成し、商工会員等へ配付）		5千円		○障害福祉サービス事業所等工賃向上支援補助金						784千円	
	○障害者職場実習促進事業補助金		126千円		障害福祉サービス事業所等が、障害者の工賃向上のために行う製品開発及び販売促進等の事業に対し、経費の一部を助成した。							
	市役所や図書館、病院等で職場実習生を受け入れるにあたり、実習を受け入れた企業、実習生のサポートを行うジョブコーチを配置する社会福祉法人及び実習生に対して奨励金を支給した。				事業内容等		施設数	助成額	事業内容等		施設数	助成額
	・福祉事業所奨励金 1社会福祉法人（25日間）		100千円		品質改善・新商品開発		4施設	200千円	販売促進活動		4施設	137千円
	・企業等実習奨励金 1事業所（5日間）		15千円		品質改善等に係る設備整備		5施設	412千円	製造効率化等		1施設	35千円
	・実習生実習奨励金 3人（25日間）		11千円		○就労支援事業継続支援給付金						1,857千円	
	○障害者施設製品販売支援事業補助金		6,000千円		新型コロナウイルス感染症の拡大及び緊急事態措置により事業活動が縮小し、売上げが減少した障害福祉サービス事業所に対し、事業を継続し、利用者の工賃等の維持確保するため給付金を交付した。							
	○障害者施設製品販売所移転支援補助金		830千円		・交付実績 11施設							
	障害者施設製品の常設販売店「クリエイトショップくりくり」の運営経費の一部を助成した。				成果・課題	○障害者職場実習を通じて、障害者の就労意欲と職場適応能力の向上支援を行い、一般就労につなげる等障害者の自立を図ることができた。						
	また、店舗を2階から人流の多い1階へ移転するための費用の一部を助成した。					○障害者雇用の拡大に向け、関係機関との連携体制の強化・充実が必要である。						
・移転リニューアルオープン日：令和3年11月24日				○常設販売店への運営・移転支援を通じて、障害者施設製品の情報発信と障害者の就労意欲の向上の一助とすることができた。								
				○障害福祉サービス事業所等への助成を通じて、障害者の工賃向上のために施設が意欲的に取り組む環境を創出することができた。								

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部
	項	01 社会福祉費	6,985千円		7,063千円	78千円	98.8 %		
	目	03 障害者福祉費					(参考)当初予算額	課	障害者福祉課
	事業	09 心のバリアフリー促進事業					7,152千円		
基本計画		19 地域で共に生きる障害者福祉の推進		主な財源	国補	障害者地域生活支援事業費補助金（上限1/2）			2,006千円
目的		障害の特性を理解し、地域や職場、学校等において合理的配慮の提供や手話の普及が広がるよう障害者理解の促進と啓発事業を実施し、障害のある人もない人もお互いに人格と個性を尊重し合いながら、地域の一員として共生できる社会を目指す。			府補	障害者地域生活支援事業費補助金（上限1/4）			1,003千円
				府補	軽・中等度難聴児支援事業費補助金（1/2）			37千円	
主要な事務・事業の概要	○心のバリアフリー啓発・理解促進事業 107千円 ・「耳マーク」設置用サインホルダー 市民の来所が多い庁舎窓口、市立病院、図書館など28か所に「耳マーク」を設置し、多様なコミュニケーション手段の確保に努めた。 ・イベント等アナウンス用手話動画 イベント等における案内、注意事項等のアナウンスを手話・音声・字幕で行う動画を作成し、パラスポーツ体験会（教育委員会主催）にて上映。今後も、市主催のイベント等で活用予定である。 ・「みんながいっしょに暮らせるまちへ」「手話を知ろう！」（各120冊） 障害者理解の啓発用冊子を購入し、出前講座で配付した。今後も出前講座で活用予定である。				○手話奉仕員・要約筆記奉仕員養成事業 475千円 要約筆記奉仕員養成課程 全16回（6月25日～12月3日） 受講者：3人（全員修了）				
					○重度障害児者入院時コミュニケーション支援事業 97千円 発語困難等により医療従事者と意思疎通ができない重度障害児者に対し、支援員を派遣した。 利用者：1人、派遣時間：61時間、派遣回数：32回				
					○難聴児補聴器購入費助成事業 75千円 補装具費支給制度に該当しない18歳未満の児童に対する補聴器購入等の費用の一部を助成した。 助成件数：1件				
					成果・課題	○意思疎通支援事業 ※通訳等回数：281回 6,231千円 ・手話通訳者の設置 5,980千円 ・手話通訳者・要約筆記奉仕員等の派遣 251千円 聴覚言語障害者が医療機関等に向かう場合や社会活動に参加する場合等に意思疎通支援として手話通訳者等を派遣した。			

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部	
	項	01 社会福祉費	14,324千円		14,744千円	420千円	97.1 %			
	目	03 障害者福祉費					(参考)当初予算額	課	障害者福祉課	
	事業	50 障害者福祉一般経費					9,298千円			
基本計画	19 地域で共に生きる障害者福祉の推進		主な財源	国委	特別児童扶養手当事務委託金				81千円	
				諸収入	市有財産損害賠償金				8千円	
目的	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援する法律で規定されている審査会の設置・運営のほか、障害者福祉に関する各種事業の円滑な実施のために必要な事務を行う。									
主要な事務・事業の概要	障害者福祉に関する会議参加、施設・病院訪問、研修参加等の旅費、審査会及び自立支援協議会に係る経費並びにその他の一般事務費を支出した。			○委託料						3,464千円
	○報酬			950千円	障害福祉システム更新委託料				1,188千円	
	障害支援区分等認定審査会委員報酬（5人、12回開催）			システム保守業務委託料				1,142千円		
	○報償費			457千円	バス運転委託料（京都府障害者のつどい等への参加）				32千円	
	身体・知的・精神障害者相談員謝金（15人）			障害支援区分認定調査委託料（162件）				1,102千円		
	○旅費			67千円	○使用料及び賃借料				915千円	
	認定審査委員費用弁償、認定調査・研修会等出張旅費			認定調査、行事参加等有料道路通行料				60千円		
	○需用費			216千円	障害者授産施設等運営用地賃借料				851千円	
	障害サービス受給者証台紙、事務用品、バス燃料費等			セキュリティソフト購入費				4千円		
	○役務費			1,120千円	○丹後視力障害者福祉センター後援会費				200千円	
障害支援区分医師意見書作成料（209件）等			975千円	○メリデン版訪問家族支援基礎研修受講料				72千円		
通信運搬費（審査会資料、特別児童扶養手当書類等）			111千円	成果・課題	○障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援する法律で定められている審査会について、コロナ禍においても利用者へのサービス提供が滞ることがないよう適切に運営することができた。 ○障害福祉システムの保守及び税制改正に伴う更新を実施することにより、障害福祉サービスに関する事務事業を円滑に行うことができた。 ○メリデン版訪問家族支援基礎研修を受講し、精神障害者と家族の支援に係る職員の専門技術のスキルアップができた。					
ボランティア保険料、火災保険料			34千円							
○過年度国庫支出金返還金			6,863千円							

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部																																																																																																										
	項	01 社会福祉費	23,480千円		23,604千円	124千円	99.4 %		課	長寿福祉課																																																																																																									
	目	04 高齢者福祉費					(参考)当初予算額																																																																																																												
	事業	01 敬老祝い事業					27,435千円																																																																																																												
基本計画	20 暮らしに生きがいのある健康長寿のまちづくり		主な財源	市債 過疎地域持続的発展特別事業債（過疎対策債）					17,900千円																																																																																																										
目的	高齢者の長寿を祝い、長年にわたる社会貢献に感謝の意を表するため、喜寿、米寿及び長寿の祝い品の贈呈並びに敬老会事業に対して補助金を交付する。																																																																																																																		
主要な事務・事業の概要	喜寿（77歳）、米寿（88歳）、長寿（新100歳）及び最高齢者の方へ祝い品を贈呈するとともに、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、敬老会の実施を見送り、敬老会参加対象者へ区等から祝い品を贈呈した場合の費用についても、特例措置として補助金の交付を行った。 ○喜寿、米寿、新100歳、最高齢の方への祝い品・筆耕料 1,274千円 ○敬老会補助金（地区等開催） 22,206千円 敬老会の補助金対象年齢は、75歳以上（補助金2,000円／人＋基礎額） ※基礎額：100人まで10,000円（50人増えるごとに5,000円加算） <table><tr><td>対象団体数</td><td>峰山</td><td>大宮</td><td>網野</td><td>丹後</td><td>弥栄</td><td>久美浜</td><td>合計</td></tr><tr><td>実施団体数</td><td>35</td><td>18</td><td>22</td><td>31</td><td>18</td><td>12</td><td>136</td></tr><tr><td>（うち、会開催による実施）</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>4</td><td>3</td><td>4</td><td>20</td></tr><tr><td>（うち、特例措置での実施）</td><td>32</td><td>15</td><td>19</td><td>27</td><td>15</td><td>8</td><td>116</td></tr></table> ※敬老会を開催した20団体のうち、16団体は福祉施設		対象団体数	峰山	大宮	網野	丹後	弥栄	久美浜	合計	実施団体数	35	18	22	31	18	12	136	（うち、会開催による実施）	3	3	3	4	3	4	20	（うち、特例措置での実施）	32	15	19	27	15	8	116	<table><tr><th colspan="5">敬老会（特例措置含む）</th><th colspan="3">祝い品贈呈者数</th></tr><tr><th rowspan="2">町別</th><th rowspan="2">対象者数 （75歳以上）</th><th rowspan="2">参加者数</th><th colspan="2">参加率（％）</th><th rowspan="2">新 100歳</th><th rowspan="2">米寿</th><th rowspan="2">喜寿</th></tr><tr><th>参加率</th><th>前年度</th></tr><tr><td>峰山</td><td>2,267</td><td>2,206</td><td>97.1</td><td>97.5</td><td>4</td><td>93</td><td>102</td></tr><tr><td>大宮</td><td>1,714</td><td>1,690</td><td>98.5</td><td>98.7</td><td>6</td><td>64</td><td>96</td></tr><tr><td>網野</td><td>2,561</td><td>2,509</td><td>97.5</td><td>99</td><td>12</td><td>98</td><td>151</td></tr><tr><td>丹後</td><td>1,270</td><td>1,259</td><td>99.1</td><td>97.3</td><td>5</td><td>57</td><td>60</td></tr><tr><td>弥栄</td><td>1,139</td><td>1,137</td><td>99.8</td><td>99.9</td><td>9</td><td>41</td><td>54</td></tr><tr><td>久美浜</td><td>2,148</td><td>2,113</td><td>98.3</td><td>98.6</td><td>17</td><td>75</td><td>82</td></tr><tr><td>合 計</td><td>11,099</td><td>10,914</td><td>98.4</td><td>98.5</td><td>53</td><td>428</td><td>545</td></tr></table>							敬老会（特例措置含む）					祝い品贈呈者数			町別	対象者数 （75歳以上）	参加者数	参加率（％）		新 100歳	米寿	喜寿	参加率	前年度	峰山	2,267	2,206	97.1	97.5	4	93	102	大宮	1,714	1,690	98.5	98.7	6	64	96	網野	2,561	2,509	97.5	99	12	98	151	丹後	1,270	1,259	99.1	97.3	5	57	60	弥栄	1,139	1,137	99.8	99.9	9	41	54	久美浜	2,148	2,113	98.3	98.6	17	75	82	合 計	11,099	10,914	98.4	98.5	53	428	545
			対象団体数	峰山	大宮	網野	丹後	弥栄	久美浜	合計																																																																																																									
			実施団体数	35	18	22	31	18	12	136																																																																																																									
			（うち、会開催による実施）	3	3	3	4	3	4	20																																																																																																									
			（うち、特例措置での実施）	32	15	19	27	15	8	116																																																																																																									
			敬老会（特例措置含む）					祝い品贈呈者数																																																																																																											
			町別	対象者数 （75歳以上）	参加者数	参加率（％）		新 100歳	米寿	喜寿																																																																																																									
						参加率	前年度																																																																																																												
			峰山	2,267	2,206	97.1	97.5	4	93	102																																																																																																									
			大宮	1,714	1,690	98.5	98.7	6	64	96																																																																																																									
網野	2,561	2,509	97.5	99	12	98	151																																																																																																												
丹後	1,270	1,259	99.1	97.3	5	57	60																																																																																																												
弥栄	1,139	1,137	99.8	99.9	9	41	54																																																																																																												
久美浜	2,148	2,113	98.3	98.6	17	75	82																																																																																																												
合 計	11,099	10,914	98.4	98.5	53	428	545																																																																																																												
		成果・課題	敬老事業の支援や喜寿、米寿、新100歳及び最高齢者の方に対する祝い品の贈呈を通し、高齢者の長寿を祝い、長年にわたる社会貢献に感謝の意を表することができた。																																																																																																																

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部
	項	01 社会福祉費	142,255千円		142,536千円	281千円	99.8 %		
	目	04 高齢者福祉費					(参考)当初予算額	課	長寿福祉課
	事業	02 老人保護措置事業					144,461千円		
基本計画		20 暮らしに生きがいのある健康長寿のまちづくり		主な財源	負担金 老人福祉施設措置費負担金 28,817千円				
目的	概ね65歳以上で、家族や住居の状況や経済的理由等により、居宅生活の継続が困難な方を養護老人ホーム等に入所措置し、生きがいのある健康で安らかな生活を確保する。								
主要な事務・事業の概要	老人福祉法に基づき、在宅での生活が困難な高齢者を入所判定委員会の判定結果により養護老人ホーム等に入所措置した。								
	○養護老人ホーム等入所措置事務費 27千円								
	・入所及び退所事務手続時の職員旅費 2千円								
	・入所判定委員会開催経費								
	委員報償費（4千円×委員2人×2回） 16千円								
	費用弁償 1千円								
	需用費 8千円								
	○養護老人ホーム等入所措置費 142,228千円								
	・入所施設 養護老人ホーム満寿園ほか3施設								
	・入所者数 63人（R4.3.31現在）								
					成果・課題	○在宅生活の継続が困難な高齢者について、在宅生活における不安の解消・生活改善を図るため、居宅介護支援事業所・地域包括支援センター等と連携して、入所措置につなげることができた。 ○入所待機者の生活状況等を正確に把握し、適切な入所措置を引き続き行う必要がある。			

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部
	項	01 社会福祉費	6,148千円		6,480千円	332千円	94.8 %		課
	目	04 高齢者福祉費					(参考)当初予算額		
	事業	03 老人クラブ 活性化支援事業					6,867千円		
基本計画	20 暮らしに生きがいのある健康長寿のまちづくり		主な財源	府補 老人クラブ 助成事業費補助金（2/3） 3,272千円					
目的	老人クラブの活動に対して補助を行うことにより、老人クラブの育成、高齢者の生きがいづくり及び健康づくりを図り、健康長寿のまちづくりを推進する。								
主要な事務・事業の概要	老人クラブの運営に係る経費、老人クラブが行う健康づくり事業、啓発・広報事業等に対し、補助金を交付した。								
	○老人クラブ活性化支援補助金 6,148千円 ・単位老人クラブ（78クラブ）の活動に対する補助 3,604千円 ・市老人クラブ連合会（1,688人）の活動に対する補助 316千円 ・各種スポーツ大会、健康づくり事業への補助 540千円 ・市老人クラブ連合会の発行する広報紙に対する補助 401千円 ・市老人クラブ連合会事務局員設置（1人）に対する補助 1,200千円 ・府老人クラブ連合会への研修会参加に対する補助 38千円 ・世代間交流事業に対する補助 49千円								
	※参考 R3 78クラブ 1,688人 R2 85クラブ 1,858人				成果・課題	○老人クラブが行う健康づくり事業、社会奉仕活動等を支援することで、健康保持及び社会貢献を目的とした各種活動の円滑な実施に寄与することができた。 ○年々会員数が減少しているため、老人クラブが行う会員拡大、加入促進といった取組を引き続き支援していく必要がある。			

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	健康長寿福祉部																																																											
	項	01 社会福祉費	9,958千円		10,401千円		443千円		95.7 %																																																														
	目	04 高齢者福祉費							(参考)当初予算額		課	長寿福祉課																																																											
	事業	04 福祉有償運送運営助成事業							11,673千円																																																														
基本計画		20 暮らしに生きがいのある健康長寿のまちづくり		府補	きょうと地域連携交付金（福祉有償運送運営助成事業）							3,400千円																																																											
目的		福祉有償運送の実施を支援することにより、在宅の高齢者や障害者が住み慣れた地域社会の中で引き続き自立した生活を営めるよう支援し、地域福祉の向上を図る。																																																																					
主要な事務・事業の概要	公共交通機関を利用することが困難な高齢者及び障害者に対して、移送サービスを提供する福祉有償運送の実施を支援した。 ○福祉有償運送事業補助金 9,958千円 ※総事業費 15,107千円 ― 利用料等収入 5,149千円 ・実施主体：京丹後市社会福祉協議会 ・事業実績：実利用者数 99人（R2： 112人） 延べ利用回数 5,885回（R2： 5,598回）		主な財源	■実績内訳（令和4年3月末現在）（単位：人、回）																																																																			
				<table><tr><td></td><td>区 分</td><td>峰山町</td><td>大宮町</td><td>網野町</td><td>丹後町</td><td>弥栄町</td><td>久美浜町</td><td>合 計</td></tr><tr><td rowspan="2">利用登録者数等</td><td>登録者数</td><td>23</td><td>26</td><td>44</td><td>22</td><td>17</td><td>47</td><td>179</td></tr><tr><td>実利用者</td><td>10</td><td>13</td><td>22</td><td>11</td><td>7</td><td>36</td><td>99</td></tr><tr><td rowspan="4">対象者延べ利用回数</td><td>高 齢 者</td><td>94</td><td>163</td><td>279</td><td>83</td><td>79</td><td>260</td><td>958</td></tr><tr><td>透 析 者</td><td>242</td><td>213</td><td>1,456</td><td>393</td><td>0</td><td>2,338</td><td>4,642</td></tr><tr><td>障 害 者</td><td>4</td><td>70</td><td>74</td><td>12</td><td>0</td><td>125</td><td>285</td></tr><tr><td>合 計</td><td>340</td><td>446</td><td>1,809</td><td>488</td><td>79</td><td>2,723</td><td>5,885</td></tr></table>										区 分	峰山町	大宮町	網野町	丹後町	弥栄町	久美浜町	合 計	利用登録者数等	登録者数	23	26	44	22	17	47	179	実利用者	10	13	22	11	7	36	99	対象者延べ利用回数	高 齢 者	94	163	279	83	79	260	958	透 析 者	242	213	1,456	393	0	2,338	4,642	障 害 者	4	70	74	12	0	125	285	合 計	340	446	1,809	488	79	2,723	5,885
					区 分	峰山町	大宮町	網野町	丹後町	弥栄町	久美浜町	合 計																																																											
				利用登録者数等	登録者数	23	26	44	22	17	47	179																																																											
					実利用者	10	13	22	11	7	36	99																																																											
				対象者延べ利用回数	高 齢 者	94	163	279	83	79	260	958																																																											
					透 析 者	242	213	1,456	393	0	2,338	4,642																																																											
					障 害 者	4	70	74	12	0	125	285																																																											
					合 計	340	446	1,809	488	79	2,723	5,885																																																											
		成果・課題	補助金の交付により、事業者が行う高齢者や障害者の日常生活の移動支援の取組の実施に寄与することができた。																																																																				

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部
	項	01 社会福祉費	15千円		85千円	70千円	17.6 %		
	目	04 高齢者福祉費					(参考)当初予算額	課	長寿福祉課
	事業	05 生活管理指導事業					85千円		
基本計画		20 暮らしに生きがいのある健康長寿のまちづくり		主な財源					
目的	生活習慣の改善が必要など一時的に在宅生活が困難な高齢者に対し、養護老人ホーム等で、短期間の宿泊を通じて日常生活の指導及び支援を行い、自立した生活の助長を図る。								
主要な事務・事業の概要	生活習慣の改善が必要など一時的に在宅生活が困難な高齢者に対し、養護老人ホーム等で短期間の宿泊サービスを提供した。								
	○生活管理指導事業		15千円						
	・利用者数：1人（生活保護世帯以外の世帯）								
	・利用日数：7日								
	・利用施設：養護老人ホーム満寿園								
・生活管理指導事業委託料		15千円							
2,080円×7日									
				成果・課題	一時的に在宅生活が困難な高齢者に対して、短期宿泊サービスを提供することを通じて生活習慣の改善や体調管理を行うことで、自立した生活を継続できるよう支援することができた。				

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部
	項	01 社会福祉費	10,737千円		14,178千円	3,441千円	75.7 %		
	目	04 高齢者福祉費					(参考)当初予算額	課	長寿福祉課
	事業	06 介護サービス利用負担軽減事業					14,178千円		
基本計画	20 暮らしに生きがいのある健康長寿のまちづくり		主な財源	府補 介護保険事業費補助金（3/4） 8,052千円					
目的	介護保険サービス利用者負担額の軽減を行う社会福祉法人等に対して助成金を交付し、利用者負担軽減制度の円滑な実施を支援することで、高齢者福祉の増進を図る。								
主要な事務・事業の概要	低所得で生計の維持が困難である者が介護保険サービスを利用した際の利用者負担額の軽減を行った社会福祉法人等へその一部を助成した。								
	○社会福祉法人等利用者負担軽減助成金 10,737千円 助成金交付法人等数：17法人等 利用者負担軽減対象者数：延べ362人								
			成果・課題	低所得で生計が困難な要介護者等が、介護サービス費等の負担軽減を受けられるように社会福祉法人等を支援することで、高齢者福祉の増進を図ることができた。					

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部																										
	項	01 社会福祉費	12,826千円		12,827千円	1千円	99.9 %																												
	目	04 高齢者福祉費					(参考)当初予算額	課	長寿福祉課																										
	事業	07 高齢者福祉施設整備助成事業					12,827千円																												
基本計画		20 暮らしに生きがいのある健康長寿のまちづくり		主な財源																															
目的	社会福祉法人の施設整備に係る借入金の返済の一部を補助し、法人経営の安定と老人福祉施設の充実を図る。																																		
主要な事務・事業の概要	介護が必要になった高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるように、社会福祉法人の拠点施設の整備に係る債務の償還金額の一部について補助を行った。 ・ 補助対象：社会福祉法人が整備する社会福祉施設に係る事業 平成29年度までの借りに係るもの ・ 補助内容：整備に係る資金の元金又は利子の一部 <table><tr><th>用 途</th><th>補助金額</th><th>償還終了年度</th></tr><tr><td>特別養護老人ホーム弥栄はごろも苑建設資金</td><td>2,171千円</td><td>令和10年度</td></tr><tr><td>特別養護老人ホーム第二丹後園建設資金</td><td>1,420千円</td><td>令和6年度</td></tr><tr><td>養護老人ホーム満寿園改築資金</td><td>137千円</td><td>令和10年度</td></tr><tr><td>特別養護老人ホーム満寿園建設資金</td><td>2,708千円</td><td>令和12年度</td></tr><tr><td>特別養護老人ホーム海山園建設資金</td><td>1,500千円</td><td>令和3年度</td></tr><tr><td>特別養護老人ホームふるさと建設資金</td><td>2,670千円</td><td>令和19年度</td></tr><tr><td>特別養護老人ホームふるさと増築資金</td><td>2,220千円</td><td>令和28年度</td></tr><tr><td>合 計</td><td>12,826千円</td><td></td></tr></table>		用 途	補助金額	償還終了年度	特別養護老人ホーム弥栄はごろも苑建設資金	2,171千円	令和10年度	特別養護老人ホーム第二丹後園建設資金	1,420千円	令和6年度	養護老人ホーム満寿園改築資金	137千円	令和10年度	特別養護老人ホーム満寿園建設資金	2,708千円	令和12年度	特別養護老人ホーム海山園建設資金	1,500千円	令和3年度	特別養護老人ホームふるさと建設資金	2,670千円	令和19年度	特別養護老人ホームふるさと増築資金	2,220千円	令和28年度	合 計	12,826千円		成果・課題	資金借入により基盤整備を行った社会福祉法人に対し、借入金の返済の一部を補助することにより、法人経営の安定と老人福祉施設の充実を図ることができた。				
			用 途	補助金額	償還終了年度																														
			特別養護老人ホーム弥栄はごろも苑建設資金	2,171千円	令和10年度																														
			特別養護老人ホーム第二丹後園建設資金	1,420千円	令和6年度																														
			養護老人ホーム満寿園改築資金	137千円	令和10年度																														
			特別養護老人ホーム満寿園建設資金	2,708千円	令和12年度																														
			特別養護老人ホーム海山園建設資金	1,500千円	令和3年度																														
			特別養護老人ホームふるさと建設資金	2,670千円	令和19年度																														
			特別養護老人ホームふるさと増築資金	2,220千円	令和28年度																														
			合 計	12,826千円																															

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部
	項	01 社会福祉費	6,963千円		7,794千円	831千円	89.3 %		課
	目	04 高齢者福祉費					(参考)当初予算額		
	事業	08 網野高齢者すこやかセンター施設管理事業					8,265千円		
基本計画	20 暮らしに生きがいのある健康長寿のまちづくり		主な財源	使用料 網野高齢者すこやかセンター使用料 2,676千円					
目的	サークル活動などの会場と入浴の場を提供し、高齢者の生きがいや健康づくりを推進する。								
主要な事務・事業の概要	在宅の高齢者に対して入浴やレクリエーションの場を提供し、高齢者福祉の推進を図ることを目的として設置された網野高齢者すこやかセンターの維持管理・運営を行った。								
○施設維持管理費									
・需用費（消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕料）		4,229千円							
・役務費（通信運搬費、火災保険料）		99千円							
・委託料（運営管理委託料、ボイラー保守点検等）		2,601千円							
・原材料費（維持補修費）		34千円							
■年間施設利用者数（延べ人数）									
	令和3年度	令和2年度	令和元年度	成果・課題				○入浴やレクリエーションの場を提供することで、高齢者の生きがいや健康づくりに貢献することができた。 ○利用者の増加等による収入の増加を図るなど、より一層の効果的・効率的な運営に努めていく必要がある。 ○ボイラー等の設備が老朽化してきており、故障時の対応を検討しておく必要がある。	
入浴利用者数	13,180人	13,903人	17,992人						
貸館利用者数	1,910人	2,967人	4,902人						

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部
	項	01 社会福祉費					99.5 %		
	目	04 高齢者福祉費	1,011,223千円		1,015,545千円	4,322千円	(参考)当初予算額	課	長寿福祉課
	事業	09 介護保険事業特別会計繰出金					1,054,737千円		
基本計画		20 暮らしに生きがいのある健康長寿のまちづくり		主な財源	国負	低所得者保険料軽減負担金（1/2）			47,831千円
					府負	低所得者保険料軽減負担金（1/4）			23,916千円
目的	介護保険法で定められた費用及び事務費相当分を負担することで、介護保険事業特別会計の円滑な運営を図る。								
主要な事務・事業の概要	介護保険事業を円滑に推進するため、介護給付費の公費相当分、事務費相当分、地域支援事業費分及び低所得者保険料軽減相当分について、一般会計から繰り出しを行った。								
	○介護給付費公費相当分		781,512千円						
	○地域支援事業費		58,890千円						
	・介護予防事業費分		26,057千円						
	・包括的支援事業・任意事業費分		21,971千円						
	(地域包括支援センター事業ほか)								
	・包括的支援事業・社会保障充実分		10,862千円						
	(認知症地域支援・ケア向上事業ほか)								
	○事務費分		70,977千円						
	・一般事務費（一般管理費、賦課徴収費、趣旨普及費）		6,584千円						
・認定事務費（介護認定審査会費、認定調査等費）		64,393千円							
○低所得者保険料軽減繰出金		99,844千円							
				成果・課題					

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部
	項	01 社会福祉費	33,000千円	33,000千円	0千円	100.0 %		
	目	04 高齢者福祉費				(参考)当初予算額	課	長寿福祉課
	事業	10 介護サービス事業特別会計繰出金				33,000千円		
基本計画		20 暮らしに生きがいのある健康長寿のまちづくり		主な財源				
目的	介護サービス事業特別会計へ繰出金を支出することにより、京丹後市やさか老人保健施設ふくじゅ及び京丹後市網野デイサービスセンターの安定した運営を図る。							
主要な事務・事業の概要	○介護サービス事業特別会計繰出金		33,000千円					
	【参考】介護サービス事業特別会計の収支		△ 32,605千円					
	・京丹後市やさか老人保健施設ふくじゅ						・京丹後市網野デイサービスセンター	
	歳入	サービス収入	32,507千円		歳入	サービス収入	56,507千円	
		使用料及び手数料	113千円			府支出金	10千円	
		諸収入	1,648千円			諸収入	282千円	
		計	34,268千円			計	56,799千円	
	歳出	施設管理費	163千円		歳出	施設管理費	9,663千円	
		公債費	68,254千円			サービス事業費	45,592千円	
		計	68,417千円			計	55,255千円	
	収支		△ 34,149千円		収支		1,544千円	
				成果・課題				

予算科目目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部
	項	01 社会福祉費	10,870千円		11,496千円	626千円	94.5 %		
	目	04 高齢者福祉費					(参考)当初予算額	課	長寿福祉課
	事業	11 福祉施設等指定管理施設運営事業					10,341千円		
基本計画		20 暮らしに生きがいのある健康長寿のまちづくり		主な財源	市債 過疎地域持続的発展特別事業債（過疎対策債） 8,100千円				
目的	指定管理者の創意工夫に基づいた高齢者拠点施設を管理運営することにより利用者に質の高い多様なサービスを提供し、もって高齢者福祉の増進を図る。								
主要な事務・事業の概要	高齢者福祉に関する施設のうち、指定管理者制度を導入している施設の管理運営を円滑に行うための経費を支出した。								
	○指定管理委託料			9,936千円					
	施設名称		委託料	延べ利用者数					
	網野社会参加交流ハウス		1,745千円	5,691人					
	丹後老人福祉センター松風苑		6,515千円	3,698人					
	弥栄生きがい交流センター		1,676千円	776人					
	合計		9,936千円	10,165人					
	※丹後老人福祉センター松風苑は令和3年度まで。								
	○消耗品費			2千円					
	○水道開閉栓手数料			1千円					
○建物火災保険料			54千円						
○陶芸用電気釜			836千円						
○映写スクリーン			41千円						
			成果・課題		○高齢者拠点施設として、地域の高齢者福祉事業に活用されるなど、高齢者福祉の増進を図ることができた。 ○令和3年度で松風苑の老人福祉センターとしての機能を廃止したため、今後の同施設の利活用については、検討中である。				

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部					
	項	01 社会福祉費	3,870千円		106,307千円	102,437千円	3.6 %							
	目	04 高齢者福祉費					(参考)当初予算額	課	長寿福祉課					
	事業	15 高齢者福祉施設整備事業					67,668千円							
基本計画		20 暮らしに生きがいのある健康長寿のまちづくり		府補	地域密着型サービス等整備助成事業補助金（10/10）				3,870千円					
目的	介護施設における新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止する観点から、特別養護老人ホームが行うゾーニング環境の整備に係る経費を支援する。				主な財源									
主要な事務・事業の概要	○地域密着型サービス施設整備事業費補助金				3,870千円		<table><tr><td rowspan="2">参考</td><td>繰越明許費を除いた最終予算額</td><td>3,870千円</td></tr><tr><td>実質的な予算執行率</td><td>100.0%</td></tr></table>			参考	繰越明許費を除いた最終予算額	3,870千円	実質的な予算執行率	100.0%
	参考	繰越明許費を除いた最終予算額	3,870千円											
		実質的な予算執行率	100.0%											
	・ ユニット型施設の各ユニットへの玄関室設置によるゾーニング経費支援分				3,144千円									
	補助率：10/10（国2/3、府1/3）													
補助上限額：1,000千円×整備箇所														
<table><tr><td>実施主体</td><td>整備施設</td><td>整備箇所数</td><td>補助金額</td></tr><tr><td>社会福祉法人 あしぎぬ福祉会</td><td>特別養護老人ホーム 満寿園</td><td>7か所</td><td>3,144千円</td></tr></table>				実施主体	整備施設	整備箇所数	補助金額	社会福祉法人 あしぎぬ福祉会	特別養護老人ホーム 満寿園	7か所	3,144千円			
実施主体	整備施設	整備箇所数	補助金額											
社会福祉法人 あしぎぬ福祉会	特別養護老人ホーム 満寿園	7か所	3,144千円											
・ 従来型個室・多床室のゾーニング経費支援分				726千円										
補助率：10/10（国2/3、府1/3）														
補助上限額：6,000千円×整備箇所														
<table><tr><td>実施主体</td><td>整備施設</td><td>整備箇所数</td><td>補助金額</td></tr><tr><td>社会福祉法人 みねやま福祉会</td><td>総合老人福祉施設 はごろも苑</td><td>1か所</td><td>726千円</td></tr></table>				実施主体	整備施設	整備箇所数	補助金額	社会福祉法人 みねやま福祉会	総合老人福祉施設 はごろも苑	1か所	726千円			
実施主体	整備施設	整備箇所数	補助金額											
社会福祉法人 みねやま福祉会	総合老人福祉施設 はごろも苑	1か所	726千円											
				成果・課題	ゾーニング環境の整備を支援することで、介護施設における新型コロナウイルス感染拡大防止対策の取組に寄与することができた。									

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部												
	項	01 社会福祉費	19,050千円		19,050千円	0千円	100.0 %														
	目	04 高齢者福祉費					(参考)当初予算額	課	長寿福祉課												
	事業	16 シルバ-人材センター運営助成事業					19,050千円														
基本計画		20 暮らしに生きがいのある健康長寿のまちづくり		主な財源																	
目的	シルバー人材センターを支援することにより、高齢者の就業機会の確保をはじめ、就業及びボランティア活動等による高齢者の社会参加を図り、地域の活性化と福祉の向上を目指す。																				
主要な事務・事業の概要	シルバー人材センターへ運営費を支援することにより、定年退職者等の地域に密着した就業機会の確保、また高齢者の生きがいの充実や社会参加の機会確保を図る。																				
	○シルバー人材センター運営費補助金 19,000千円																				
	【事業概要】労働者派遣事業、福祉・家事援助サービス事業等																				
	<table><tr><td></td><td>令和3年度末</td><td>令和2年度末</td><td>令和元年度</td></tr><tr><td>正会員数</td><td>692人</td><td>716人</td><td>728人</td></tr><tr><td>就業延べ人員</td><td>66,276人</td><td>69,636人</td><td>74,366人</td></tr><tr><td>受注件数</td><td>4,737件</td><td>4,844件</td><td>4,923件</td></tr><tr><td>契約金額</td><td>299,863千円</td><td>306,246千円</td><td>320,861千円</td></tr></table>										令和3年度末	令和2年度末	令和元年度	正会員数	692人	716人	728人	就業延べ人員	66,276人	69,636人	74,366人
	令和3年度末	令和2年度末	令和元年度																		
正会員数	692人	716人	728人																		
就業延べ人員	66,276人	69,636人	74,366人																		
受注件数	4,737件	4,844件	4,923件																		
契約金額	299,863千円	306,246千円	320,861千円																		
○京都府シルバー人材センター協会賛助会員会費 50千円																					
成果・課題	○補助金の交付により、高齢者の就業機会の確保、生きがいづくりや社会参加の機会確保に繋ぐことができた。 ○高齢者の健康維持や福祉の増進だけでなく、生活支援の担い手として活躍していただけるよう、市とシルバー人材センターで引き続き情報共有や連携を進めていく必要がある。 ○会員が少しずつ減少していることから、会員確保に向けた取組を進めていく必要がある。																				

予算科目目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部
	項	01 社会福祉費	544千円		3,178千円	2,634千円	17.1 %		
	目	04 高齢者福祉費					(参考)当初予算額	課	長寿福祉課
	事業	17 百才活力社会推進事業					1,232千円		
基本計画		20 暮らしに生きがいのある健康長寿のまちづくり		府補	高齢化対策推進事業費補助金（10/10）				281千円
目的	百歳になってもそれぞれの才能を活かして、学習や趣味、仕事、ボランティアなど、やりたい分野で生涯現役で活躍できる「百才活力社会」の実現に向けて、取組を進める。								
主要な事務・事業の概要	〈百寿人生のレシピの作成〉所管：健康推進課 京丹後の豊かな自然や食資源や食文化などを堪能している百寿者の生活ぶりの紹介や京丹後の食材を生かした腸活レシピ等を作成するための調査・研究を進め、「まちの魅力」として広く発信するため「～今に生きる～百寿人生のレシピ」第4版を発行する。 ■百寿人生のレシピの作成 262千円 ○報償費（アドバイザー謝金） 70千円 ○消耗品費（レシピ掲載撮影用食材費） 11千円 ○会場借上料（レシピ撮影調理会場使用料） 4千円 ○著作物使用料（レシピ掲載用素材使用料） 177千円			主な財源	〈働くシニア応援プロジェクトの実施〉所管：長寿福祉課 シルバー人材センター等の関係機関と連携し、元気な高齢者の生きがいづくりと健康を増進するとともに、高齢者の就業機会の確保による企業等の人材不足の解消、地域活動への参画等を促進することにより、百才活力社会の推進及び地域の活性化を図る。 ■高齢者向け求人カタログの作成 282千円 ○消耗品費（案内チラシ用紙代） 23千円 ○印刷製本費（求人カタログ、セミナーチラシ印刷代） 197千円 ○手数料（セミナーチラシ新聞折込手数料） 62千円 ・求人カタログ：令和3年11月発行 ・いきいきシニア講演会とシニア就職相談会については、開催を中止した。				
	参考	繰越明許費を除いた最終予算額		703千円		成果・課題	○高齢者向け求人カタログの作成により、高齢者の就業機会の確保に資することができた。 ○百寿人生のレシピの作成のための調査・研究により京丹後市の百寿者の健康の秘訣が分かり、百才活力社会を推進するためのレシピ集の発行に向けた準備ができた。		
実質的な予算執行率		77.3%							
■令和4年度への繰越事業 ・百寿人生のレシピ印刷製本（令和4年12月完了予定）			2,475千円						

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部																				
	項	01 社会福祉費	847千円		1,117千円	270千円	75.8 %																						
	目	04 高齢者福祉費					(参考)当初予算額	課	長寿福祉課																				
	事業	18 高齢者外出支援事業					3,614千円																						
基本計画	20 暮らしに生きがいのある健康長寿のまちづくり		主な財源	諸収入 高齢者外出支援タクシーチケット販売代金 538千円																									
目的	高齢者の移動しやすい環境を整備し、外出支援及び社会参加の促進並びに市内の公共交通機関の利用促進を図る。																												
主要な事務・事業の概要	対 象 者： 満75歳以上の方 使 用 期 限： 購入の日から1年間 チケット種類： ① 通常外出支援用（1冊4,000円綴りを2,000円で販売） 病院、買い物、公共機関等へ行くときに利用されたタクシー運賃の支払いに利用できるチケット ② 公共交通利用促進用（1冊2,000円綴りを1,000円で販売） 自宅と最寄りのバス停の移動（片道又は往復）に利用されたタクシー運賃等に利用できるチケット ■チケット種類別の販売・使用状況（令和4年3月31日現在） <table><tr><th>チケット種類</th><th>販売金額</th><th>販売枚数</th><th>使用数</th><th>使用率</th></tr><tr><td>通常外出支援用</td><td>526,800円</td><td>2,634枚</td><td>1,654枚</td><td>62.80%</td></tr><tr><td>公共交通利用促進用</td><td>11,000円</td><td>55枚</td><td>9枚</td><td>16.40%</td></tr><tr><td>合計</td><td>537,800円</td><td>2,689枚</td><td>1,663枚</td><td>61.80%</td></tr></table> 使用期限：購入の日から1年間				チケット種類	販売金額	販売枚数	使用数	使用率	通常外出支援用	526,800円	2,634枚	1,654枚	62.80%	公共交通利用促進用	11,000円	55枚	9枚	16.40%	合計	537,800円	2,689枚	1,663枚	61.80%	○消耗品費 40千円 ○印刷製本費（案内チラシ及びチケット印刷代） 142千円 ○高齢者外出支援助成金 665千円 【内訳】 ・通常外出支援用 661千円 ・公共交通利用促進用 4千円				
					チケット種類	販売金額	販売枚数	使用数	使用率																				
					通常外出支援用	526,800円	2,634枚	1,654枚	62.80%																				
					公共交通利用促進用	11,000円	55枚	9枚	16.40%																				
合計	537,800円	2,689枚	1,663枚	61.80%																									
成果・課題	○高齢者の移動・外出しやすい環境整備に寄与することができた。 ○令和3年10月からの実施であったため、実証するために一定のデータが得られたものの、コロナ禍での検証であったため、その分析が難しく、今後の動向にも注視する必要がある。 ○利用率が低いので、利用を促進していく必要がある。																												

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部	
	項	01 社会福祉費	3,644千円		4,087千円	443千円	89.1 %			
	目	04 高齢者福祉費					(参考)当初予算額	課	長寿福祉課	
	事業	50 高齢者福祉一般経費					3,735千円			
基本計画		20 暮らしに生きがいのある健康長寿のまちづくり		主な財源						
目的	高齢者福祉施設の管理及び高齢者福祉事務事業を円滑に実施する。									
主要な事務・事業の概要	○会計年度任用職員任用経費（1人）		2,868千円							
	○消耗品費		38千円							
	○役務費		217千円							
	・火災保険料		38千円							
	・総合賠償補償保険料（認知症あんしん補償事業）		179千円							
	加入者数：101人									
	○使用料及び賃借料		521千円							
	・土地借上料（グループホームかえで用地賃借料）		441千円							
	・土地借上料（浜詰ふれあいセンター用地賃借料）		80千円							

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部
	項	02 児童福祉費	3,146千円		3,171千円	25千円	99.2 %		
	目	01 児童福祉総務費					(参考)当初予算額		
	事業	04 母子家庭等対策総合支援事業					4,480千円		
基本計画	25 子育て支援の総合的な推進		主な財源	国補 高等職業訓練促進費補助金（3/4） 2,019千円					
目的	就職に有利な資格取得、職業能力開発の取組及び高等学校卒業程度認定試験合格のための講座等を受講するための支援金を給付し、ひとり親家庭の経済的自立の促進を図る。								
主要な事務・事業の概要	○高等職業訓練促進費（給付金）		2,692千円						
	・対象者：3人（准看護師、看護師）								
	110,500円/月×1人(市町村民税課税世帯)×12か月	1,326千円							
	100,000円/月×1人(市町村民税非課税世帯)×12か月	1,200千円							
	70,500円/月×1人(市町村民税課税世帯)×2か月	141千円							
	・高等職業訓練修了支援金（1人）		25千円						
	○過年度国庫支出金返還金		454千円						
・高等職業訓練促進費補助金事業		192千円	成果・課題	ひとり親家庭に対し、高等職業訓練促進給付金を支給し、その家庭の経済的負担を軽減することで、資格取得に向けた受講の継続を支援することができた。					
・自立支援教育訓練給付金事業		150千円							
・ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援事業		112千円							

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部
	項	02 児童福祉費	1,000千円	3,000千円	2,000千円	33.3 %		
	目	02 子育て支援費				(参考) 繰越予算額	課	健康推進課
	事業	06 こんにちは赤ちゃん特別給付金支給事業（繰越）				3,000千円		
基本計画	25 子育て支援の総合的な推進		主な財源					
目的	新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、不安を抱えながら子どもの誕生を迎える世帯について、当該世帯の経済的負担を軽減し、子育てを支援する。							
主要な事務・事業の概要	○こんにちは赤ちゃん特別給付金 1,000千円 国の新型コロナウイルス感染症緊急経済対策による特別定額給付金の対象とならなかった令和2年4月28日から令和3年3月31日までに出生した新生児及び出産予定日が令和3年3月31日までである胎児に対して、臨時的措置かつ市独自施策として1人10万円の特別給付金を給付するもの。 出生日が令和2年度末となり、出生届が令和3年4月以降になった10人の方へ給付する。							
			成果・課題	コロナ禍で出産を迎えた世帯の経済的負担を軽減し、子育て支援に資することができた。				

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部	
	項	02 児童福祉費	349千円		557千円	208千円	62.6 %		課	健康推進課
	目	02 子育て支援費					(参考)当初予算額			
	事業	07 子育て世代包括支援センター事業					852千円			
基本計画		25 子育て支援の総合的な推進		主な財源	国補	母子保健衛生費国庫補助金（1/2）				116千円
					府補	地域少子化対策重点推進交付金（1/2）				36千円
目的		妊産婦・乳幼児等の状況を継続的・包括的に把握し、必要な支援や関係機関との連携調整により、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を行う。また、子育て情報の発信により、子育てしやすい環境の整備を図る。								
主要な事務・事業の概要	○主な取組				③ 産後ケア事業の実施					
	① 妊娠期からのワンストップの相談窓口対応				利用実績：0人					
	相談件数：延べ 1,049人				④ 子育て支援おむつ用ごみ袋支給事業の実施					
	② 助産師等による専門的な相談や教室の実施（産前産後サポート事業）				対象者：316人／支給枚数：60,800枚					
	【教室等の実績】				○事業費					
					349千円					
					・助産師謝金					
					258千円					
					・消耗品費					
					55千円					
				・印刷製本費						
				36千円						

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部																
	項	02 児童福祉費	24千円		27千円	3千円	88.8 %																		
	目	02 子育て支援費					(参考)当初予算額																		
	事業	08 はは笑みプロジェクト外事業					27千円																		
基本計画		25 子育て支援の総合的な推進		主な財源																					
目的	オンライン会議用ツールを活用し、子育て世代の方がオンライン上で子育てをテーマに様々な情報交流を行う機会とする。また、コロナ禍で外出機会が減少している中、交流の機会を増やし、お母さん同士がつながることで子育て支援の一助とする。																								
主要な事務・事業の概要	自宅に居ながら参加できるようオンライン会議用ツール「zoom」を活用し、市長や関係部局職員も含めた交流会を2回実施した。 開催日：第1回 7月21日（水） ：第2回 11月8日（月） 時 間：10時30分～12時（1時間30分） テーマ：「京丹後のお母さんに聞いてみたいライフスタイル」 【実績】 <table><tr><td></td><td>サブテーマ</td><td>参加者数</td><td>支援者</td></tr><tr><td>第1回</td><td>イラっとした時の対処法、お出かけ先</td><td>14人</td><td>11人</td></tr><tr><td>第2回</td><td>お出かけ先、ワークライフバランス</td><td>8人</td><td>2人</td></tr><tr><td colspan="2">合 計</td><td>22人</td><td>13人</td></tr></table>					サブテーマ	参加者数	支援者	第1回	イラっとした時の対処法、お出かけ先	14人	11人	第2回	お出かけ先、ワークライフバランス	8人	2人	合 計		22人	13人	■事業費 ○報償費（コーディネーター）24千円				
						サブテーマ	参加者数	支援者																	
第1回	イラっとした時の対処法、お出かけ先	14人	11人																						
第2回	お出かけ先、ワークライフバランス	8人	2人																						
合 計		22人	13人																						
成果・課題	○参加者からは情報収集や自分にはない発想、支援者からはお母さんたちの思いが共有できたとの意見があり、本事業がお母さんたちの子育ての一助となった。 ○参加者が固定化しやすいことやオンラインでの対応が煩わしいと感じる方もおり、開催方法の検討が必要である。																								

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部
	項	02 児童福祉費	26,500千円		28,000千円	1,500千円	94.6 %		
	目	02 子育て支援費					(参考)当初予算額	課	健康推進課
	事業	09 こんにちは赤ちゃん応援給付金支給事業					0千円		
基本計画		25 子育て支援の総合的な推進		主な財源	国補 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 25,000千円				
					繰入金 新型コロナウイルス感染症支え合い基金繰入金 1,500千円				
目的	新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、不安を抱えながら子どもの誕生を迎える世帯について、当該世帯の経済的負担を軽減し、子育てを支援する。								
主要な事務・事業の概要	○こんにちは赤ちゃん応援給付金 26,500千円 令和3年4月1日から令和4年3月31日までに出生した新生児及び出産予定日が令和4年3月31日までである胎児に対して、臨時的措置かつ市独自施策として1人10万円の応援給付金を給付。 ・給付対象者数 265人								
	参考	繰越明許費を除いた最終予算額 26,500千円							
		実質的な予算執行率 100.0 %							
主要な事務・事業の概要	■令和4年度への繰越事業				成果・課題				
	・ こんにちは赤ちゃん応援給付金 1,500千円 (令和4年5月完了)								
					コロナ禍で出産を迎えた世帯の経済的負担を軽減し、子育て支援に資することができた。				

予算科目目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部		
	項	02 児童福祉費	664,763千円		664,989千円	226千円	99.9 %		課	生活福祉課	
	目	03 児童福祉措置費									
	事業	01 児童手当支給事業									
基本計画	25 子育て支援の総合的な推進		主な財源	国負	児童手当負担金				453,843千円		
目的	児童手当を支給することで、次世代の社会を担う子どもの健やかな育ちを社会全体で支援する。			国補	子ども・子育て支援事業費補助金				2,216千円		
				府負	児童手当負担金				101,339千円		
主要な事務・事業の概要	○児童手当給付費			658,365千円		○事務経費内訳					6,398千円
	＜令和3年4月～令和4年3月支給内訳＞										
	区分		支給月額	延べ対象児童数	支給額						
	0～3歳未満	被用者	15千円	6,951人	104,265千円		・会計年度任用職員報酬等（1人）				2,417千円
		非被用者		1,847人	27,705千円		・消耗品費				64千円
	3歳以上～ 小学校修了前	第1・2子	10千円	29,692人	296,920千円		・印刷製本費				161千円
		第3子以降	15千円	5,660人	84,900千円		・通信運搬費				724千円
	中学生		10千円	13,854人	138,540千円		・京都府自治体情報化推進協議会システム改修負担金				2,216千円
	特例給付		5千円	1207人	6,035千円		・過年度国庫支出金返還金（子育て世帯への臨時特別給付金）				816千円

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部
	項	02 児童福祉費	183,407千円		183,546千円	139千円	99.9 %		
	目	03 児童福祉措置費					(参考)当初予算額	課	生活福祉課
	事業	02 児童扶養手当等支給事業					185,329千円		
基本計画	25 子育て支援の総合的な推進		主な財源	国負 児童扶養手当給付費国庫負担金（1/3） 58,748千円					
目的	離婚等によるひとり親家庭の児童、身体や精神に中程度以上の障害のある児童が健やかに成長するよう、その家庭の生活の安定と自立を促進する。								
主要な事務・事業の概要	○児童扶養手当給付費 175,901千円		※児童扶養手当対象者の内訳						
	○過年度児童扶養手当給付費国庫負担金返還金 7,046千円		全部支給：164人 一部支給：188人 全部停止：106人						
	○その他事務費（旅費、消耗品費、通信運搬費） 460千円		合計：458人						
	[児童扶養手当]								
	支給金額：全部支給43,160円、一部支給10,180円～43,150円								
	※児童2人以上を養育している場合は、全部支給で10,190円、一部支給では5,100円～10,180円を加算								
	※3人目以降は、全部支給で6,110円、一部支給では1人につき3,060円～6,100円を加算								
	※手当額はR3.4.1現在								

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部
	項	02 児童福祉費	1,720千円		1,723千円	3千円	99.8 %		
	目	03 児童福祉措置費					(参考)当初予算額	課	生活福祉課
	事業	03 児童入所施設措置事業					420千円		
基本計画		25 子育て支援の総合的な推進		主な財源	国負	児童入所施設措置費等負担金（1/2）			728千円
					府負	児童入所施設措置費等負担金（1/4）			364千円
目的	母等と監護される児童が福祉に欠ける場合に、母子生活支援施設に母子を保護し、経済的理由で入院助産が困難な場合は助産施設に措置することで、福祉の向上を図る。								
主要な事務・事業の概要	○母子生活支援施設入所措置費			1,112千円					
	令和3年度の入所者数：1世帯（5人）			1,112千円					
	○助産施設入所措置費			345千円					
	令和3年度の入所者数：1人			345千円					
	○その他			77千円					
・普通旅費			25千円						
・有料道路通行料			52千円						
○過年度国庫負担金返還金（児童入所施設措置費等国庫負担金）			186千円						
					成果・課題	母と監護される児童に対して、安心して生活の安定が図れるよう支援し、自立の促進を援助することができた。			

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部
	項	02 児童福祉費	56,379千円		56,481千円	102千円	99.8 %		
	目	03 児童福祉措置費					(参考)当初予算額	課	生活福祉課
	事業	04 子育て世帯生活支援特別給付金給付事業					0千円		
基本計画		25 子育て支援の総合的な推進		主 な 財 源	国補 子育て世帯生活支援特別給付金給付事業補助金（10/10） 56,379千円				
目的		新型コロナウイルス感染症の影響を受けている低所得の子育て世帯の生活を支援するため、特別給付金を支給する。							
主要な事務・事業の概要	○子育て世帯生活支援特別給付金 55,700千円				○支給対象者				
	・対象児童1人につき5万円				1.ひとり親世帯				
			児童扶養手当受給者	公的年金等受給者	家計急変者			①令和3年4月分の児童扶養手当の支給を受けている者	
	ひとり親世帯	決定件数	357件	16件	7件			②公的年金等を受給していることにより、令和3年4月分の児童扶養手当の支給を受けていない者	
		支給額	25,900千円	1,200千円	600千円			③新型コロナウイルス感染症の影響を受けて家計が急変し、収入が児童扶養手当を受給している者と同じ水準となっている者	
			非課税世帯		家計急変者			2.ひとり親世帯以外の世帯	
	ひとり親世帯以外	決定件数	282件		5件			①令和3年4月分の児童手当又は特別児童扶養手当の支給を受けている者で、令和3年度分の住民税均等割が非課税である者	
		支給額	27,300千円		700千円			②令和3年5月～令和4年3月までのいずれかの月の分の児童手当又は特別児童扶養手当の認定を受けた者で、令和4年度分の住民税均等割が非課税である者	
	○事務経費内訳 679千円				③新型コロナウイルス感染症の影響を受けて家計が急変し、令和3年度分の住民税均等割が非課税である者と同じ事情にある者				
	・職員手当等（時間外勤務手当） 52千円				成 果 ・ 課 題	給付金を支給することで、コロナ禍における低所得の子育て世帯を支援することができた。			
・需用費（消耗品費、コピー用紙代） 86千円									
・印刷製本費（封筒印刷） 14千円									
・通信運搬費 172千円									
・払込料金取扱手数料 75千円									
・京都府自治体情報化推進協議会システム改修負担金 280千円									

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部
	項	02 児童福祉費	740,309千円		743,528千円	3,219千円	99.5 %		
	目	03 児童福祉措置費					(参考)当初予算額	課	生活福祉課
	事業	05 子育て世帯への臨時特別給付金給付事業					0千円		
基本計画	25 子育て支援の総合的な推進		主な財源	国補 子育て世帯への臨時特別給付金給付事業補助金（10/10） 731,200千円					
目的	新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯の生活を支援するため、臨時特別給付金を支給する。								
主要な事務・事業の概要	○子育て世帯への臨時特別給付金 738,700千円				【支給対象者】				
	・対象児童1人につき10万円								
		児童手当受給者	高校生	新生児					
	決定数	5,835人	1,403人	149人					
	支給額	583,500千円	140,300千円	14,900千円					
	○事務経費内訳 1,609千円								
	・職員手当等（時間外勤務手当） 184千円								
	・需用費（消耗品費）、印刷製本費（封筒印刷） 165千円								
	・通信運搬費、払込料金取扱手数料 1,260千円								
	参考	繰越明許費を除いた最終予算額		740,317千円					
実質的な予算執行率		99.9%							
■令和4年度への繰越事業				成果・課題	給付金を支給することで、コロナ禍における子育て世帯を支援することができた。				
・子育て世帯への臨時特別給付金 3,211千円（令和4年8月完了）									

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部
	項	03 生活保護費	58,561千円		58,871千円	310千円	99.4 %		
	目	01 生活保護総務費					(参考)当初予算額	課	生活福祉課
	事業	02 生活保護運営管理事業					14,348千円		
基本計画		18 支え合い、助け合う地域福祉の推進		主な財源	国補 生活困窮者自立支援負担金（3/4） 2,970千円				
目的		生活保護の実施機関として、生活保護法に基づく事務を円滑に行い、生活保護費支給事業を適正に運営する。			国負 生活困窮者自立支援補助金（1/2、2/3、3/4） 2,064千円				
					諸収入 一時支援資金貸付金元金収入 320千円				
主要な事務・事業の概要	生活保護受給者の自立支援を目的に、よりきめ細かな相談を行うための面接相談員の設置、自立支援プログラムに基づく就労支援や健康管理支援を行ったほか、手持金の少ない生活保護申請者に対し、一時的な生活資金の貸付を行った。								
	○就労支援員報酬、期末手当（1人 週4日28時間勤務）		2,169千円						
	○健康管理支援員報酬、期末手当（1人 週2日15時間半勤務）		1,194千円						
	○面接相談員報酬、期末手当（1人 週4日28時間勤務）		2,169千円						
	○会計年度任用職員の共済費（社会保険料、雇用保険料）		712千円						
	○会計年度任用職員の費用弁償		207千円						
	○生活保護申請者への一時支援資金貸付金（16件）		320千円						
	○生活保護管理システム利用サービス料		2,983千円						
	○医療扶助適正実施経費		606千円						
	（レセプト点検委託料、レセプト管理システム利用サービス料）								
	○医療扶助・介護扶助審査手数料		300千円						
	○過年度国庫支出金返還金（生活保護費負担金等）		46,575千円						
	○その他の経費		1,326千円						
	（生活保護嘱託医報酬、旅費、需用費ほか）								

予算科目	款	03 民生費					本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	健康長寿福祉部	
	項	03 生活保護費					712,179千円		713,086千円		907千円		99.8 %			課	生活福祉課
	目	02 生活保護扶助費											(参考)当初予算額				
	事業	01 生活保護費支給事業											822,816千円				
基本計画		18 支え合い、助け合う地域福祉の推進					主な財源	国負		生活保護費負担金（3/4）						625,555千円	
目的		生活保護法に基づき、経済的に困窮している世帯に対して経済的援助を行うことにより、健康で文化的な最低限度の生活を保障するとともに、世帯の自立を支援する。						府負		生活保護費負担金（府費負担となる扶助費支給額の1/4）						78千円	
								諸収入		生活保護費返還金						11,604千円	
								諸収入		生活保護費徴収金						618千円	
								諸収入		生活保護費認定徴収金						366千円	
							諸収入		被保護者医療費返還金						137千円		
主要な事務・事業の概要	生活保護受給世帯に対し、生活保護法による保護の基準に基づいて算定した扶助費を支給した。							○扶助費							712,179千円		
								【生活保護費の支給状況】							(単位：千円)		
	【生活保護世帯の状況】 ※各年度とも3月末日の数値 （単位：世帯、人）																
	峰山		世帯数	H29	H30	R1	R2	R3									
			人数	101	107	108	113	114									
	大宮		世帯数	54	54	58	57	59									
			人数	141	150	153	157	150									
	網野		世帯数	79	79	77	75	76									
			人数	111	114	118	112	106									
	丹後		世帯数	151	154	159	153	145									
			人数	29	28	27	24	23									
	弥栄		世帯数	42	42	40	36	34									
人数			25	25	26	25	25										
久美浜		世帯数	39	41	41	38	33										
		人数	40	38	39	33	33										
合計		世帯数	58	60	55	42	40										
		人数	360	366	376	364	360										
		世帯数	510	526	525	501	478										
		人数															
成果・課題		○経済的給付にとどまらず、生活保護受給者それぞれの状況に応じた自立に向け、各関係機関と連携し支援を行った。															
		○生活保護費の支給を適正に行い、健康で文化的な最低限度の生活を保障するとともに、自立を助長することができた。															
		○生活保護受給者に対し、引き続き適正な保護を実施するとともに、自立を促進する必要がある。															

予算科目	款	04 衛生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部
	項	01 保健衛生費	858千円		925千円	67千円	92.7 %		
	目	01 保健衛生総務費					(参考)当初予算額	課	健康推進課
	事業	02 保健センター管理運営事業					925千円		
基本計画		08 生涯にわたる体とこころの健康づくり		主な財源					
目的	乳幼児健診、総合検診、健康指導及び健康教育等の保健活動の拠点となる保健センターを適切に管理し、市民の疾病予防、健康の保持増進を図る。								
主要な事務・事業の概要	保健センター（大宮・網野）の管理を適切に行った。								
	○大宮保健センター（利用件数：21件、利用人数：409人） ・燃料費（ガス）				○弥栄保健センター（利用件数：6件、利用人数：83人） ※維持管理経費は弥栄庁舎管理事業から支出				
主要な事務・事業の概要	○網野保健センター（利用件数：25件、利用人数：345人） ・消耗品費 ・燃料費（ガス） ・光熱水費（電気・水道） ・施設修繕費 ・火災保険料 ・施設清掃委託料				○久美浜保健センター（利用件数：13件、利用人数：184人） ※維持管理経費は久美浜庁舎管理事業から支出				
	○丹後保健センター（利用件数：3件、利用人数：69人） ※維持管理経費は丹後庁舎管理事業から支出				○保健センター管理経費 ・消耗品費				
				成果・課題	施設の適正な維持管理を行うことで、各種保健事業が円滑に実施され、健康増進の拠点として貢献することができた。				

予算科目	款	04 衛生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部
	項	01 保健衛生費	494千円		633千円	139千円	78.0 %		
	目	01 保健衛生総務費					(参考)当初予算額	課	健康推進課
	事業	03 自殺対策事業					284千円		
基本計画		08 生涯にわたる体とこころの健康づくり		主な財源	府補 自殺対策事業補助金（5/6、1/2）262千円				
目的	「京丹後市自殺のないまちづくり行動計画」に基づき、自殺ゼロを目指し、地域の中で悩んでいる人に気づき、見守る支援者を養成するとともに、普及啓発、自殺未遂者・自死遺族支援等の自殺対策の取組を推進する。								
主要な事務・事業の概要	・地域におけるネットワークの強化 京丹後市自殺ゼロ実現推進協議会（8月5日実施） 京丹後市自殺ゼロ推進連絡会議（7月28日書面会議） ・自殺対策を支える人材の育成 こころ・いのち・つなぐ手研修会（ゲートキーパー研修会） 年6回、延べ参加者176人 ・市民への啓発と周知 啓発グッズの窓口配架、民生児童委員訪問活動時等の配布 啓発期間：12月～3月 延べ配布数：1,563部 9月の自殺予防週間に合わせ、相談窓口一覧を作製、全戸配付（9月10日） ※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため街頭啓発は未実施 ・生きるための相談、支援体制の充実、関係機関との連携 こころの健康相談日：月1回 実相談者数：12人 延べ相談者数：43人 ・児童、生徒への自殺対策の推進 小6、中3、高3年生1,255人に、SOSの出し方や相談窓口を掲載したクリアファイル及びリーフレットを配付				○京丹後市自殺ゼロ実現推進協議会 10千円 ・旅費 10千円 ○こころ・いのち・つなぐ手養成講座（ゲートキーパー養成講座） 98千円 ・報償費（講師謝金、費用弁償） 73千円 ・消耗品費 25千円 ○市民局窓口等に啓発グッズの配架など 330千円 ・消耗品費 36千円 ・印刷製本費 294千円 ○若年層支援事業 56千円 ・消耗品費 56千円				
					成果・課題	○昨年度に引き続きコロナ禍において、街頭啓発はできなかったが、自殺の危険性が高い人の早期発見・早期対応を図るため、「こころ・いのち・つなぐ手（ゲートキーパー）研修会」を継続実施することで、地域で見守る支援者を養成することができた。 ○令和3年の自殺者数は令和2年より2人減少し11人であったが、自殺ゼロを目指し調査・分析を継続し、自殺対策を総合的に実施していく必要がある。			

予算科目	款	04 衛生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部	
	項	01 保健衛生費	25,061千円		25,062千円	1千円	99.9 %		課	新型コロナウイルス対策室
	目	01 保健衛生総務費					(参考)当初予算額			
	事業	05 新型コロナウイルス感染症支え合い基金					2千円			
基本計画		30 行財政改革大綱（効率的・効果的な行財政運営）		主な財源	財産収入	新型コロナウイルス感染症支え合い基金利子収入				73千円
目的		新型コロナウイルス感染症による市民生活、経済活動への影響に対し、感染症予防対策及び地域経済対策等に資することを目的に設置した「新型コロナウイルス感染症支え合い基金」への積立金			寄附金	ふるさと応援寄附金				24,988千円
主要な事務・事業の概要	○新型コロナウイルス感染症支え合い基金積立金 ・ふるさと応援寄附金1,268件分 24,988千円				【参考】令和3年度活用額：57,000千円 主な活用事業 ・ 指定管理者休業協力金 30,000千円 ・ 中小企業緊急雇用調整助成金 3,000千円 ・ 事業所等感染症対策緊急支援補助金 2,500千円 ・ 観光地域づくりチャレンジ 支援事業補助金 2,500千円 ・ 感染症対策用物品購入経費 2,500千円 ・ 病院事業会計繰出金 2,000千円 ・ こんにちは赤ちゃん応援給付金 1,500千円 ・ 福祉施設等抗原定性検査キット購入費用補助金 1,000千円 ・ その他6事業 12,000千円					
	(参考) 基金の状況 (単位：千円)									
	令和2年度末 現在高 ①	令和3年度中増減額		令和3年度末 現在高 ①-②+(③+④)						
		繰入金 ②	運用利子 ③	積立金 ④						
223,118	57,000	73	24,988	191,179						
					成果・課題					

予算科目	款	04 衛生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部	
	項	01 保健衛生費	16,330千円		16,473千円	143千円	99.1 %		課	健康推進課
	目	01 保健衛生総務費					(参考)当初予算額			
	事業	50 保健衛生総務一般経費					12,290千円			
基本計画		08 生涯にわたる体とこころの健康づくり		主な財源	国補	感染症予防事業費等補助金			433千円	
目的		各種保健事業を円滑に実施するために必要な会計年度任用職員任用経費、研修旅費、各種負担金などの経費を支出することにより、市民の健康の増進を図る。			国補	新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費補助金			58千円	
					府補	骨髄ドナー助成事業補助金			70千円	
					諸収入	後期高齢者医療保健事業委託金			427千円	
主要な事務・事業の概要	会計年度任用職員（保健師）の任用、各種研修・研修会等への参加及び旧丹後保健センター（書庫・倉庫として使用）の維持管理を行った。				○負担金					2,840千円
	○研修旅費（保健師協議会、新人保健師研修会等）				22千円	・京都府栄養士会負担金				30千円
	○骨髄ドナー助成金（1件）				140千円	・京都府市町村保健師協議会負担金				37千円
	○旧丹後保健センター維持管理経費				53千円	・市町村栄養士研究会負担金				5千円
	・光熱水費（電気代）				5千円	・健康管理システム共同利用負担金				2,303千円
	・火災保険料				4千円	・京都府自治体情報化推進協議会システム改修負担金				465千円
	・消防設備等保守点検委託料				9千円	○返還金				1,622千円
	・廃消火器処理手数料				2千円	・前年度母子保健衛生費国庫補助金				171千円
	・消火器リサイクル料				6千円	・前年度感染症予防事業等国庫補助金返還金				3千円
	・備品購入費（消火器 3本）				27千円	・前年度長寿・健康増進事業費補助金返還金				1,448千円
○予防接種健康被害調査委員会（報酬、旅費等）				58千円	成果・課題					○保健業務を円滑に実施することができた。 ○研修会等への参加により、専門職である保健師や栄養士として必要な知識を得ることができた。
・開催：2回（Zoom併用）、請求：3件										
○システム改修委託料（健康管理システム法制度改正対応機能）				200千円						
○消耗品費				73千円						
○会計年度任用職員任用経費（保健師・栄養士：8人）				11,322千円						
・産休代替保健師等報酬、期末手当、交通費、保険料等				11,322千円						

予算科目	款	04 衛生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部															
	項	01 保健衛生費	456千円		601千円	145千円	75.8 %																	
	目	02 保健対策費					(参考)当初予算額	課	健康推進課															
	事業	01 健康づくり・食育推進事業					880千円																	
基本計画		08 生涯にわたる体とこころの健康づくり	主な財源	府補	健康増進事業費等補助金（2/3）				68千円															
				府補	食料産業・6次産業化交付金（1/2以内）				95千円															
目的	健康づくり推進員、食生活改善推進員の育成を行い、健康づくりや食育の普及啓発にかかる地域活動等を支援することにより、市民主体の健康づくり及び生涯を通じた食育を推進する。																							
主要な事務・事業の概要	＜食育推進事業＞		193千円		＜健康づくり事業＞					263千円														
	①施策の方向Ⅰ「共食・朝ごはん・食事バランス」		86千円		○健康づくり推進員事業（健康づくり推進員の育成・活動支援）					220千円														
	・食生活改善推進員の育成（6支部全て中止）				・医師講師謝金					28千円														
	・食生活改善推進員による地域での伝達講習会（18回全て中止）				・健康づくり推進員活動謝金（3千円×48人）					144千円														
	・子どもクッキング（小学校低学年1回・高学年1回）（全て中止）				・通信運搬費（研修会等案内郵送代）					21千円														
	消耗品費（調理用消毒液等事前購入）		4千円		・消耗品費					27千円														
	・こども園・保育所での食育指導【所管：子ども未来課】		82千円		＊第6期健康づくり推進員人数（任期：令和4年3月31日まで）																			
	印刷製本費（朝ごはんノート、ランチョンマット 各440部）				<table><tr><td>峰山町</td><td>大宮町</td><td>網野町</td><td>丹後町</td><td>弥栄町</td><td>久美浜町</td><td>合計</td></tr><tr><td>16人</td><td>5人</td><td>5人</td><td>7人</td><td>7人</td><td>8人</td><td>48人</td></tr></table>					峰山町	大宮町	網野町	丹後町	弥栄町	久美浜町	合計	16人	5人	5人	7人	7人	8人	48人	
	峰山町	大宮町	網野町	丹後町	弥栄町	久美浜町	合計																	
	16人	5人	5人	7人	7人	8人	48人																	
②施策の方向Ⅱ「地産地消・食文化」				○歩いてすすめる健康づくり（Let'sチャレンジウォーキングの開催）																				
・食文化伝承推進事業		107千円		・印刷製本費（チャレンジカード 700枚）					26千円															
5校で9回開催、参加児童228人（全18回中、9回は中止）				○ウォーキング看板更新経費（6か所）					17千円															
謝金（食生活改善推進員）		105千円		峰山：2か所、大宮：1か所、網野：2か所、弥栄：1か所																				
・食育推進ネットワーク（関係機関・13団体、庁内7課で構成）				成果・課題	○学校・地域における食育の普及啓発や市民の食育支援は、コロナ禍ではあったが、学校等と感染症対策を講じたうえで、令和2年度の2校から5校に実施校を増やすことができた。 ○健康づくり推進員活動は、コロナ禍のため縮小となったが、Let'sチャレンジウォーキングに協働して取り組んだ。今後、より幅広い年齢層の参加を促進するための取組を検討する必要がある。 ○老朽化したウォーキング看板を更新し、歩きやすい環境整備に努めた。																			
通信運搬費		2千円																						
・お魚料理教室（小学校5年生）（6回全て中止）【所管：海業水産課】																								

予算科目	款	04 衛生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部
	項	01 保健衛生費	1,307千円		1,307千円	0千円	100.0 %		
	目	03 母子保健費					(参考)当初予算額		
	事業	01 不妊・不育症治療費助成事業						1,545千円	課
基本計画	25 子育て支援の総合的な推進	府補	不妊治療給付事業助成費補助金（1/2）					578千円	
目的	少子化対策の一環として、不妊・不育症治療を受けている夫婦に対して、治療費用の一部を助成することにより、安心して治療が受けられる環境を整える。		主な財源						
主要な事務・事業の概要	○不妊・不育症治療費助成委事業			1,157千円					
	対 象 者：		府内に1年以上居住し、かつ本市に住所を有する夫婦						
	治療対象：		① 一般不妊（医療保険適応の治療、人工授精）						
			② 不育症（ヘパリン注射、不育症の原因検査）						
	〈不妊治療費助成金交付実績〉								
			H29	H30	R元	R2	R3		
	実人数		29人	23人	28人	42人	34人		
	件数		34件	35件	40件	55件	49件		
	助成金額		966千円	580千円	930千円	1,663千円	1,157千円		
	〈人工授精に対する助成〉								
			H29	H30	R元	R2	R3		
	実人数		14人	10人	13人	21人	15人		
	件数		14件	12件	16件	25件	17件		
	助成金額		345千円	175千円	302千円	496千円	368千円		
	※ 不妊治療費助成金交付実績の内数								
〈不妊症に対する助成〉									
		H29	H30	R元	R2	R3			
実人数		0人	2人	1人	2人	0人			
件数		0件	3件	1件	2件	0件			
助成金額		0千円	91千円	6千円	14千円	0千円			
※ 不妊治療費助成金交付実績の内数									
○特定不妊治療通院交通費助成		150千円							
		R3							
実人数		12人							
件数		15件							
助成金額		150千円							
※令和3年度から特定不妊治療にかかる通院交通費の助成制度を開始。									
成果・課題	○不妊・不育症治療を受ける夫婦に対し、治療に係る費用負担を軽減することができた。 ○近年の申請件数は増加傾向であったが、コロナ禍で通院を控えられたためか、令和3年度はやや減少した。 ○令和4年度から特定不妊治療等が保険適用となるため、積極的に制度の広報を行い、周知を図る必要がある。 ○令和3年度から特定不妊治療にかかる通院交通費の助成制度を開始したが、京都府と連携して制度の周知に努める必要がある。								

予算科目	款	04 衛生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部	
	項	01 保健衛生費	10,097千円		10,405千円	308千円	97.0 %		課	健康推進課
	目	03 母子保健費					(参考)当初予算額			
	事業	02 母子健康支援事業					10,735千円			
基本計画		25 子育て支援の総合的な推進	主な財源	府補	7素による子どものむし歯予防事業費補助金（1/2）				1,192千円	
				府補	きょうと地域連携交付金（乳幼児健康診査事業）				1,500千円	
目的		子育て期間を通じて、乳幼児健康診査事業、むし歯予防事業、離乳食教室を実施することにより、乳幼児の疾病や障害の早期発見・早期治療・早期療育を促し、子どもの健やかな成長発達を支援するとともに、保護者の育児不安の解消と虐待防止を図る。								
主要な事務・事業の概要	○乳幼児健康診査事業		9,849千円		○離乳食教室					68千円
	4か月、10か月、1歳8か月、2歳6か月、3歳の時期に、健康診査、歯科健康診査及び保健指導を実施し、虐待予防を含めた乳幼児の健やかな成長・発達を促す支援を行った。				集団教室は中止、個別相談は計25回、延べ104人実施					
					・消耗品費（指導パンフレット）					68千円
					○その他（備品購入費（自動尿分析装置））					88千円
					○むし歯予防事業					92千円
					① フッ化物洗口（こども園・保育所14施設：761人、全小学校：2,302人）					
					・消耗品費（専用ボトルなど）					2千円
					・医薬材料費（フッ化物製剤、消毒液）					90千円
					② 歯科教室（こども園・保育所の5歳児の保護者対象 141人参加）					
					※歯科衛生士は久美浜病院に依頼した。					
				※9園・所は実施できたが、5園・所は中止						
		・会計年度任用職員任用経費（歯科衛生士）		1,233千円		成果・課題				○乳幼児健康診査は、コロナ禍ではあるが、小児科医の協力のもと感染対策を講じ、個別対応を中心として実施することができた。 ○離乳食教室は、集団指導から個別指導に変更して実施し、個別に丁寧な助言を行うことで、不安の解消を図ることができた。 ○むし歯保有率は年々改善しているが、全国や府と比べ高い傾向にあり、こども園・保育所及び小学校でのフッ化物洗口を継続して取り組む必要がある。
		・消耗品費		233千円						
		・医薬材料費		25千円						
		・案内郵送料		182千円						
		・謝金 小児科医（101回）、歯科医（92回）		8,140千円						
		・費用弁償		36千円						

予算科目	款	04 衛生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部	
	項	01 保健衛生費	25,814千円		27,480千円	1,666千円	93.9 %		課	健康推進課
	目	03 母子保健費					(参考)当初予算額			
	事業	03 妊産婦健康支援事業					28,833千円			
基本計画	25 子育て支援の総合的な推進		主な財源	国補	母子保健衛生費国庫補助金（1/2）				952千円	
目的	妊婦健康診査、妊婦歯科健康診査、産婦健康診査を実施することで、安心して妊娠・出産・子育てができる環境を整え、妊産婦の健康づくりを支援する。			府補	多胎妊婦健康診査支援事業府補助金（1/2）				23千円	
				府補	きょうと地域連携交付金（妊産婦健康診査事業）				5,100千円	
				繰入金	ふるさと応援基金繰入金				5,000千円	
主要な事務・事業の概要	○妊婦健康診査事業			23,753千円		○産婦健康診査事業				1,904千円
	安心・安全に出産を迎えるため、妊婦健康診査費用を助成。			産後うつの予防、新生児への虐待予防等を図るため、産婦が受診する健康診査（産後2週間目、産後1か月目の2回分）の費用の一部を助成。						
	※妊婦健康診査受診券綴交付者数：316人（内転入13人）			※産婦健康診査受診件数：370件（実人数246人）						
	・妊婦健康診査委託料			23,020千円		・産婦健康診査委託料				1,850千円
	・妊婦健康診査助成金（里帰り受診）件数：16件			372千円		・産婦健康診査助成金（里帰り出産）件数：11件				54千円
	・消耗品費（母子健康手帳購入ほか）			99千円						
	・印刷製本費（受診券綴印刷代）			262千円						
	○妊婦歯科健康診査事業			157千円		成果・課題				○妊婦健康診査及び妊婦歯科健康診査事業を実施することで、妊婦の健康づくり及び安心・安全な出産に寄与することができた。 ○産婦健康診査事業の実施により、産後の健康管理及び早期支援の充実を図ることができた。 ○妊婦歯科健康診査の重要性について、母子健康手帳交付時をはじめ、子育てLINEや妊婦健診時など様々な機会を通じて啓発に努める必要がある。
	妊婦の口腔衛生の向上を図るために、1回の妊娠につき1回の歯科健康診査受診費用の一部を助成。									
	※妊婦歯科健康診査受診者数：60人									
・妊婦歯科健康診査委託料			154千円							
	・妊婦歯科健康診査助成金（市外受診等）件数：1件			3千円						

予算科目	款	04 衛生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部																								
	項	01 保健衛生費	319千円		344千円	25千円	92.7 %		課	健康推進課																							
	目	03 母子保健費					(参考)当初予算額																										
	事業	04 発達障害児等早期発見・早期療育支援事業					501千円																										
基本計画		25 子育て支援の総合的な推進		主な財源	国補 障害者地域生活支援事業費補助金（1/2） 30千円																												
					府補 障害者地域生活支援事業費補助金（1/4） 15千円	府補 発達障害児等早期発見・早期療育支援事業費補助金（1/2） 71千円																											
目的		発達障害等により集団生活に困り感のある幼児の早期発見・早期療育の観点から、子どもと保護者が安心して就学を迎えられるよう関係機関と連携し、支援体制を構築する。																															
主要な事務・事業の概要	従来は、各園所に出向き保護者説明会を実施していたが、コロナ禍のため、こども園、保育所に通う4歳児の保護者を対象に、事業内容及び幼児期後半の子どもの発達と対応についての文書を配布した。 問診票に基づく一次スクリーニングと園巡回による行動観察の結果、要支援判定児については、個々に応じた事後支援を行った。 実施施設：14施設 実施園児数：386人 (1) 一次スクリーニング 問診票から抽出された幼児を対象にスクリーニング（18回） (2) 事後支援 ① 園巡回支援（延べ29回） ② 発達支援相談員による子育て相談（延べ16人） 〈判定結果〉 <table><tr><td>問題なし</td><td>172人</td><td>45%</td></tr><tr><td>園支援</td><td>129人</td><td>33%</td></tr><tr><td>要支援</td><td>48人</td><td>12%</td></tr><tr><td>管理中</td><td>37人</td><td>10%</td></tr></table>				問題なし	172人	45%	園支援	129人	33%	要支援	48人	12%	管理中	37人	10%	〈事後支援の結果（104人）〉 <table><tr><td>発達支援相談員による子育て相談</td><td>15人</td></tr><tr><td>発達相談・クリニック</td><td>71人</td></tr><tr><td>保健師面接・電話相談</td><td>52人</td></tr><tr><td>療育教室での対応</td><td>26人</td></tr><tr><td>ほめ方教室での対応</td><td>7人</td></tr><tr><td>医療機関における医学的対応</td><td>10人</td></tr></table> ※重複あり ○発達障害児等早期発見・早期療育支援相談員報酬 298千円 ○旅費（発達支援相談員費用弁償） 8千円 ○需用費（問診票・パンフレット用色上質紙ほか） 13千円					発達支援相談員による子育て相談	15人	発達相談・クリニック	71人	保健師面接・電話相談	52人	療育教室での対応	26人	ほめ方教室での対応	7人	医療機関における医学的対応	10人
					問題なし	172人	45%																										
	園支援	129人	33%																														
	要支援	48人	12%																														
管理中	37人	10%																															
発達支援相談員による子育て相談	15人																																
発達相談・クリニック	71人																																
保健師面接・電話相談	52人																																
療育教室での対応	26人																																
ほめ方教室での対応	7人																																
医療機関における医学的対応	10人																																
成果・課題					○支援の必要な幼児について、保護者、保育者、専門機関と連携し、早期支援を行い、専門相談等につなぐことができた。 ○切れ目のない支援が就学後も継続していけるように、今後も関係者、関係機関が連携を図り、こども園、保育所におけるより良い支援の在り方、支援体制の構築に努めていく必要がある。																												

予算科目	款	04 衛生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部	
	項	01 保健衛生費	1,198千円		1,262千円	64千円	94.9 %			
	目	04 健康推進費					(参考)当初予算額			
	事業	01 健康相談・指導事業						1,262千円	課	健康推進課
基本計画	08 生涯にわたる体とこころの健康づくり		主な財源	府補 健康増進事業費等補助金（2/3） 176千円						
目的	生活習慣病をはじめとした疾病予防、介護予防などを目的に、健康に関する知識の普及啓発及び健康相談・健康教育を行い、早世予防、健康寿命の延伸、健康の保持増進を図る。									
主要な事務・事業の概要	健康相談・保健及び栄養指導を実施し、市民の健康増進や疾病予防を推進した。									
	○検診結果報告会 1,105千円 実施期間：令和3年6月30日～令和3年9月30日（41日間） 公民館等15会場で、921人に個別指導を実施。 ・消耗品費（用紙、パンフレット等） 87千円 ・印刷製本費（各種封筒等） 186千円 ・通信運搬費（結果郵送代） 832千円		○歯周疾患予防事業 7千円 ・消耗品費（パンフレット等） 7千円							
	○生活習慣病重症化予防対策事業（対象者数151人） 25千円 ・消耗品費（用紙等） 2千円 ・印刷製本費 10千円 ・通信運搬費 13千円		○健康づくり講演会（CATV放映） 52千円 ・報償費 6千円 ・消耗品費（チラシ、咀嚼チェックガム等） 46千円							
	○骨密度測定器を活用した個別健康相談（3人） 9千円 ・消耗品費 9千円									
			成果・課題	○結果報告会は、感染予防対策として、検診結果に基づく対象者を個別に時間設定して行ったため、しっかりと話を聞いていただくなど、生活習慣病予防、重症化予防に係る保健・栄養指導が実施できた。 ○要医療判定の方、がん検診要精密検査の方には受診勧奨を行い、受療行動につながった。 ○コロナ禍で、出前講座等の健康教育は減少傾向であったが、健康づくり講演会は、無聴講者で撮影を行いケーブルテレビで放映したことで啓発に繋がったため、今後は、聴講者が出席しつつWeb配信を行うなどの検討が必要である。						

予算科目	款	04 衛生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部																																																			
	項	01 保健衛生費	110,684千円		110,726千円	42千円	99.9 %		課	健康推進課																																																		
	目	04 健康推進費					(参考)当初予算額																																																					
	事業	03 総合検診事業					118,727千円																																																					
基本計画		08 生涯にわたる体とこころの健康づくり		主な財源	国補	感染症予防事業等補助金				15千円																																																		
目的	がんや疾病を早期発見するとともに、健康管理意識を高め生活習慣の改善につなげることで、健康寿命の延伸、健康の保持増進を図る。				国補	健康増進事業費等補助金				2,331千円																																																		
					繰入金	再編交付金事業基金繰入金				20,000千円																																																		
					諸収入	後期高齢者医療保健事業補助金				6,553千円																																																		
				諸収入	京都府後期高齢者医療制度特別対策補助金				79千円																																																			
主要な事務・事業の概要	健康診査と各種がん検診を同時に受けることのできる総合検診として、地域の体育館等で実施した。				○事業費						110,684千円																																																	
	【実施期間】 令和3年5月18日～8月4日（13会場：39日間）				・消耗品費（資料用紙代、パンフレットなど）						61千円																																																	
	【検診項目及び受診者数】				・燃料費（送迎車ガソリン代）						2千円																																																	
					・印刷製本費（申込書、案内封筒、検診案内チラシ）						311千円																																																	
					・通信運搬費（申込書、受診票、精検未受診者勧奨通知）						1,362千円																																																	
					・検診委託料						108,944千円																																																	
					・検診会場使用料						4千円																																																	
					成果・課題	○コロナ禍において三密を避け、広い場所に集約するなど、感染症対策を徹底したことにより、令和2年度と比べ受診者数は回復傾向となった。 ○要精密検査者には、個別面談や電話での受診確認、書面による受診勧奨を行った。 ○今後も効果的な受診勧奨を検討し、総合検診及びがん検診の受診者の増加を目指すとともに、がん検診等精検未受診者への個別受診勧奨を継続し、疾病の早期発見、早期治療に繋がるよう努める必要がある。																																																						
				<table><tr><th>検診項目</th><th>対象者</th><th>R3受診者</th><th>R2受診者</th><th>R元受診者</th></tr><tr><td>健康診査</td><td>20～40歳未満 75歳以上 生活保護世帯 保険資格異動者</td><td>2,433人</td><td>2,334人</td><td>2,705人</td></tr><tr><td>胃がん検診</td><td>40歳以上</td><td>2,937人</td><td>2,704人</td><td>3,326人</td></tr><tr><td>大腸がん検診</td><td>40歳以上</td><td>6,989人</td><td>6,394人</td><td>7,391人</td></tr><tr><td>肺がん検診</td><td>40歳以上</td><td>6,893人</td><td>6,303人</td><td>7,380人</td></tr><tr><td>結核検診</td><td>65歳以上</td><td>4,501人</td><td>4,113人</td><td>4,749人</td></tr><tr><td>子宮頸がん検診</td><td>20歳以上2年に1回</td><td>2,584人</td><td>2,229人</td><td>2,660人</td></tr><tr><td>乳がん検診</td><td>40歳以上2年に1回</td><td>2,750人</td><td>2,406人</td><td>2,755人</td></tr><tr><td>前立腺がん検診</td><td>55歳以上2年に1回</td><td>838人</td><td>965人</td><td>996人</td></tr><tr><td>肝炎ウイルス検査</td><td>40歳以上1回のみ</td><td>472人</td><td>330人</td><td>438人</td></tr></table>							検診項目	対象者	R3受診者	R2受診者	R元受診者	健康診査	20～40歳未満 75歳以上 生活保護世帯 保険資格異動者	2,433人	2,334人	2,705人	胃がん検診	40歳以上	2,937人	2,704人	3,326人	大腸がん検診	40歳以上	6,989人	6,394人	7,391人	肺がん検診	40歳以上	6,893人	6,303人	7,380人	結核検診	65歳以上	4,501人	4,113人	4,749人	子宮頸がん検診	20歳以上2年に1回	2,584人	2,229人	2,660人	乳がん検診	40歳以上2年に1回	2,750人	2,406人	2,755人	前立腺がん検診	55歳以上2年に1回	838人	965人	996人	肝炎ウイルス検査	40歳以上1回のみ	472人	330人	438人
検診項目	対象者	R3受診者	R2受診者	R元受診者																																																								
健康診査	20～40歳未満 75歳以上 生活保護世帯 保険資格異動者	2,433人	2,334人	2,705人																																																								
胃がん検診	40歳以上	2,937人	2,704人	3,326人																																																								
大腸がん検診	40歳以上	6,989人	6,394人	7,391人																																																								
肺がん検診	40歳以上	6,893人	6,303人	7,380人																																																								
結核検診	65歳以上	4,501人	4,113人	4,749人																																																								
子宮頸がん検診	20歳以上2年に1回	2,584人	2,229人	2,660人																																																								
乳がん検診	40歳以上2年に1回	2,750人	2,406人	2,755人																																																								
前立腺がん検診	55歳以上2年に1回	838人	965人	996人																																																								
肝炎ウイルス検査	40歳以上1回のみ	472人	330人	438人																																																								
※40～74歳の国保加入者は、特定健診対象者として国保特別会計で計上																																																												
※前立腺がん検診受診者のうち国保加入者は、国保特別会計で計上																																																												

予算科目	款	04 衛生費		本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部	
	項	01 保健衛生費		131,740千円	133,316千円	1,576千円	98.8 %			
	目	05 予防費					(参考)当初予算額	健康推進課		
	事業	01 予防接種事業					141,262千円			
基本計画	08 生涯にわたる体とこころの健康づくり			主な財源	予防接種健康被害給付費負担金（10/10）				62千円	
目的	伝染のおそれがある疾病の発生及び感染予防、発病予防、症状の軽減、病気のまん延防止を図る。				感染症予防事業費等補助金（1/2）				2,769千円	
					風しん予防接種事業補助金（1/2）				55千円	
					再編交付金事業基金繰入金				3,800千円	
					京都府後期高齢者医療制度特別対策補助金				2,000千円	
主要な事務・事業の概要	○事務経費（需用費、役務費等）			1,328千円						
	○個別予防接種・検査委託料			129,468千円						
	○予防接種助成金等給付費			944千円						
	■子どもの予防接種（対象数、接種数は延べ。□タのみ実人数）（単位：人）									
		対象数	接種数	接種率		対象数	接種数	接種率		
	BCG	310	268	86.5%	DPT-IPV	1,468	1,113	75.8%		
	水痘	705	611	86.7%	小児用肺炎球菌	1,362	1,094	80.3%		
	ヒブ	1,247	1,091	87.5%	ジフテリア破傷風	815	384	47.1%		
	□タ	289	271	93.8%	子宮頸がん	3,183	306	9.6%		
	B型肝炎	1,008	838	83.1%	麻しん 第1期	371	296	79.8%		
	日本脳炎	4,539	1,175	25.9%	風しん 第2期	400	381	95.3%		
※日本脳炎は、ワクチン供給不足により、対象者への勧奨通知を一部停止										
※子宮頸がん予防接種は、法改正により令和3年11月から積極的勧奨を再開										
■風しん追加的対策（実施期間：令和元年度～令和3年度）										
		対象数	接種数	検査率	要接種率					
	風しん抗体検査	4,816人	546人	11.3%	43.2%					
	風しん第5期予防接種	236人	205人	86.9%						
■妊娠を希望する女性のための風しん予防接種助成金事業（費用の2/3を補助）										
接種数：43人										
成果・課題	■高齢者インフルエンザ予防接種事業									
	・自己負担：1,500円（生活保護世帯は自己負担なし）									
	・対象者：対象者は65歳以上、60～64歳の障害者									
		対象数	接種数	接種率						
	19,520人	11,372人	58.3%							
■高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種事業										
・自己負担：2,000円（生活保護世帯・後期高齢者被保険者は自己負担なし）										
・対象者：（定期）65歳から100歳までの5歳刻み年齢、60～64歳の障害者										
		対象数	接種数	接種率	接種率	定期	任意			
	75歳未満	4,031人	509人	12.6%				30.8%		
	75歳以上	4,517人	219人	4.8%				0.5%		
	生活保護世帯	174人	8人	4.6%						
○予防接種法に基づく予防接種であり、接種勧奨を繰り返すことで適正な時期の接種につなげることができた。										
○乳幼児期に接種する予防接種の種類の増加に伴い、接種スケジュールが複雑・煩雑になっていることから、保護者への丁寧な指導・啓発に努めるとともに、医療機関との情報提供・連携を継続的に行い、適正な接種の実施に努める必要がある。										

予算科目	款	04 衛生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部	
	項	01 保健衛生費	16,731千円		16,774千円	43千円	99.7 %			
	目	05 予防費					(参考)当初予算額	課	健康推進課	
	事業	02 感染症予防対策事業					22,420千円			
基本計画		08 生涯にわたる体とこころの健康づくり	主な財源	国補	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金			12,439千円		
				繰入金	新型コロナウイルス感染症支え合い基金繰入金			2,500千円		
				諸収入	買物代行事業商品代			21千円		
目的		新型コロナウイルス感染症対策として、各公共施設等の施設利用者及び職員の安全を確保するため、感染予防に係る環境整備を図る。								
主要な事務・事業の概要	施設の出入口や受付窓口等に手指消毒液やパーテーションを設置するなど、感染症対策を実施した。また、公共施設等の消毒用次亜塩素酸水を生成し、配送した。				【所管：新型コロナウイルス対策室】			1,337千円		
	【所管：健康推進課】		14,423千円		○広報・周知事業			1,175千円		
	○感染症対策事業		11,482千円		・印刷製本費（チラシ印刷6回×20,700部）			826千円		
	・消耗品費		11,482千円		・手数料（新聞折込み5回分）			349千円		
	（サージカルマスク、手指消毒液、ハンドソープ、ペーパータオル、パーテーション等）				○感染症対策事業			140千円		
	○次亜塩素酸水生成事業		2,941千円		・通信運搬費（市民生活相談窓口フリーダイヤル電話代）			140千円		
	・消耗品費（次亜塩素酸水生成用原液等）		298千円		○自宅療養者買物支援事業			21千円		
	・燃料費（配送用公用車ガソリン代）		216千円		・消耗品費（購入代行6件分）			21千円		
	・修繕料（配送用公用車オイル交換等）		383千円		【所管：秘書広報広聴課】			972千円		
	・手数料（タイヤ・バッテリー等処分）		1千円		○広報京丹後別冊号			972千円		
・保険料（自動車損害保険料）		13千円		・印刷製本費（20,850部）			972千円			
・委託料（生成及び配送業務）		2,030千円		（新型コロナ支援策パンフレット第15版：6月25日発行）						
				成果・課題	○公共施設等に、消毒用次亜塩素酸水を配送するとともに、感染症対策物品を購入し感染対策を実施することにより、利用者及び職員の安全・安心を確保しながら業務を継続することができた。 ○「緊急事態宣言」や「まん延防止措置」等の内容をはじめ、支援策を集約したチラシやパンフレットを配布することにより、情報を周知することができた。 ○新型コロナウイルス感染症の自宅療養者の買物支援に取り組むことにより、安心して自宅療養できる環境が整備できた。					

予算科目	款	04 衛生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部	
	項	01 保健衛生費	315,322千円		315,967千円	645千円	99.7 %			
	目	05 予防費					(参考)当初予算額	課	新型コロナウイルス対策室	
	事業	03 新型コロナウイルスワクチン接種事業					361,511千円			
基本計画		08 生涯にわたる体とこころの健康づくり	主な財源	国負	新型コロナウイルスワクチン接種対策費国庫負担金（10/10）				248,980千円	
				国補	新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業国庫補助金（10/10）				59,414千円	
				諸収入	予防接種受託料				6,585千円	
				諸収入	市外在住者新型コロナウイルスワクチン接種費用負担金				343千円	
目的	新型コロナウイルス感染症の発症を予防し、死亡者や重症者の発生をできる限り減らし、結果として新型コロナウイルス感染症のまん延の防止を図る。									
主要な事務・事業の概要	<ワクチン接種の状況> ●接種体制 高齢者施設等巡回接種 R3.4.26～ 追加接種 R4.1.8～ 集団接種（弥栄地域公民館）R3.5.16～10.31 追加接種 R4.2.5～ 個別接種（4病院 16診療所）R3.5.17～10.31 追加接種 R4.1.20～ 小児（5～11歳） R4.3.14～ ●取扱ワクチン ファイザー社製／武田・モデルナ社製 ●接種実績（R4.3月末時点） 1回目：89% 2回目：88% 3回目：60%			○需用費						
				・消耗品費（ワクチン接種用資材、事務用品）					1,727 千円	
				・印刷製本費（ワクチン接種案内チラシ）7回					1,782 千円	
				○役務費						
				・通信運搬費					15,583 千円	
	○職員時間外勤務手当 12,415 千円 ○会計年度任用職員任用経費（コールセンター）8人 11,968 千円 ○会計年度任用職員任用経費（集団接種会場）15人 5,235 千円 ○看護師（謝金、費用弁償、傷害保険料）24人 12,037 千円 ○集団接種会場運営経費 630 千円 ○シャトルバス運行関連（3庁舎・弥栄地域公民館間） 3,147 千円			・手数料（新聞折込、国保連審査、産廃処理等）					4,129 千円	
				○委託料						
				・システム改修					1,828 千円	
				・予防接種委託料					234,465 千円	
				・接種準備委託料（接種券・予診票の準備）					4,698 千円	
			○使用料及び賃借料（接種予約システム利用料）					2,788 千円		
			○備品購入費（ノートPC、蓄電池等）					2,878 千円		
			○その他（普通旅費・有料道路通行料）					12 千円		
			成果・課題	○ワクチン接種事業を市内で円滑に実施することができ、初回接種については9割、3回目接種については6割の接種を行った。 ○新型コロナウイルス感染症について、感染症法及び予防接種法における位置付けや感染症分類並びにワクチンの4回目接種後の在り方について、国の動向を注視し、迅速に対応する必要がある。						

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部
	項	01 商工費	6,065千円		6,313千円	248千円	96.0 %		
	目	01 商工総務費					(参考)当初予算額	課	生活福祉課
	事業	02 消費生活推進事業					6,313千円		
基本計画	11 防犯・交通安全対策の推進		主な財源	府補 消費者行政活性化事業費補助金（人件費定額、1/2） 3,227千円					
目的	消費生活センターで、相談対応及び情報提供等を行うとともに消費生活学習グループの活動に対する支援を行うことにより、市民の消費生活の安定、向上を図る。								
主要な事務・事業の概要	○消費生活相談事業 5,805千円		○消費生活学習グループ活動費補助金 260千円						
	消費生活専門相談員を配置し、市民からの相談に対応するとともに、消費生活に関する情報の収集・提供を行った。		【会員数（令和4年3月31日現在）】 90人 峰山17人 大宮 20人 網野 7人 丹後 17人 弥栄 14 人 久美浜 15人						
	【相談受付件数】 303件（販売購入：263件、その他：40件）		【活動内容】						
	【出前講座実績】 26回（参加497人）		・各支部啓発活動（18回）						
	うち児童への消費者教育 14回（参加350人）		・ケーブルテレビを活用した啓発活動（寸劇実施回数 1回）						
	・報償費（出演謝金：ケーブルテレビ用寸劇） 40千円		・消費生活学習会、視察研修等の実施 ※各支部ごとに実施						
	・研修旅費等 14千円								
	・啓発グッズ・チラシ作成、参考図書・事務用品等購入費 78千円								
	・電話通信料、テレビ受信料 99千円								
	・公用車維持管理費（車検経費含む） 251千円								
・会計年度任用職員任用経費（消費生活相談員 2人） 5,323千円									
報酬 3,589千円		成果・課題 ○専門相談員が、コロナ禍においてもケーブルテレビや地域コミュニティFM等を活用した情報提供の機会を多く作り、市民からの消費生活相談に迅速かつ適切に対応することにより、消費者被害の防止と早期解決に寄与できた。 ○情報提供や啓発物品の配布、消費生活学習グループの活動等を通して、消費者被害を未然に防ぐとともに、市民の消費トラブルに対する知識と意識を高めることができた。							
期末手当 760千円									
社会保険料、雇用保険料 738千円									
費用弁償（通勤費） 236千円									

予算科目	款	04 衛生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	市民環境部							
	項	01 保健衛生費	1,416千円		1,507千円	91千円	93.9 %									
	目	04 健康推進費					(参考)当初予算額	課	保険事業課							
	事業	02 高齢者フレイル予防事業【再掲】					2,102千円									
基本計画		09 地域包括医療・ケア体制の充実		主な財源	諸収入 後期高齢者医療保健事業委託金 989千円											
					諸収入 後期高齢者医療保健事業補助金 251千円											
目的		後期高齢者に対する保健事業と介護予防を一体的に実施することにより、高齢者の特性を踏まえた保健指導や支援を行い、健康の保持増進、健康寿命の延伸を図る。														
主要な事務・事業の概要	<個別支援（ハイリスクアプローチ）> 【健康推進課】				<事業費>											
	○重症化予防対策（糖尿病性腎症・高血圧症）				【健康推進課】 1,001 千円											
	<table><tr><td></td><td>対象者</td><td>支援率</td><td>延べ支援件数</td></tr><tr><td>重症化予防</td><td>151人</td><td>100%</td><td>287件</td></tr></table>					対象者	支援率	延べ支援件数	重症化予防	151人	100%	287件	・報酬（会計年度任用職員（保健師・管理栄養士）） 634 千円			
	対象者	支援率	延べ支援件数													
重症化予防	151人	100%	287件													
○栄養改善推進事業（低栄養）				・旅費（会計年度任用職員の費用弁償） 24 千円												
<table><tr><td></td><td>対象者</td><td>支援率</td><td>延べ支援件数</td></tr><tr><td>低栄養</td><td>66人</td><td>100%</td><td>117件</td></tr></table>					対象者	支援率	延べ支援件数	低栄養	66人	100%	117件	・普通旅費（職員の会議・研修会への参加旅費） 12 千円				
	対象者	支援率	延べ支援件数													
低栄養	66人	100%	117件													
○健康状態不明対策				・消耗品費（指導パンフレット、個別カルテ等） 177 千円												
健康診査未受診・医療レセプトなし・介護認定なしの人の健康状態の把握・支援を実施 対象者数：147人				・燃料費（公用車ガソリン代） 95 千円												
<集団支援（ポピュレーションアプローチ）> 【健康推進課】				・印刷製本費（封筒印刷代） 25 千円												
高齢者の集いの場で、フレイルチェックシート（市独自作成）を活用したフレイル予防の健康教育とハイリスク者の相談・支援を実施				・通信運搬費（郵送・返信代） 34 千円												
回数：10回 対象者数：144人				【保険事業課】 415 千円												
				・手数料（国保データベースデータ管理手数料） 388 千円												
				・負担金（国保データベースに係る運用サポート費用） 27 千円												
				成果・課題	○重症化予防（高血圧・高血糖）対策について、国保から後期高齢者医療制度に移行しても切れ目のない支援を行うことができた。											
					○訪問等による個別支援を行うことで対象者の7割が受診につながり、9割が生活改善に取り組めた。											
				○健康状態不明者へのアプローチに取り組み、健康状態を把握し必要な支援につなげることができた。												
				○低栄養者への個別支援や集団の場でのフレイル予防講座を実施し、フレイル予防の取組と普及啓発ができた。												

令和3年度 一般会計決算附属資料

教育委員会事務局 主要な施策の成果

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局																										
	項	02 児童福祉費	210千円		272千円	62千円	77.2 %																												
	目	01 児童福祉総務費					(参考)当初予算額																												
	事業	02 家庭こども相談室事業						272千円	課	子ども未来課																									
基本計画		25 子育て支援の総合的な推進																																	
目的	家庭児童の適正な養育及び福祉の向上を図る。		主な財源																																
主要な事務・事業の概要	要保護児童対策地域協議会構成機関等と連携の下、児童虐待の未然防止、早期発見と適切な対応を行うとともに、支援の必要な児童や家庭（育児不安・養育力危惧・不登校等）について相談援助活動・家庭訪問・同行支援等を行った。				○京丹後市児童相談等取扱件数（単位：件）																														
	○旅費 調整担当者研修会等旅費 84千円 ○使用料 有料道路通行料 4千円 ○需用費 啓発物品・事務用品等 27千円 ○役務費 職員対応用携帯電話通話料（3台） 85千円 ○負担金 京都府家庭相談員連絡協議会負担金 10千円				<table><tr><td>種別</td><td>詳細</td><td>件数</td><td>種別</td><td>詳細</td><td>件数</td></tr><tr><td rowspan="2">養護</td><td>児童虐待</td><td>334</td><td rowspan="3">育成</td><td>性格行動</td><td>0</td></tr><tr><td>その他</td><td>113</td><td>不登校</td><td>3</td></tr><tr><td>障害</td><td>発達障害</td><td>0</td><td>適性・育児等</td><td>3</td></tr><tr><td>非行</td><td>ぐ犯行為等</td><td>0</td><td colspan="2">計</td><td>453</td></tr></table> ○要保護児童対策地域協議会運営状況 ・代表者・実務者会議 2回 ・ケース進行管理会議 5回 ・ケース検討会議 136回 ・講演会 1回（令和3年11月20日開催） 参加者129人 演題「子どもの虐待を防ぐ 具体的事例と発達障害の子どもへの対応」					種別	詳細	件数	種別	詳細	件数	養護	児童虐待	334	育成	性格行動	0	その他	113	不登校	3	障害	発達障害	0	適性・育児等	3	非行	ぐ犯行為等	0	計	
種別	詳細	件数	種別	詳細	件数																														
養護	児童虐待	334	育成	性格行動	0																														
	その他	113		不登校	3																														
障害	発達障害	0		適性・育児等	3																														
非行	ぐ犯行為等	0	計		453																														
成果・課題					○調整担当者研修等を受講し、複雑・多様化する家庭児童問題に対応するための専門的知識を向上させることができた。 ○面談・家庭訪問・電話相談の実施、ケース検討会議の開催、要保護児童対策地域協議会の取組等により、さまざまな課題のある家庭への対応や支援を行うことができた。 ○相談取扱件数が増加傾向にある中、適切で迅速な支援につなげるため、担当者の研鑽を重ねるとともに、関係機関との連携をさらに深めるなど、体制の充実を図る必要がある。																														

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局										
	項	02 児童福祉費	119千円		231千円	112千円	51.5 %		課	子ども未来課									
	目	01 児童福祉総務費					(参考)当初予算額												
	事業	03 子ども未来まちづくり審議会事業					231千円												
基本計画		25 子育て支援の総合的な推進		主な財源															
目的	すべての子どもが健康で幸せに暮らせるまちづくりの推進及び子ども・子育て支援事業計画、保育所再編等推進計画、特定教育・保育施設の利用定員の設定等について審議する。																		
主要な事務・事業の概要 令和元年度に策定した「第2期子ども子育て支援事業計画」の事業進捗状況、特定教育・保育施設の利用定員の設定について情報共有及び協議するとともに、今後の子育て支援拠点等の在り方について審議するため、審議会を開催した。 ○報酬（審議会委員） 委員：10人 3回開催 104千円 ○旅費（費用弁償） 15千円 ※審議会等の開催状況 <table><tr><td></td><td>日 程</td><td>審 議 内 容</td></tr><tr><td>第1回</td><td>令和3年6月29日</td><td rowspan="3">・子育て支援拠点等について ・子ども・子育て支援事業について ・特定教育・保育施設利用定員について</td></tr><tr><td>第2回</td><td>令和3年8月24日</td></tr><tr><td>第3回</td><td>令和3年9月30日</td></tr></table> ・審議会への諮問：令和3年6月14日 「今後の子育て支援拠点等の在り方について」 ※平成30年度に実施した「子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査」及び“はは笑みプロジェクト事業 子育てWe b懇談会”で、「天候に関係なく遊ぶことのできる屋内施設がほしい」「交流の場の提供を」といった意見が多くあったため、その在り方を検討するにあたり、諮問を行った。 ・審議会からの答申：令和3年10月22日						日 程	審 議 内 容	第1回	令和3年6月29日	・子育て支援拠点等について ・子ども・子育て支援事業について ・特定教育・保育施設利用定員について	第2回	令和3年8月24日	第3回	令和3年9月30日					
						日 程	審 議 内 容												
					第1回	令和3年6月29日	・子育て支援拠点等について ・子ども・子育て支援事業について ・特定教育・保育施設利用定員について												
					第2回	令和3年8月24日													
第3回	令和3年9月30日																		
成果・課題																			
						○今後の子育て支援拠点等の在り方について、審議会に諮問し、審議・答申していただいた。 ○今後も、多様化する子育て支援ニーズへの対応、子どもや子育てに関し審議していただき、子育て世帯やすべての子どもたちが健康で幸せに暮らせるまちづくりを推進していく必要がある。													

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	02 児童福祉費	14,094千円		14,361千円	267千円	98.1 %		課
	目	01 児童福祉総務費					(参考)当初予算額		
	事業	50 児童福祉総務一般経費					951千円		
基本計画		25 子育て支援の総合的な推進		主な財源					
目的		児童福祉業務を円滑に遂行するために必要な一般経費							
主要な事務・事業の概要	○旅費 ・担当者会議等職員旅費		7千円	○償還金利子及び割引料 [過年度国庫支出金返還金] ・令和2年度子ども・子育て支援交付金国庫返還金 8,692千円 ・令和2年度子どものための教育・保育給付交付金国庫返還金 2,628千円 ・令和元年度保育対策総合支援事業費補助金国庫返還金 143千円 ・令和2年度保育対策総合支援事業費補助金国庫返還金 544千円 ・令和2年度子育てのための施設等利用給付交付金国庫返還金 153千円 ・令和2年度子ども・子育て支援体制整備総合推進事業費補助金国庫返還金 30千円					
	○需用費 ・公用車燃料代（3台）及び車検（2台）費用等		535千円	[過年度府支出金返還金] ・令和2年度子どものための教育・保育給付府費交付金返還金 1,219千円					
	○役務費 ・車検費用、自動車損害保険料等		124千円						
	○使用料及び賃借料 ・有料道路通行料		9千円						
	○ 公課費 ・公用車重量税（2台）		10千円	成果・課題	支出内容を精査しながら、児童福祉業務を適切に遂行することができた。				

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	02 児童福祉費	62千円		73千円	11千円	84.9 %		
	目	02 子育て支援費					(参考)当初予算額	課	子ども未来課
	事業	01 ファミリー・ヘルプ・センター事業					73千円		
基本計画		25 子育て支援の総合的な推進	主な財源	国補	子ども・子育て支援交付金（1/3）				20千円
				府補	子ども・子育て支援交付金（1/3）				20千円
目的	子どもの預かり等の援助を受ける方、援助を行う方からなる会員同士の援助活動を調整し、概ね生後2か月から小学校3年生までの子どもを持つ家庭の子育て支援を図る。								
主要な事務・事業の概要	新規及び登録済みのまかせて会員を対象に、援助活動に必要な専門的な知識の取得やスキルアップを目的とした講習会を実施した。								
	■実施事業内容								
	・新規登録会員及び登録更新会員講習会 参加者 6人								
■会員数（令和4年3月末）			前年度						
・依頼（おねがい）会員 42人 39人									
・援助（まかせて）会員 16人 16人									
・両方会員 1人 1人									
※活動延べ件数 61件 1件									
※利用者実人数 おねがい会員：4人 1人									

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	02 児童福祉費	219,211千円		219,794千円	583千円	99.7 %		
	目	02 子育て支援費					(参考)当初予算額	課	子ども未来課
	事業	02 放課後児童健全育成事業					223,981千円		
基本計画		25 子育て支援の総合的な推進		主な財源	使用料	放課後児童健全育成事業利用料			22,749千円
目的	保護者の就労等により放課後や長期休業期の昼間に家庭保育を受けることができない児童に対し、安全で充実した生活の場を与えることにより、その健全な育成を図る。				国補	子ども・子育て支援交付金（1/3）、保育士等処遇改善臨時特例交付金（10/10）			21,469千円
					府補	子ども・子育て支援交付金（1/3）			19,219千円
					府補	新型コロナウイルス感染症対策事業費補助金（10/10）			571千円
				繰入金	ふるさと応援基金繰入金			34,000千円	
主要な事務・事業の概要	■開設状況 年間開設日数：314日（うち日曜日・祝日開設分：27日） 開設時間：授業終了後～午後6時30分 （長期休業期及び土曜日、日曜日・祝日は午前7時30分～午後6時30分） 年間平均児童数：501人（10か所、12支援単位） 峰山54人・長岡21人・いさなご45人・大宮65人 口大野①52人・口大野②49人・網野南57人・網野北34人 丹後21人・弥栄26人・久美浜①38人・久美浜②39人 ○需用費（消耗品費、燃料費、光熱水費等）7,350千円 ○委託料（消防設備点検、浄化槽点検、児童送迎車運転等）10,329千円 ○放課後児童健全育成事業委託料（10クラブ）196,646千円				○工事請負費293千円 ・峰山トイレ改修工事				
					○備品購入費3,310千円 ・エアコン（峰山・口大野）889千円 ・サーモグラフィーカメラ（10クラブ、10台）2,310千円 ・電話機他（いさなご・網野南・久美浜）111千円				
					○送迎車両整備経費（峰山・口大野・網野南・丹後・久美浜）202千円				
					○その他の経費（火災・自動車共済等保険料・自動車重量税ほか）1,081千円				
					成果・課題	○利用者数が増加傾向にある中、待機児童ゼロを継続し児童の健全な育成を図るとともに、保護者の子育てと就労の両立を支援することができた。 ○保育士等の処遇改善に係る国からの協力要請を受け、国の交付金を活用し、委託先の放課後児童支援員の賃金改善を行った。（2、3月分） ○年々増加傾向にある利用者に対応するため、小学校の空き教室等の更なる活用など、施設拡充を検討する必要がある。			

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局																														
	項	02 児童福祉費	20,805千円		21,181千円	376千円	98.2 %		課	子ども未来課																													
	目	02 子育て支援費					(参考)当初予算額																																
	事業	03 子育て支援センター事業					23,171千円																																
基本計画		25 子育て支援の総合的な推進		主な財源	国補	子ども・子育て支援交付金（1/3）			5,930千円																														
					府補	子ども・子育て支援交付金（1/3）			5,930千円																														
目的		地域の子育て支援の拠点として市内8か所に子育て支援センターを設置し、育児相談や子育て情報の提供等、在宅で子育てをしている保護者とその子どもたちを支援する。		諸収入	網野地域子育て支援センター光熱水費等負担金			12千円																															
主要な事務・事業の概要	保育所及びこども園の入所、入園前の子どもを持つ家庭のため、保護者の育児相談・交流の場及び子ども同士のふれあいの場として、8か所の支援センターを設置し、地域に密着した子育て支援を推進した。 10月29日、11月8日に開催した子育て交流会は、保護者75人、子ども81人、計156人の参加があった。 ○支援センター利用人数（延べ人数） <table><tr><td>支援センター</td><td>児童</td><td>保護者</td></tr><tr><td>峰山</td><td>1,120人</td><td>1,296人</td></tr><tr><td>大宮北</td><td>1,245人</td><td>1,202人</td></tr><tr><td>大宮南</td><td>626人</td><td>602人</td></tr><tr><td>網野</td><td>1,454人</td><td>1,269人</td></tr><tr><td>丹後</td><td>818人</td><td>691人</td></tr><tr><td>弥栄</td><td>665人</td><td>656人</td></tr><tr><td>かぶと山</td><td>710人</td><td>627人</td></tr><tr><td>こうりゅう</td><td>548人</td><td>539人</td></tr><tr><td>合計</td><td>7,186人</td><td>6,882人</td></tr></table> ○なかよし広場 （毎月1回、峰山総合福祉センターで実施） ※新型コロナウイルス感染症対策のため令和3年度は未開催				支援センター	児童	保護者	峰山	1,120人	1,296人	大宮北	1,245人	1,202人	大宮南	626人	602人	網野	1,454人	1,269人	丹後	818人	691人	弥栄	665人	656人	かぶと山	710人	627人	こうりゅう	548人	539人	合計	7,186人	6,882人	○会計年度任用職員任用経費（18人分）				15,884千円
					支援センター	児童	保護者																																
					峰山	1,120人	1,296人																																
					大宮北	1,245人	1,202人																																
					大宮南	626人	602人																																
					網野	1,454人	1,269人																																
					丹後	818人	691人																																
					弥栄	665人	656人																																
					かぶと山	710人	627人																																
					こうりゅう	548人	539人																																
合計	7,186人	6,882人																																					
				○通信運搬費（電話代）				247千円																															
				○光熱水費				752千円																															
				○網野地域子育て支援センター浄化槽維持管理業務委託				233千円																															
				○支援センター運営委託料（こうりゅう虹保育園）				2,330千円																															
				○その他経費（消耗品費等）				1,359千円																															
				成果・課題	保育所及びこども園の入所、入園前の子育て家庭のため、子育て相談や遊びの場を提供することにより、子育てに対する不安の解消や保護者同士のコミュニケーションの促進を図ることができた。																																		

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局		
	項	02 児童福祉費	4,064千円		4,627千円	563千円	87.8 %				
	目	02 子育て支援費					(参考)当初予算額	課	子ども未来課		
	事業	04 保育支援事業				8,299千円					
基本計画	25 子育て支援の総合的な推進		主な財源	国補	子ども・子育て支援交付金（1/3）				1,049千円		
目的	保護者の疾病等の理由により家庭での養育が一時的に困難となった児童や、病気の回復期にある児童を一時的に保育し、保護者の子育てと就労を支援する。			国補	子育てのための施設等利用給付交付金（1/2）				444千円		
				府補	子ども・子育て支援交付金（1/3）				1,049千円		
				府補	子育てのための施設等利用給付交付金（1/4）				222千円		
主要な事務・事業の概要	家庭での養育が一時的に困難となった児童（小学4年生まで）や、病気やけがの回復期にあり、集団保育や登校が困難な児童（小学6年生まで）を一時的に保育・看護し、保護者の子育てと就労を支援する事業を、社会福祉法人みねやま福祉会に委託した。			○認可外保育施設等給付費						888千円	
	○委託料			3,170千円	〔認可外保育施設（こどもの森保育園 与謝野町）〕						
	・子育て短期支援事業委託料			206千円	・支給児童数 2人（2世帯） ※5歳児（2号認定児）、4歳児（2号認定児）						
	（延べ利用児童数等）				・支給期間 令和3年4月～令和4年3月（12か月）						
	・0、1歳児 生活保護・ひとり親非課税世帯			11人	・支給額 一人当たり444千円（37千円／月×12か月）						
	非課税・ひとり親課税世帯			4人	○日用品費等援助費						6千円
	その他の世帯			0人	・支給児童数 2人（2世帯） ※5歳児（1号認定児）、4歳児（2号認定児）						
	・2歳児以上 生活保護・ひとり親非課税世帯			10人	・対象費用 教材費・行事費等						
	非課税・ひとり親課税世帯			0人							
	その他の世帯			1人							
	・病後児保育事業委託料			2,964千円	成果・課題	○保護者の育児負担の軽減など一時的な利用があり、養育を必要とする児童及びその家庭の福祉向上につなげることができた。					
	（延べ利用児童数） 5人（1歳：2人、2歳：1人、5歳：2人）			○病気の回復期にある児童の子育てと保護者の就労の両立を支援することができた。							
				○認可外保育施設等の利用費を対象者に給付し、幼児教育・保育無償化に対応した。							

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	02 児童福祉費	1,181千円		1,195千円	14千円	98.8 %		課
	目	02 子育て支援費					(参考)当初予算額		
	事業	05 子育て環境整備事業					2,200千円		
基本計画		25 子育て支援の総合的な推進		主な財源					
目的	市内の事業所等に対して授乳やおむつ替え等設備の整備に要する経費を助成するほか、市有施設の多目的トイレを改修（おむつ交換台設置）し、市内の子育て支援環境の充実を図る。								
主要な事務・事業の概要	○子育て環境支援設備整備事業補助金（5事業所） 994千円 ・補助対象者 市内に子育て世帯が利用することが想定される事業所又は店舗を有する者 ・補助対象経費 ①授乳用設備（授乳用机・椅子等）の整備経費 ②おむつ替え設備（おむつ交換台等）の整備経費 ③トイレ内ベビーキーパー設備の整備経費 ④ベビースペース用設備（キッズブロック等）の整備経費 ・補助金額 補助対象経費の10/10以内の額（上限1施設200千円）								
	○久美浜庁舎多目的トイレおむつ交換台設置（1台） 187千円				成果・課題	○市内5事業所のおむつ替え設備等の整備を支援したほか、久美浜庁舎の多目的トイレにおむつ交換台を設置し、市内の子育て支援環境の充実を図った。 ○子育て世帯が安心して外出できる環境整備を進めるため、事業所等が行う子育て支援環境の充実に向けた施設整備等に対する支援が引き続き必要である。			

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局	
	項	02 児童福祉費	165,631千円		167,834千円	2,203千円	98.6 %		課	子ども未来課
	目	04 保育事業費					(参考)当初予算額			
	事業	02 保育所管理運営事業					191,486千円			
基本計画		25 子育て支援の総合的な推進		主な財源	負担金	保育認定児保育料、日本赤十字振興センター保護者負担金				15,170千円
目的	児童の健康管理や会計年度任用職員の雇用を行うほか、給食調理業務、幼児送迎業務等を実施し、円滑な保育所運営を行う。				国補	子ども・子育て支援体制整備総合推進事業費補助金（1/2）、保育対策総合支援事業費補助金（1/2）				1,075千円
					国補	保育士等処遇改善臨時特例交付金（10/10）				365千円
					府補	第3子以降保育料無償化事業費補助金				2,172千円
					府補	新型コロナウイルス感染症対策事業費補助金（10/10）				800千円
					諸収入	延長保育料、延長保育間食負担金、職員給食費ほか				4,108千円
主要な事務・事業の概要	○健康管理実施経費				2,544千円	（参考）京丹後市内の保育所（R4.3.31現在） ・公立（公設公営）：島津、たちばな、宇川、久美浜 ・公立（公設民営）：大宮北 ・私立：あみの夢保育園、こうりゅう虹保育園、ゆうかり乳児保育所 計8施設				
	・医師報酬・費用弁償、児童検診委託料、大腸菌等検査手数料等									
	○会計年度任用職員任用経費（50人）				103,487千円					
	・共済費（社会保険料等）、報酬等、手当、傷害保険料									
	○職員研修実施経費				155千円					
	・報償費（研修講師謝金）、職員旅費、研修参加負担金									
	○給食調理業務経費				18,279千円	成果・課題	○職員確保、児童・職員の健康管理、給食提供、送迎バスの運行管理などの業務を適切に行うことにより、円滑な保育所運営を行うことができた。 ○衛生物品の購入、空気清浄機、エアコンの設置等により、新型コロナウイルス感染症対策の徹底を図った。 ○保育士等の処遇改善に係る国からの協力要請を受け、国の交付金を活用し、会計年度任用職員の保育士等の処遇改善を行った。（2、3月分） ○乳児利用の増加に対応するため、職員の確保が必要である。			
	・調理業務委託料（島津、たちばな、宇川）									
	○保育所送迎車両関連経費（4台）				8,020千円					
	・業務委託経費、修理費、重量税等									
	○入所児童の保育に要する経費				18,140千円					
	・保育材料費、賄材料費、医薬材料費									
○保育所運営に要する経費				11,612千円						
・光熱水費、通信運搬費、備品購入費、ピアノ調律等										
○新型コロナウイルス感染症対策関連経費				2,250千円						
・備品購入費（空気清浄機1台、エアコン2台、おもちゃ殺菌保管庫2台等）										
・消耗品費（手指消毒液等）										
○その他必要経費（共通物品、保育協会負担金等）				1,144千円						

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	02 児童福祉費	511,434千円		512,773千円	1,339千円	99.7 %		課
	目	04 保育事業費					(参考)当初予算額		
	事業	03 保育業務委託事業					559,056千円		
基本計画		25 子育て支援の総合的な推進		主な財源	負担金	保育認定児保育料 33,565千円			
目的 保育ニーズに対応するため、民間保育所等に保育業務を委託することで、効率的に子育て支援を推進する。		国負	子どものための教育・保育給付交付金（1/2） 143,477千円						
		国補	子ども・子育て支援交付金（1/3） 214千円						
		府負	子どものための教育・保育給付交付金（1/4） 58,910千円						
		府補	子ども・子育て支援交付金（1/3） 214千円						
		繰入金	ふるさと応援基金繰入金 70,000千円						
主要な事務・事業の概要	民間認可保育所の「ゆうかり乳児保育所」に2か月児から2歳児まで、「あみの夢保育園」、「こうりゅう虹保育園」に6か月児から5歳児までの保育を委託し、また、市立保育所のうち「大宮北保育所」の運営を社会福祉法人に委託することにより、産休明け・育休明けの保育所利用、保育時間の延長や休日保育等、保護者の保育ニーズに対応した。 ○乳児保育委託料 67,780千円 ・ゆうかり乳児保育所 定員30人 令和4年3月末入所児童数：36人 ○公立保育所運営委託料 208,403千円 ・大宮北保育所 定員230人 令和4年3月末入所児童数：226人 ○保育所運営委託料 233,824千円 ・あみの夢保育園 定員90人 令和4年3月末入園児童数：94人 106,163千円 ・こうりゅう虹保育園 定員120人 令和4年3月末入園児童数：139人 127,661千円				○広域入所委託料 1,427千円 里帰り出産等で京丹後市以外の施設を利用した児童数：6人 [委託先] ・のだがわこども園（公立・与謝野町 1人） 59千円 ・港島幼稚園（公立・神戸市 2人） 65千円 ・花園保育園（私立・福知山市 2人） 892千円 ・松ヶ崎保育ルーム（私立・京都市 1人） 411千円				
					成果・課題	○保育業務を市内民間事業者に委託することで、保育時間の延長や休日保育など保護者のニーズに対応した保育を実施し、保護者の子育てと仕事の両立支援につなげることができた。 ○保育業務を他の自治体や市外民営事業者に委託することで、保護者の里帰り出産等のニーズに対応した。			

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	02 児童福祉費	32,144千円		32,145千円	1千円	99.9 %		
	目	04 保育事業費					(参考)当初予算額	課	子ども未来課
	事業	04 保育所保育事業等補助金				32,217千円			
基本計画	25 子育て支援の総合的な推進		主な財源	国補	子ども・子育て支援交付金（1/3）				3,546千円
目的	民間保育所等が行う事業に対して補助金を交付し、円滑な運営実施のための体制づくり等を推進するとともに、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止及び保育士等の処遇改善を図る。			国補	保育対策総合支援事業費補助金（1/2）				1,200千円
				国補	保育士等処遇改善臨時特例交付金（10/10）				2,675千円
				府補	子ども・子育て支援交付金（1/3）				3,546千円
				府補	保育対策総合支援事業費補助金（10/10）				800千円
				府補	新型コロナウイルス感染症対策事業費補助金（10/10）				1,100千円
主要な事務・事業の概要	○私立保育所保育事業補助金		25,169千円		○保育所等新型コロナ感染症感染拡大防止対策事業補助金				4,300千円
	・ ゆうかり乳児保育所		2,640千円		・ ゆうかり子ども園（AI顔認証タブレット型非接触温度測定装置等）				700千円
	延長保育事業（人件費、光熱水費、おやつ代等）		240千円		・ ゆうかり乳児保育所（低濃度オゾン発生装置等）				550千円
	障害児保育事業（加配職員の人件費）		2,400千円		・ 大宮北保育所（AI顔認証タブレット型非接触温度測定装置等）				700千円
	・ あみの夢保育園		2,204千円		・ あみの夢、こうりゅう虹保育園（IAJ・自動水栓付手洗器等）				1,400千円
	延長保育事業（人件費、光熱水費、おやつ代等）		300千円		・ 丹後中央病院たぶの木保育所（除菌脱臭機等）				400千円
	一時預かり事業（配置保育士の人件費）		122千円		・ ばんび～の ばんび～な保育園（除菌脱臭機等）				550千円
	障害児保育事業（加配職員の人件費）		1,782千円		○保育士等処遇改善臨時特例補助金				2,675千円
	・ こうりゅう虹保育園		10,069千円		・ ゆうかり子ども園（対象保育士等 55人）				668千円
	延長保育事業（人件費、光熱水費、おやつ代等）		300千円		・ ゆうかり乳児保育所（対象保育士等 20人）				290千円
	一時預かり事業（配置保育士の人件費）		337千円		・ 大宮北保育所（対象保育士等 55人）				768千円
	障害児保育事業（加配職員の人件費）		7,164千円		・ あみの夢保育園（対象保育士等 26人）				427千円
	通所バス運行費補助金（189千円×12月）		2,268千円		・ こうりゅう虹保育園（対象保育士等 35人）				522千円
	・ ゆうかり子ども園		10,256千円		成果・課題	○延長保育、一時預かり及び障害児保育等を推進し、子育て支援と仕事の両立支援を図った。 ○新型コロナウイルス感染症拡大防止のための支援を行った。 ○保育士等の処遇改善に係る国からの協力要請を受け、保育士等の処遇改善を支援した。（2、3月分）			
	延長保育事業（人件費、光熱水費、おやつ代等）		3,328千円						
	一時預かり事業（配置保育士の人件費）		792千円						
	障害児保育事業（加配職員の人件費）		6,136千円						

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局	
	項	02 児童福祉費	10,857千円		11,051千円	194千円	98.2 %		課	子ども未来課
	目	04 保育事業費					(参考)当初予算額			
	事業	05 保育所施設管理事業					11,807千円			
基本計画		25 子育て支援の総合的な推進		主な財源	負担金	保育認定児保育料				623千円
目的		適切な維持管理のもと、施設を利用する児童、職員が安全かつ快適に過ごすことができるよう必要な点検・整備を実施する。			府補	第3子以降保育料無償化事業費補助金				52千円
					市債	児童福祉施設整備事業債（過疎対策債）				4,300千円
主要な事務・事業の概要	○報償費				3千円	○使用料及び賃借料				106千円
	土地使用謝金（たちばな保育所園庭入口）					土地借上料（たちばな保育所駐車場等用地）				10千円
						清掃用具借上料				96千円
	○需用費				1,947千円	○工事請負費				5,763千円
	消耗品費				107千円	宇川保育所遊戯室空調機更新工事				1,188千円
	施設修繕費				1,840千円	島津保育所調理室・0歳児保育室空調機更新工事				505千円
	○役務費				559千円	島津保育所下水道接続及び浄化槽解体撤去工事				4,070千円
	貯水槽法定検査、浄化槽法定検査等手数料				32千円	成果・課題				○老朽化等に伴う施設の修繕及び工事を実施し、施設の安全管理を適切に行うことができた。 ○施設や設備が老朽化していることから、大規模な改修等が必要となるものがあり、計画的に行っていく必要がある。
	火災保険料（12施設分）※旧施設含む				527千円					
	○委託料				2,479千円					
	施設警備、グリストラップ収集・処理、浄化槽維持管理等				2,219千円					
	島津保育所下水道接続及び浄化槽撤去工事監理委託料				260千円					

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	02 児童福祉費	54,728千円		54,822千円	94千円	99.8 %		課
	目	04 保育事業費					(参考)当初予算額		
	事業	06 認定こども園教育利用管理運営事業					48,026千円		
基本計画		25 子育て支援の総合的な推進	主な財源	負担金	教育認定児保育料				1,920千円
目的		児童の健康管理や会計年度任用職員の雇用により、円滑な認定こども園（1号認定児）運営を行う。また、私立認定こども園に対し施設給付を行う。		国負	子どものための教育・保育給付交付金（1/2）				6,716千円
				国補	保育対策総合支援事業費補助金（1/2）、保育士等処遇改善臨時特例交付金（10/10）				106千円
				府負	子どものための教育・保育給付交付金（1/4）				5,742千円
				諸収入	教育認定児預かり保育料				1,405千円
主要な事務・事業の概要	○健康管理実施経費 医師・薬剤師報酬、児童検診委託料、幼児健康診断票印刷代等			924千円	（参考）京丹後市内の幼保連携型認定こども園（R4.3.31現在） ・公立：峰山、大宮、網野、丹後、弥栄、かぶと山 ・私立：ゆうかり子ども園				
	○会計年度任用職員任用経費（12人分） 共済費（社会保険料等）、報酬等、手当			34,897千円					
	○こども園運営に要する経費 備品購入費（絵本）			120千円					
	○日本スポーツ振興センター負担金			26千円					
	○認定こども園施設給付費 ゆうかり子ども園：3歳以上児の幼児教育業務（1号認定児） 定員12人 令和4年3月末入園児童数：10人			18,723千円					
	○新型コロナウイルス感染症対策関連経費 消耗品費（手指消毒液等）			38千円	成果・課題	○職員確保、児童・職員の健康管理などの業務を適切に行うことにより、円滑なこども園運営を行うことができた。 ○保育士等の処遇改善に係る国からの協力要請を受け、国の交付金を活用し、会計年度任用職員の保育士等の処遇改善を行った。（2，3月分）			

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局	
	項	02 児童福祉費	706,983千円		710,518千円	3,535千円	99.5 %		課	子ども未来課
	目	04 保育事業費					(参考)当初予算額			
	事業	07 認定こども園保育利用管理運営事業					772,982千円			
基本計画		25 子育て支援の総合的な推進		主な財源	負担金	保育認定児保育料				65,292千円
目的		児童の健康管理や会計年度任用職員の雇用により、円滑な認定こども園（2号・3号認定児）運営を行う。また、私立認定こども園に対し施設給付を行う。			国負	子どものための教育・保育給付交付金（1/2）				63,857千円
					国補	子ども・子育て支援交付金（1/3）、保育対策総合支援事業費補助金（1/2）ほか				8,354千円
					府負	子どものための教育・保育給付交付金（1/4）				27,350千円
					府補	子ども・子育て支援交付金（1/3）第3子以降保育料無償化事業費補助金ほか				14,575千円
					諸収入	広域入所児童受託保育料、一時預かり事業利用料、職員給食費ほか				16,212千円
主要な事務・事業の概要	○健康管理実施経費				4,618千円	○認定こども園施設給付費				130,239千円
	医師報酬・費用弁償、児童検診委託料、大腸菌等検査手数料等					ゆうかり子ども園：6か月児～5歳児の保育業務（2号及び3号認定児）				
	○会計年度任用職員任用経費（186人）				391,488千円	定員138人 令和4年3月末入園児童数：166人				
	共済費（社会保険料等）、報酬等、手当					○その他必要経費				1,577千円
	○職員研修実施経費				41千円	共通物品（コピー用紙等の事務消耗品）、日本スポーツ振興センター負担金、				
	職員旅費等					全国公立幼稚園・こども園長会負担金				
	○給食調理業務経費				28,423千円					
	調理業務委託料（大宮、かぶと山）									
	○こども園送迎車両関連経費（17台）				27,689千円					
	業務委託経費、修理費、重量税等									
○入園児童の保育に要する経費				76,343千円						
保育材料費、賄材料費、医薬材料費										
○こども園運営に要する経費				42,773千円	成果・課題	○職員確保、児童・職員の健康管理、給食提供、送迎バスの運行管理などの業務を適切に行い、円滑なこども園運営を行うことができた。 ○衛生物品の購入、検温サーモグラフィカメラの設置等により、新型コロナウイルス感染症対策を図った。 ○保育士等の処遇改善に係る国からの協力要請を受け、国の交付金を活用し、会計年度任用職員の保育士等の処遇改善を行った。（2、3月分） ○乳児利用の増加に対応するため、職員体制の確保や、より適切な保育環境の整備が必要である。				
光熱水費、通信運搬費、備品購入費（おもちゃ殺菌保管庫等）、廃家電処理等										
○新型コロナウイルス感染症対策関連経費				3,792千円						
備品購入費（検温サーモグラフィカメラ 6台、おもちゃ殺菌保管庫3台等）										
消耗品費（手指消毒液等）										

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局	
	項	02 児童福祉費	15,876千円		16,104千円	228千円	98.5 %		課	子ども未来課
	目	04 保育事業費					(参考)当初予算額			
	事業	08 認定こども園施設管理事業					16,832千円			
基本計画		25 子育て支援の総合的な推進		主な財源	負担金	保育認定児保育料				860千円
					負担金	教育認定児保育料				353千円
					府補	第3子以降保育料無償化事業費補助金				84千円
					市債	児童福祉施設整備事業（過疎対策債）				8,300千円
目的	適切な維持管理のもと、必要な点検・整備を実施し、施設を利用する児童、職員が安全かつ快適に過ごすことができる環境を整える。									
主要な事務・事業の概要	○需用費		2,940千円		○工事請負費		8,006千円			
	消耗品費		164千円		丹後こども園屋外プール設置工事		8,006千円			
	修繕費		2,776千円							
	○役務費		887千円							
	貯水槽法定検査、浄化槽法定検査等手数料等		38千円							
	火災保険料（6施設分）		849千円							
	○委託料		3,832千円							
	施設警備、グリストラップ収集・処理、自動ドア保守点検		3,502千円							
	消防設備点検、自家用電気工作物保安管理、害虫駆除等									
	丹後こども園屋外プール設置工事監理委託		330千円							
○使用料及び賃借料		211千円		成果・課題	○突発的な事案に伴う施設の修繕等を実施し、施設の安全管理を適切に行うことができた。 ○老朽化した施設もある中、大規模な改修等が必要となるものがあり、計画的に行っていく必要がある。					
清掃用具借上料		211千円								

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	02 児童福祉費	34,191千円		34,192千円	1千円	99.9 %		課
	目	04 保育事業費							
	事業	09 保育所等環境整備事業							
基本計画	25 子育て支援の総合的な推進		主な財源	国補	保育対策総合支援事業費補助金（1/2）				5,000千円
目的	公設公営保育施設における保育業務の負担軽減及び保護者の利便性の向上を図るため、保育業務支援システムを導入する。			国補	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金				13,000千円
				市債	児童福祉施設整備事業債（過疎対策債）				14,500千円
主要な事務・事業の概要	○無線LAN構築経費（保育所・こども園10施設）		14,876千円						
	・基本設計委託料		291千円						
	・工事委託料		14,289千円						
	・工事監理委託料		296千円						
	○備品購入費		14,915千円						
	・正職員用タブレット端末 103台、バーコードリーダー15台、管理用PC端末 1台								
	○保育業務支援システム導入経費		4,400千円						
	・情報通信機器等設置委託料								
	導入システム名：コドモン								
	運用期間：令和4年4月1日～令和9年3月31日（5か年）								
成果・課題	○保育所等施設に無線LAN環境を整備するとともに、正職員にタブレット端末を整備した。また、保育業務支援システムを導入し、保育業務のICT化を図った。 ○保育業務の負担軽減及び保育の質の向上が図られるよう、保育業務支援システムの十分な活用を進める必要がある。								

予算科目	款	06 農林水産業費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	01 農業費	6,631千円		7,027千円	396千円	94.3 %		
	目	02 農業総務費					(参考)当初予算額	課	生涯学習課
	事業	03 アグリセンター管理運営事業					7,027千円		
基本計画		02 6次産業化・ブランド化で農林業を振興	主な財源	使用料	アグリセンター使用料				431千円
				諸収入	アグリセンター使用料光熱水費等負担金				75千円
目的		施設の維持管理及び運営を行い、農業・農村の活性化及び地域住民の福祉・健康増進に寄与する。							
主要な事務・事業の概要	地域農林業の振興、生涯学習活動の推進及び地域福祉の増進が図れるよう、施設の維持管理を行った。			〈利用状況〉					
	○施設管理委託 2,818千円			農業技術研修室 151 回 1,244 人					
	施設清掃、休日・夜間管理、舞台吊物機構保守点検、移動観覧席保守点検			視聴覚教育室 215 回 2,514 人					
	空調設備保守点検、自動ドア保守点検、防虫管理、消防設備点検、特殊建築物点検、グリストラップ汚泥処理			地域活性化教育室 86 回 4,958 人					
	○施設修繕料 1,910千円			多目的ホール（エントランス含む） 149 回 7,156 人					
	移動観覧席脱着式手すり軽量化、非常灯			調理加工実習室 17 回 138 人					
	○光熱水費 1,670千円			合 計 618 回 16,010 人					
	電気、水道、下水道、ガス、灯油								
	○備品購入費 50千円								
	消火器（7本）								
○事務費 183千円			成果・課題	○新型コロナウイルス感染予防のため、一部施設の使用制限を行ったが、農林業の振興にかかる研修会・講演会をはじめ、生涯学習や福祉など幅広い分野で施設活用ができた。 ○築後20年以上が経過する中で、設備や機材の老朽化が目立つため、計画的な修繕を実施するなど、適切な施設管理を行う必要がある。					
消耗品、申請書印刷、テレビ受信料、火災保険料									

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	01 教育総務費	3,884千円		4,000千円	116千円	97.1 %		
	目	01 教育委員会費					(参考)当初予算額	課	教育総務課
	事業	50 教育委員会一般経費					4,000千円		
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源					
目的		地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、教育委員会を運営する。							
主要な事務・事業の概要	教育委員の報酬、会議参集や管内研修に係る費用弁償及び丹後地方教育委員会連合会負担金を支出した。教育委員会会議は、定例会12回、臨時会6回及び委員協議会3回を開催した。 また、市内学校をはじめ社会教育施設等の管内視察や、各種研修及び先進地視察の活動を行った。								
	○報酬		3,456千円						
	・教育委員の報酬（4人）								
主要な事務・事業の概要	○旅費等		136千円						
	・近畿市町村教育委員会研修大会に要する経費								
	・先進地視察研修に要する経費								
主要な事務・事業の概要	あかし市民図書館（兵庫県明石市）、養父市文化会館（兵庫県養父市）								
	※研修テーマ：複合施設への移転効果と課題など								
	・各種研修、会議出席等に要する経費								
主要な事務・事業の概要	○負担金		292千円						
	・丹後地方教育委員会連合会負担金								
				成果・課題	○管内視察をはじめ先進地視察を実施し実情の把握に努め、積極的な活動を行うことにより幅広い識見を得ることができた。 ○社会の変化や新たな行政需要に対応するため、委員協議会を活用し、調査・研修及び意見交換を行うことができた。 ○課題解決に向け、地域の意向や教育現場等の状況を把握し、教育施策や教育委員会の意思決定に反映させるため、今後も研修機会及び管内視察等の充実を図る必要がある。				

予算科目目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	01 教育総務費	12,626千円		12,909千円	283千円	97.8 %		
	目	02 事務局費					(参考)当初予算額	課	学校教育課
	事業	03 指導主事設置事業					12,909千円		
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源					
目的	学校教育及び就学前教育の充実を図るため、指導主事（会計年度任用職員）4人を配置し、専門的事項に関する指示・指導を行う。								
主要な事務・事業の概要	4人の地域担当の指導主事を各地域公民館に配置し、学校経営や教育内容について、その専門性で見識や経験を活かした指導、助言を行い、学校現場における課題解消に向けて対応した。 【指導主事 4人】 ○会計年度任用職員任用経費 12,400千円 ・報酬 8,658千円 ・期末手当 1,636千円 ・共済費（社会保険料、雇用保険料） 1,709千円 ・費用弁償 397千円 ○市内業務移動に係る費用弁償 226千円			【指導主事配置状況】					
				配置先			配置人数	所管町域	
				峰山地域公民館			1人	峰山町	
				大宮地域公民館・久美浜地域公民館			1人	大宮町、久美浜町	
				網野地域公民館			1人	網野町	
				丹後地域公民館・弥栄地域公民館			1人	丹後町、弥栄町	
	成果・課題	学校経営、教育内容に対する専門知識や豊かな経験を基にした指導や助言を行うことにより、不登校を含めた生徒指導上の諸問題への対応など、複雑多様化する教育現場の諸課題の克服に資することができた。							

予算科目	款	10 教育費		本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	教育委員会事務局
	項	01 教育総務費		19,758千円		19,825千円		67千円		99.6 %			
	目	02 事務局費								(参考)当初予算額			
	事業	04 学校医委嘱事業								19,825千円		課	学校教育課
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源									
目的	学校保健安全法に基づき、各学校に学校医、学校歯科医、学校薬剤師を置き、児童生徒の健康の保持増進及び教育現場の環境衛生の維持向上を図る。												
主要な事務・事業の概要	○報酬			19,737千円									
	・医師報酬												
	小学校	17人		5,972千円									
	中学校	6人		2,587千円									
	・歯科医報酬												
	小学校	17人		5,972千円									
	中学校	6人		2,587千円									
	・薬剤師報酬												
	小学校	17人		2,064千円									
	中学校	6人		555千円									
	○旅費					成果・課題	学校医、学校歯科医、学校薬剤師の配置により、健康診断（内科・歯科等）、学校環境衛生検査はもとより、保健管理等に関する専門的指導を必要に応じて受けることができ、児童生徒の健康の保持増進及び教育現場の環境衛生の維持向上を図ることができた。						
	・費用弁償			21千円									

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	01 教育総務費	5,429千円		5,645千円	216千円	96.1 %		
	目	02 事務局費					(参考)当初予算額		
	事業	05 学務経費					5,348千円	課	学校教育課
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源					
目的	学校保健安全法に基づく就学時健康診断を行うとともに、学齢簿の管理、学校管理下での安全衛生や事故災害に対応する。 また、小中学校の枠を超えた取組として、特別支援学級ふれあい交流会を実施する。								
主要な事務・事業の概要	○学齢簿の管理（委託料） 学齢簿関連システム保守料及びシステム改修業務		726千円		○負担金 3,775千円				
	○特別支援学級ふれあい交流会（消耗品費） ・各学園ふれあい交流会 小学校及び中学校の特別支援学級の児童・生徒が集まって交流 実施中学校区：全中学校区 ・中学校ふれあい交流会 ※新型コロナウイルス感染症の影響のため中止		40千円		・日本スポーツ振興センター負担金 3,417千円 ・京都府学校保健会負担金 44千円 ・京都府学校保健主事会負担金 18千円 ・京都府特別支援教育研究協議会負担金 10千円 ・教育研究事業負担金 86千円 ・京都府学校保健研究大会負担金 200千円				
	○人権教育研究会（消耗品費）		23千円		○児童生徒・教職員健康診断（消耗品費、印刷製本費、施設使用料） 13千円				
	○就学時健康診断（医師謝金、消耗品費、費用弁償） ※受診人数：396人		812千円		○各種通知封筒印刷 40千円				
成果・課題	○各学校の保健衛生環境の維持向上、健康の保持増進を図り、健全で安全な教育環境の推進につながった。 ○特別支援学級の交流活動の実施など、教育活動の充実のための環境づくりができた。 ○京都府学校保健研究大会を主管地として開催するにあたり、コロナ禍での開催が困難な中、オンラインで開催し、スムーズな大会運営を行うことができた。								

予算科目	款	10 教育費				本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	教育委員会事務局														
	項	01 教育総務費				5,039千円		5,387千円		348千円		93.5 %																	
	目	02 事務局費										(参考)当初予算額		課	学校教育課														
	事業	06 学校安全対策事業										5,587千円																	
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実				主な財源	府補		地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業補助金（2/3）				808千円																
							繰入金		ふるさと応援基金繰入金				2,000千円																
目的		保護者や地域の協力を得ながら安全で安心できる学校づくりを推進し、児童生徒を事件や事故から守る。																											
主要な事務・事業の概要	○子ども安心パトロール車（にこにこカー）の運行・管理 3,041千円														○スクールガード・リーダー巡回・指導 1,759千円														
	各学校に20台、教育委員会事務局に1台を配置し、児童生徒の登下校時に教職員やPTA、地域の見守り隊が巡回し安全確保や犯罪被害防止に努めた。														警察官OBの5人をスクールガード・リーダーに委嘱し、小学校を中心に登下校時の巡回活動及び学校の安全指導を行った。														
	・維持管理費及び運行経費														・年間巡回活動等の実績：5人で330回														
	燃料費（ガソリン代） 945千円														・報償金（活動謝金）														
	消耗品費・修繕料（車検、車両消耗品ほか） 1,105千円														・保険料（総合補償保険料）														
	手数料・保険料・公課費 991千円														○学校の除雪活動 239千円														
	積雪時の通学の安全性を高めるため、ボランティアによる除雪活動体制づくりを支援した。																												
	配車一覧														・保険料（ボランティア活動保険）														
															・修繕料（除雪機）														
														成果・課題		○各小中学校で、教職員やPTA、地域の見守り隊（ボランティア）等による地域ぐるみの見守り活動が展開されるなど、学校を支える地域の安全体制づくりを推進することで、児童、生徒の安全につながっている。 ○関係機関と協力し、クマやサルなどの野生動物の出没情報をいち早く学校と共有することで児童・生徒への被害を未然に防ぐ必要がある。 ○通学路の安全性をより高めるため、関係機関と連携し除雪体制を推進する必要がある。													

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	01 教育総務費	309千円		321千円	12千円	96.2 %		
	目	02 事務局費					(参考)当初予算額	課	学校教育課
	事業	08 就学支援・教育相談事業					321千円		
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実	主な財源						
目的	児童生徒の不登校など学校不適應の状況を、発達検査などにより把握・分析し、相談・支援体制を整え、児童生徒が安定した学校生活を送ることができるように支援する。								
主要な事務・事業の概要	○教育相談事業及び研修の実施 各小中学校において臨床心理士による児童生徒や保護者との教育相談を実施し、当該児童生徒の通う学校の教職員へのアドバイスを行った。また、児童生徒の不登校などの学校不適應の未然防止や解消に向けての対応の在り方について、各小中学校の教育相談担当者や心の教室相談員などを対象に研修を実施した。 ・相談会場 大宮庁舎及び各小中学校 ・実施回数 毎月2回（大宮庁舎）及び適宜（各小中学校） 合計183回実施 ・相談件数 延べ252件 ・教育相談担当者研修 年3回 ・事例研修 教育支援部会などにて適宜実施（各小中学校）				○教育支援に係る発達検査備品購入費 92千円 ・新版K式発達検査2020補充追加セット ○会議出張旅費 5千円 ・有料道路通行料				
	○教育支援に係る発達検査記録用紙購入費 212千円 ・WISC-IV知能検査記録用紙、日本版KABC-II記録用紙ほか				成果・課題	○臨床心理士による発達検査の実施、教育相談、教職員研修を実施することにより、適切な就学や支援へとつながり、児童生徒の学校適応が推進された。 ○中学校の不登校出現率の減少が見られる一方、小学校の不登校出現率が増加しているため、その要因分析を進めるとともに、不適應の未然防止、問題解消に向けて相談支援を行う必要がある。 ○コロナ禍で学校の活動に制限がある中、児童生徒の些細な変化やサインを見逃さないように、見守りと信頼関係の構築を行う必要がある。			

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	01 教育総務費	10,209千円		11,420千円	1,211千円	89.3 %		
	目	02 事務局費					(参考)当初予算額	課	学校教育課
	事業	09 教育支援センター管理運営事業					11,420千円		
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源	府補 不登校児童生徒に対する支援推進事業費補助金（1/3） 530千円				
目的		不登校、又はその傾向にある児童生徒の学校生活への復帰等の社会的自立を支援する。			府補 不登校児童生徒支援拠点整備事業費補助金（1/2） 17千円				
					繰入金 ふるさと応援基金繰入金 5,000千円				
主要な事務・事業の概要	不登校等にある児童生徒及び当該児童生徒の保護者に対し、教育相談及び適応指導を通じ、学校生活への復帰等の社会的自立を支援するため、京丹後市教育支援センター「麦わら」の指導員が各小中学校や関係機関と連携しながら支援を行った。 ＜教育支援センター運営経費＞ ・配置人数 5人 教育支援センター指導員（会計年度任用職員） ・配置体制 3人（各指導員 週3日 1日7時間） ・通所児童生徒数 17人（小学生4人、中学生13人） ・相談延べ件数 828件 ・来所延べ人数 1,239人 ・延べ訪問回数 77回 ○会計年度任用職員任用経費（5人） 9,823千円 ・報酬 6,846千円 ・会計年度任用職員期末手当 1,260千円 ・共済費（社会保険料、労災保険料、雇用保険料） 1,353千円 ・費用弁償 364千円				○需用費（消耗品費 ほか） 148千円				
					○役務費（通信運搬費 ほか） 102千円				
					○使用料及び賃借料（コピー機借り上げ料） 136千円				
					成果・課題	○教員経験の豊富な指導員による児童生徒等への学習及び生活の支援や、スクールカウンセラー、まなび・生活アドバイザーのカウンセリングなどにより、個々のケースに応じた支援を行い、学校復帰や進路実現等の社会的自立を図ることができた。 ○市内の小学校の不登校児童が増加していることから、府配置のスクールカウンセラー、まなび・生活アドバイザー等とも連携し、支援センターの中核機能を果たす上で個々の状況をアセスメントするとともにアウトリーチ型の訪問等を各校へ行うなど、支援を確実かつ的確に行う必要がある。			

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局																								
	項	01 教育総務費	3,403千円		3,537千円	134千円	96.2 %																										
	目	02 事務局費					(参考)当初予算額	課	生涯学習課																								
	事業	10 地域学校協働本部事業					3,537千円																										
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源	府補 地域で支える学校教育推進事業費補助金 2,098千円																												
目的		「教育と学びのまち 京丹後」の実現に向け、「学校のニーズ」と「地域の人の持つ力」を結び付け、学校・家庭及び地域が協力して子どもを育む環境の充実を図る。																															
主要な事務・事業の概要	地域全体で学校教育を支援するため、様々な特技や技能を持った地域の人材を「学校支援ボランティア」として登録し、全てのこども園、小・中学校で、学習支援やクラブ活動支援、学校の環境整備などを実施した。				○ボランティア活動の内容等																												
	○地域コーディネーター謝金（6人分） 2,686千円				・学習支援（教科指導補助、「総合的な学習」講師補助、部活動指導支援等）																												
	○地域コーディネーター旅費 264千円				・環境支援（学校環境整備、学校図書室整理、安全確保、学校行事等の補助等）																												
	○消耗品費、印刷製本費 453千円				<table><tr><td>区 域</td><td>活動日数</td><td>活動人数（延べ）</td></tr><tr><td>峰山学園</td><td>375日</td><td>2,781人</td></tr><tr><td>大宮学園</td><td>130日</td><td>145人</td></tr><tr><td>網野学園</td><td>636日</td><td>3,946人</td></tr><tr><td>丹後学園</td><td>74日</td><td>181人</td></tr><tr><td>弥栄学園</td><td>299日</td><td>418人</td></tr><tr><td>久美浜学園</td><td>466日</td><td>6,282人</td></tr><tr><td>合 計</td><td>1,980日</td><td>13,753人</td></tr></table>					区 域	活動日数	活動人数（延べ）	峰山学園	375日	2,781人	大宮学園	130日	145人	網野学園	636日	3,946人	丹後学園	74日	181人	弥栄学園	299日	418人	久美浜学園	466日	6,282人	合 計	1,980日	13,753人
	区 域	活動日数	活動人数（延べ）																														
	峰山学園	375日	2,781人																														
	大宮学園	130日	145人																														
	網野学園	636日	3,946人																														
	丹後学園	74日	181人																														
	弥栄学園	299日	418人																														
久美浜学園	466日	6,282人																															
合 計	1,980日	13,753人																															
<活動概要>																																	
○実施期間 令和3年4月1日～令和4年3月31日																																	
○実施場所 市内全小学校（17校）、中学校（6校） こども園（6園）																																	
○地域コーディネーター 6人（配置先：6中学校）																																	
○ボランティア登録者数 557人（令和3年度新規登録者数32人）																																	
○広報紙の発行 2回（ボランティア募集、活動報告）																																	
※ボランティアの登録状況（令和3年3月末現在）				成果・課題																													
<table><tr><td>町域</td><td>峰山</td><td>大宮</td><td>網野</td><td>丹後</td><td>弥栄</td><td>久美浜</td><td>市外</td><td>合計</td></tr><tr><td>登録人数</td><td>119人</td><td>90人</td><td>154人</td><td>67人</td><td>68人</td><td>58人</td><td>1人</td><td>557人</td></tr></table>				町域	峰山	大宮	網野	丹後	弥栄	久美浜	市外	合計	登録人数	119人	90人	154人	67人	68人	58人	1人	557人	○地域住民の経験や特技を学校の教育活動等に活かすことで、地域による学校教育支援はもとより、多世代交流に繋がり、市民の生きがい作りになっている。 ○学校活動の多様化に伴うニーズを的確に把握し、地域特性を活かした人材（ボランティア登録者）をより多く確保していく必要がある。											
町域	峰山	大宮	網野	丹後	弥栄	久美浜	市外	合計																									
登録人数	119人	90人	154人	67人	68人	58人	1人	557人																									

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局															
	項	01 教育総務費	330千円		334千円	4千円	98.8 %																	
	目	02 事務局費					(参考)当初予算額	課	学校教育課															
	事業	11 学習支援体制整備事業					1,476千円																	
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源	府補 地域で支える学校教育推進事業費補助金（2/3）218千円																			
目的		「教育と学びのまち 京丹後」の実現に向け、放課後を活用した教育活動を実施することにより、子どもたちの学びを支援する仕組みづくりを進める。																						
主要な事務・事業の概要	○中学生の放課後学習支援（講師謝金、消耗品費）330千円 放課後を活用した学習を希望する生徒を対象に、学習習慣の確立と基礎学力の定着、学力向上による高校進学率の向上を目的として、放課後の学習支援を行った。																							
	<table><thead><tr><th>学校名</th><th>回数</th><th>参加人数（延べ）</th></tr></thead><tbody><tr><td>峰山中学校</td><td>4回</td><td>42人</td></tr><tr><td>大宮中学校</td><td>15回</td><td>250人</td></tr><tr><td>網野中学校</td><td>9回</td><td>271人</td></tr><tr><td>丹後中学校</td><td>22回</td><td>515人</td></tr><tr><td>弥栄中学校</td><td>36回</td><td>650人</td></tr><tr><td>久美浜中学校</td><td>25回</td><td>1,223人</td></tr></tbody></table> ※放課後学習支援に係る時期・回数等計画内容は、学校によって異なります。									学校名	回数	参加人数（延べ）	峰山中学校	4回	42人	大宮中学校	15回	250人	網野中学校	9回	271人	丹後中学校	22回	515人
学校名	回数	参加人数（延べ）																						
峰山中学校	4回	42人																						
大宮中学校	15回	250人																						
網野中学校	9回	271人																						
丹後中学校	22回	515人																						
弥栄中学校	36回	650人																						
久美浜中学校	25回	1,223人																						
				成果・課題	中学生の学習習慣の確立と基礎学力の定着に寄与した。また、ICT機器を活用し、個々の学習進度に応じた学習を行うことができた。																			

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局					
	項	01 教育総務費	209,131千円		429,954千円	220,823千円	48.6 %							
	目	02 事務局費					(参考) 当初予算額	課	教育総務課					
	事業	12 学校跡施設管理事業					429,954千円							
基本計画	30 行財政改革大綱（効率的・効果的な行財政運営）		主な財源	市債 旧小学校施設解体事業債（合併特例債） 194,100千円										
目的	学校再配置により閉校となった学校施設の維持管理を行い、利活用の推進を図る。													
主要な事務・事業の概要	○閉校施設修繕費（4施設） 506千円 電気設備、貯水槽、フェンス等の修繕を行い、施設の適正管理を図った。 修繕施設：旧大宮第三小学校、旧田村小学校、旧豊栄小学校 旧宇川中学校		○旧湊小学校校舎棟解体事業 205,365千円 ・委託料（建物調査等業務、地下水水質調査業務） 5,204千円 ・工事請負費 199,194千円 ・手数料等 967千円 （エアコン撤去手数料、消火器処分手数料等）											
	○維持管理経費 1,014千円 貯水槽法定検査手数料（容量10m³を超える貯水槽2施設）、建物火災保険料 貯水槽等保守点検、雑木伐採委託料、ごみ処理手数料等		<table><tr><td rowspan="2">参考</td><td>繰越明許費を除いた最終予算額</td><td>209,488千円</td></tr><tr><td>実質的な予算執行率</td><td>99.8 %</td></tr></table>							参考	繰越明許費を除いた最終予算額	209,488千円	実質的な予算執行率	99.8 %
	参考	繰越明許費を除いた最終予算額	209,488千円											
		実質的な予算執行率	99.8 %											
	○工事請負費 2,123千円 ・旧大宮第三小学校貯水槽改修工事 673千円 ・旧川上小学校消防ポンプ設備改修工事 528千円 ・旧豊栄小学校校舎消防設備改修工事 922千円		■令和4年度への繰越事業 220,466千円 ・旧橘小学校低圧化工事（工事請負費） 令和4年5月完了 ・旧湊小学校校舎棟解体事業（工事監理、工事請負費） 令和4年6月完了											
○学校跡施設利活用経費 123千円 ・学校跡施設利活用委員会経費 35千円 ・手数料等（ごみ処理手数料等） 88千円		成果・課題 ○施設の老朽化が進み、利活用ができない旧湊小学校校舎及びプール棟施設について除却を進めることができたが、解体工事を実施する際は、周辺環境の調査等地元との調整を十分に行い進める必要がある。 ○旧橘小学校体育館及びグラウンド、旧豊栄小学校校舎について、利活用の公募を行い事業候補者を決定することができた。 ○施設等の状況を考慮しながら、利活用が進むよう今後も検討を進めていく必要がある。												

予算科目目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	01 教育総務費	1,606千円		1,606千円	0千円	100.0 %		
	目	02 事務局費					(参考)当初予算額	課	教育総務課
	事業	13 学校教育施設整備基金					1,583千円		
基本計画		30 行財政改革大綱（効率的・効果的な行財政運営）		主な財源	財産収入 土地建物貸付収入 1,604千円				
					財産収入 学校教育施設整備基金利子収入 2千円				
目的		学校跡施設の建物貸付料をもとに、学校教育施設の整備等を進めることを目的とした学校教育施設整備基金への積立金							
主要な事務・事業の概要	○学校教育施設整備基金積立金 1,606千円								
	建物賃貸借料を基に国が算出した国庫納付金相当額以上を積み立てる								
	・旧大宮第三小学校分 278千円								
	・旧三津小学校分 1,326千円								
	・基金利子分 2千円								
				(単位：千円)					
令和2年度末 現在高		令和3年度中増減額			令和3年度末 現在高				
①		繰入金	運用利子	積立金	①-②+(③+④)				
②		③	④						
5,303		0	2	1,604	6,909				
					成果・課題				

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局			
	項	01 教育総務費	189千円		228千円	39千円	82.8 %					
	目	02 事務局費					(参考)当初予算額					
	事業	14 保幼小中一貫教育推進事業					509千円	課	学校教育課			
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源								
目的	「京丹後市の学校教育改革構想」に基づき、保幼小中一貫教育の推進に向け、協議会及び専門部会で調査研究並びに教員の授業力と学級経営力を高めるための研修を実施し、指導の一貫性を通じて確かな学力、豊かな心を育成する。											
主要な事務・事業の概要	○保幼小中一貫教育研究推進協議会（委員謝金、費用弁償）		71千円		○授業実践力向上研修会（講師謝金、消耗品費）					46千円		
	・協議会委員 14人（大学教授、学識経験者、PTA、学校教職員等） ・協議会の開催 2回（12月・3月） ・調査研究事業 保幼小中一貫教育実施校における効果と課題の整理				開催日： 令和3年10月12日（火） 参加者： 99人 対 象： 市内小中学校教員、教育関係者 場 所： いさなご小学校 講 師： 尾崎 正彦 氏（関西大学初等部 教諭）							
主要な事務・事業の概要	○学校教育連携専門部会				○丹後学研修会（講師謝金） ※オンライン開催					30千円		
	・専門部会 学校運営部員 6人 ・開催回数 学校運営部会 2回				開催日： 令和4年3月3日（木） 参加者： 29人 対 象： 市内小中学校教員、教育関係者 講 師： 俣野 裕哉 氏（一般社団法人京丹後青年会議所 副理事長）							
主要な事務・事業の概要	○保幼小中一貫教育指導の重点リーフレット・ポスター作成配布（教職員用）				○出張旅費等（旅費、有料道路使用料）					7千円		
	・指導の重点360部、推進上の留意点60部、ダイジェスト版660部ほか											
主要な事務・事業の概要	○教育フォーラムの開催（消耗品費）		5千円		成果・課題					○保幼小中一貫教育研究推進協議会及び学校教育連携専門部会による研究と検証を積み重ね、保幼小中一貫教育推進基本計画に基づく各学園の取組評価等をPDCAサイクルにより進めることができた。 ○郷土への愛着と誇り、地域での生活への意欲を系統的にはぐくむ丹後学を指導する教員が地域における様々な取組を知る機会として、丹後学研修会を開催することができた。 ○引き続き、保幼小中一貫教育を推進するための研究及び検証を進める必要がある。		
	開催日： 令和3年10月21日（木） 参加者： 63人 対 象： 市内保育所・こども園・小中学校教員、教育関係者他 場 所： 峰山こども園 内 容： 公開保育、乳幼児期の教育・保育の取組紹介											
主要な事務・事業の概要		○小中一貫教育全国連絡協議会負担金		30千円								

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	01 教育総務費	4,886千円		5,717千円	831千円	85.4 %		課
	目	02 事務局費					(参考)当初予算額		
	事業	15 保幼小中一貫教育実践事業					5,717千円		
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源	府補 きょうと地域連携交付金（保幼小中一貫教育実践事業） 1,400千円				
目的	「京丹後市の学校教育改革構想」に基づくより良い教育の実現に向け、市内全域で保幼小中一貫教育を実践する。また、学力の向上等の課題解決を目指すとともに、将来に夢と希望をもって学ぶことのできる子どもを育成する。								
主要な事務・事業の概要	○保幼小中一貫教育の実践（報償費、消耗品費、印刷製本費等） 3,248千円				○京丹後市保幼小中一貫教育研修会（講師謝金） 50千円				
	・ 峰山学園（授業研究会、部活動体験、体験授業等） 626千円				開催日： 令和3年8月20日（金） 参加者： 160人				
	・ 大宮学園（あいさつ運動、小中合同講演会等） 606千円				対 象： 市内小中学校教員、教育関係者				
	・ 網野学園（部活動体験、授業体験、SNS講座等） 714千円				講 師： 秋田 喜代美 氏 （東京大学大学院 教授）				
	・ 丹後学園（部活動体験、あいさつ運動、授業体験等） 370千円				※オンライン開催				
	・ 弥栄学園（部活動体験、保幼小中行事交流等） 410千円								
	・ 久美浜学園（部活動体験、SNS講演会等） 522千円								
	○特色ある学校づくりの支援（報償費、消耗品費、委託料等） 1,588千円								
	実施校：小学校16校、中学校6校								
	主な取組内容：郷土学習、環境学習、農業体験、人権学習 ばら寿司作り、福祉体験講座、性教育、SDGsに関する取組等								
					成果・課題	○保幼小中一貫教育の実施により、各学園が教育目標「目指す子ども像」を設定し、カリキュラムや指導方法等を統一することで、学園内の小中学校が一体となった教育活動を系統的に行うことができた。 ○新型コロナウイルス感染症の影響で一部取り組むことができなかったものもあるが、部活動体験等の小中連携、合同SNS講演会等の小中連携等、学園内の保幼小中学校が連携した教育活動を実施することができた。			

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	01 教育総務費	1,523千円		1,681千円	158千円	90.6 %		
	目	02 事務局費					(参考)当初予算額	課	学校教育課
	事業	16 いじめ防止啓発推進事業					1,681千円		
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源					
目的	「京丹後市いじめ防止等基本方針」に基づくいじめ防止等の啓発活動を実施し、市と市民が一体となっていじめの防止等のための対策を総合的かつ効果的に推進する。								
主要な事業・事業の概要	○いじめ防止講演会（講師謝金、消耗品費） 参加者：56人 39千円 開催日：令和3年12月8日（水） 対 象：市民、教職員、PTA 講 師：聖母の小さな学校 梅澤 良子 先生 会 場：アグリセンター大宮			○京丹後市こどもSNS（LINE）相談窓口設置 1,430千円 ・システム導入委託料 264千円 ・研修業務委託料（SNS相談の手順と留意点） 165千円 ・システム保守委託料 385千円 ・システム使用料 616千円 相談開始日：令和3年8月25日 相談日時：平日16時～21時 相談対象：市内に居住する小中学生 対応者：教育委員会事務局指導主事、臨床心理士 登録数：66人 相談延べ件数：23件 ※いじめ相談件数：2件					
	○いじめ防止街頭啓発 京丹後市こどもSNS相談やフリーダイヤルが掲載されているポケットティッシュを配布 実施日：令和3年11月18日（木） 場 所：ショッピングセンターマイン								
	○いじめ相談専用電話設置（備品購入費、通信運搬費） 54千円 フリーダイヤル利用料、いじめ相談専用携帯電話利用料 スマートフォン購入費、機種交換手数料 相談受付：24時間対応 対応者：教育委員会事務局指導主事、臨床心理士 ※いじめ相談件数：0件			成果・課題	○いじめ防止講演会及び街頭啓発キャンペーンを通じて、いじめの問題等について、正しい理解や意識の高揚を促すことができた。 OSNS窓口の設置により相談への敷居が下がり、いじめを含め幅広い相談を受けることができた。 OSNS等を介した誹謗中傷やいじめ事象が増加傾向にあることから、保護者への啓発活動と併せて教職員の指導力の向上を図る必要がある。 OSNS相談窓口の周知など、引き続き、相談しやすい環境づくりに努める必要がある。				

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局			
	項	01 教育総務費	249千円		374千円	125千円	66.5 %					
	目	02 事務局費					(参考)当初予算額					
	事業	17 いじめ防止対策等運営事業					374千円	課	学校教育課			
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源									
目的	いじめ問題対策連絡会議及びいじめ防止対策等専門委員会を設置し、関係機関が一体となって、いじめの防止等のための対策を総合的かつ効果的に推進する。											
主要な事務・事業の概要	○いじめ問題対策連絡会議経費（委員数：21人）							17千円		○いじめ防止対策等専門委員会経費（委員数：5人）		
	保育所、こども園及び小中学校におけるいじめの防止対策や早期発見、いじめへの対処等に関する協議を行うため、「いじめ問題対策連絡会議」を設置し、教育、福祉、医療、保健、警察及び司法等の関係機関との連携を図った。				いじめの防止等のための対策に関する事項や重大ないじめ事象が発生した場合に調査を行うため、弁護士、医師、臨床心理士、学識経験者からなる「いじめ防止対策等専門委員会」を設置し、会議を開催するなど、それぞれの専門的な立場からいじめ事象に対する助言を受けた。							
	開催日：令和3年7月6日（火）				開催日：第1回 令和3年10月30日（土）							
	会 場：京丹後市役所峰山庁舎				第2回 令和4年3月12日（土）							
主要な事務・事業の概要	・報償費（委員謝金）		16千円		会 場：京丹後市役所大宮庁舎							
	・旅費（費用弁償）		1千円		・報酬					126千円		
					・旅費（普通旅費・費用弁償）					98千円		
					・消耗品費					8千円		
成果・課題					○専門的な立場から指導・助言を受けることにより、学校に対していじめ防止等のための取組やいじめ事象の解決に向けた支援を行うことができた。							
					○いじめは、どの子どもにも、どの学校でも起こり得ることを踏まえ、いじめの未然防止及び早期発見に向けた取組を推進する必要がある。							
						○いじめの解決に向けた組織連携や見立ての在り方について、事例研修を行う中で各小中学校の対応力をさらに高める必要がある。						

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局	
	項	01 教育総務費	42,202千円		42,791千円	589千円	98.6 %			
	目	02 事務局費					(参考)当初予算額	課	学校教育課	
	事業	18 学校情報化推進事業					46,537千円			
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実	主な財源	国補	地方創生推進交付金				100千円	
				国補	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金				10,000千円	
目的	小中学校の情報通信ネットワークの整備・維持管理を行うとともに、情報管理の徹底と学校情報化を行う。また、ICTを活用した学習環境を推進する。									
主要な事務・事業の概要	市内小中学校に整備した校内LAN及び校務用パソコン、普通教室用パソコン、児童・生徒・教職員用タブレット、情報教室用パソコン及びサーバー機器の維持管理を行うとともに、ウイルス対策を行った。また、小中学校の普通教室及び、特別支援教室に整備した電子黒板等の維持管理及び利用促進を行った。									
	○報償金	199千円		○委託料						14,246千円
	・講師謝金			・サーバーシステム・パソコン・校内LAN保守委託料						1,743千円
	プログラミング教育講習、情報セキュリティモラル等に係る研修会			・産業廃棄物処理委託料（パソコン・サーバー等）						458千円
	○需用費	2,711千円		・校務支援システム保守委託料						729千円
・パソコン・校内LAN関連消耗品	15千円		・ICT支援員業務委託料（5人）						11,316千円	
・パソコン・校内LAN関連修繕費（26件）	2,696千円		○使用料及び賃借料						23,501千円	
○役務費	1,545千円		・パソコン借上料						18,887千円	
・通信運搬費	1,215千円		サーバーシステム借上（8台）							
・手数料（電子黒板移設）	330千円		校務用パソコン借上（580台）							
			・ソフトウェア使用料						4,614千円	
			校務支援システム、ウイルス対策ソフト（1,556台分）ほか							
			成果・課題	○ネットワークを利用した遠隔操作などにより、小中学校等に整備した校内LAN、1,802台のパソコン（校務、普通教室、情報教室、タブレット）、電子黒板及びサーバー機器、並びにGIGAスクール情報機器等整備事業にて導入した4,252台のタブレット、50台のプリンタ、151台の電子黒板接続装置等の維持管理を効果的かつ適切に行うことができた。 ○引き続き、ICT支援員を適切に配置しながら、児童・生徒・教職員のICT機器や授業支援システムを積極的に利活用し、授業改善につなげていく必要がある。						

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	01 教育総務費	44千円		160千円	116千円	27.5 %		
	目	02 事務局費					(参考)当初予算額		
	事業	19 児童生徒国際交流事業					5,478千円	課	学校教育課
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実	主な財源	繰入金 韓哲・まちづくり夢基金繰入金 6千円						
目的	国際交流事業を推進することにより、語学力の向上はもとより、国際感覚を持ちグローバル社会で活躍できる人材を育成する。								
主要な事務・事業の概要	○小中学生文化体験 37千円 小中学生を対象とした異文化理解・国際交流プログラムを実施。 ・ALTによる英語活動体験 対象者：小学3～6年生 実施日：令和3年8月8日（日） 参加人数：45人 ・フィリピンとのオンライン交流 対象者：中学1年生 実施日：令和3年10月14日（木）、10月21日（木）、11月4日（木）、11月11日（木） ※事前研修2回を含む全4回で開催 参加人数：19人				○中学生のオンラインホームステイ事業 7千円 コロナ禍において、海外派遣事業の実施が困難な中で、語学力の向上及び国際的視野を広めることを目的にオンラインホームステイ事業を実施。 （全体研修を5回、各家庭でのフィリピンとのオンライン交流を複数回実施） 事業期間：令和4年2月21日（月）～3月28日（月） 参加生徒：中学2年生 15人 ・報償物品 3千円 ・通信運搬料 4千円				
	成果・課題	○小中学生の文化体験を行い、国際交流事業を推進することにより語学力の向上及び国際的視野をもった人材を育成することができた。 ○新型コロナウイルス感染症の影響により、予定した海外派遣は実施できなかったが、オンラインによる交流を実施し、生徒の国際的視野を広げることができた。 ○国際的視野をもった児童生徒を育成するため、国際交流事業の充実を図る必要がある。							

予算科目目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	01 教育総務費	1,883千円		1,938千円	55千円	97.1 %		
	目	02 事務局費					(参考)当初予算額	課	学校教育課
	事業	20 国際交流員招致事業					5,168千円		
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源					
目的	一般財団法人自治体国際化協会の「語学指導等を行う外国青年招致事業（JETプログラム）」を活用して国際交流員を任用し、現代社会のグローバル化に対応する。								
主要な事務・事業の概要	国際交流員を学校教育課に配置し、国際交流や異文化理解について、その専門性で見識や経験を活かした指導、助言を行った。				○自治体国際化協会負担金 543千円				
	○会計年度任用職員任用経費（国際交流員 1人） 1,176千円				・来日直後オリエンテーション参加費用負担金 253千円				
	・報酬 1,033千円				・国際交流員人員割、傷害保険負担金 110千円				
	（期間：令和3年11月8日から令和4年2月24日）				・来日渡航費用負担金 180千円				
	・共済費（社会保険料、雇用保険料） 143千円								
	○招致にかかる経費 9千円								
	・普通旅費 3千円								
	・有料道路通行料 5千円								
	・駐車場使用料 1千円								
	○国際交流員の賃貸住宅に係る経費 155千円				成果・課題	○新型コロナウイルス感染症の世界的な感染状況から入国制限等により国際交流員の確保が難しい中、予定通りの期間とはなかったが国際交流員を配置し、その専門性や経験を活かし国際理解教育の推進を図ることができた。 ○継続的な活用のため、国際交流員の心身の負担を軽減できるよう生活面におけるサポートの充実が必要である。			
・住居の火災保険料、仲介手数料、礼金 149千円									
	・消耗品費 6千円								

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	01 教育総務費	226千円		231千円	5千円	97.8 %		
	目	02 事務局費					(参考)当初予算額		
	事業	21 共同学校事務室運営事業					231千円		
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源					
目的	学校事務処理の適正化及び標準化、効率化、学校マネジメント機能の強化等を図るため、共同学校事務室を設置し、学校の教育力・組織力の向上を推進する。								
主要な事務・事業の概要	○共同学校事務室運営経費				226千円				
	令和3年度は、平成30年度より実践研究校として取り組んできた網野学園（網野中・網野北小・網野南小・島津小・橘小）において先行して共同学校事務室を設置。								
	【網野学園における共同実施業務】								
	学校経営全体に関わる業務（各種文書の収受発出など情報管理）								
	教職員人事に関する業務（給与、旅費、福利厚生、服務等に関する業務）								
教育活動に直接関係する業務（学校予算、備品、就学援助等に関する業務）									
そのほか校内体制に応じて参画する業務 等									
・消耗品費				174千円					
・印刷製本費				30千円					
・役務費（通信運搬費）				22千円					
				成果・課題	○異なる様式や処理方法を統一し共有することで、学校事務の標準化を進めることができた。 ○事務処理状況の確認や、帳簿類の相互チェックを行い、事務の適正な執行を図るとともに、事務職員のスキルアップにつなげることができた。 ○役割を分担し、学校規模による事務量の差を調整することで、安定した学校事務に取り組むことができた。 ○令和4年度から全学園に共同学校事務室を設置するため、網野学園共同学校事務室の成果を共有していくことが重要である。				

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局	
	項	01 教育総務費	7,169千円		7,882千円	713千円	90.9 %			
	目	02 事務局費					(参考)当初予算額	課	教育総務課	
	事業	50 事務局一般経費					7,740千円			
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実	主な財源	繰入金	韓哲・まちづくり夢基金繰入金				360千円	
				諸収入	市有自動車損害共済金				32千円	
目的	教育委員会事務局の円滑な運営及び公用車の適正な維持管理を行うとともに、全国部活動特別入学者選抜により市内の高等学校に入学する生徒を応援する補助金を創設し、生徒の就学支援及び地域の活性化を図った。									
主要な事務・事業の概要	○事務局運営に係る経費		5,461千円	○高等学校全国募集入学生応援補助金						360千円
	・会計年度任用職員任用経費（事務補助2人）		4,564千円	月額15,000円×12月×2人						
	・教育委員会活動点検評価謝金（2人）		40千円	・対象校：京都府立丹後緑風高等学校（網野学舎）						
	・各種協議会等出張旅費（教育長、職員等）		101千円	・部活動名：レスリング部						
	・激励金（5団体、個人19人） （スポーツ等の国際大会・全国大会に出場する選手を激励 カヌーほか8競技）		340千円							
	・書籍、消耗品費ほか		416千円							
	○公用車の維持管理経費		1,260千円							
	・公用車6台（うち車検2台）の燃料費、保険料、車検等経費									
	○各協議会、団体への負担金		88千円	成果・課題	○全国部活動特別入学選抜により、市内の高等学校に入学した生徒の下宿等に係る経済的負担軽減を図るとともに、生徒の就学支援をはじめ、地域で培われたスポーツ風土を生かした部活動を応援することで人材の育成及び地域の活性化に寄与することができた。 ○教育委員会事務局の運営及び公用車管理について、経費削減に努めながら効率的な執行ができた。					
	全国都市教育長協議会負担金、定時制通信教育振興会負担金、 京都府都市教育長協議会参加負担金、安全運転管理者講習会負担金									

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	01 教育総務費	24,805千円		25,093千円	288千円	98.8 %		
	目	03 外国語活動推進費					(参考)当初予算額		
	事業	01 外国語指導助手招致事業						28,984千円	
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源					
目的	自治体国際化協会（JETプログラム）の斡旋を受け、外国語指導助手（ALT）を招致・任用し、小中学校で授業等の補助を行うことで、外国語教育及び国際理解教育の促進を図る。								
主要な事務・事業の概要	新規ALT3人が、新型コロナウイルス感染症拡大のため渡航制限を受け、来日が延期されたため、着任するまでの間、代替として英語を母国語とするかたをスクールサポーターとして任用した。				○外国語指導助手の賃貸住宅に係る経費 696千円				
	○外国語指導助手（会計年度任用職員）任用経費（6人分） 19,199千円				・鍵交換費用ほか（峰山、大宮町域） 23千円				
	・報酬、費用弁償 16,573千円				・アパート仲介、ごみ処理手数料（久美浜町域） 59千円				
	・社会保険料、労災保険料、雇用保険料 2,626千円				・住宅火災保険（峰山、大宮、久美浜町域） 76千円				
	○スクールサポーター（会計年度任用職員）任用経費（3人分） 2,683千円				・敷金礼金、更新手数料（峰山、大宮、丹後、久美浜町域） 538千円				
	・報酬、費用弁償 2,374千円				○負担金 1,976千円				
・社会保険料 309千円				・自治体国際化協会負担金 1,224千円					
○外国語指導助手支援員（会計年度任用職員）任用経費（1人分） 55千円				・来日後オリエンテーション参加負担金（3人分） 752千円					
・報酬、費用弁償									
○外国語指導助手等の旅費 196千円				成果・課題	○日本人の外国語教諭のサポート並びにEnglishDaysやオンライン留学などの事業において一役を担っている。また、国際理解教育の促進などALTの果たす役割が期待されており、今後もALTの継続的な確保が必要である。 ○切れ目のない継続的な活用のため、ALTの心身的な負担を軽減する生活支援等の充実が必要である。				
・帰国旅費（1人） 170千円									
・旅費、有料道路、駐車場使用料（職員） 26千円									

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局	
	項	01 教育総務費	6,011千円		6,055千円	44千円	99.2 %		課	教育総務課
	目	04 奨学費					(参考)当初予算額			
	事業	01 奨学金事業					13,695千円			
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実	主な財源	繰入金	奨学基金繰入金				1,368千円	
				繰入金	谷口謙・未来応援基金繰入金				4,492千円	
目的	経済的に困窮している世帯で勉学意欲のある生徒や学生に対し、奨学金の給付及び貸付を行い、就学を支援する。									
主要な事務・事業の概要	経済的に困窮している世帯（家庭）で勉学意欲のある大学生等を対象に奨学金を給付した。また、令和3年度大学等在学者及び令和4年度大学等進学予定者を対象に、奨学金の貸付を行った。									
	○奨学金選考・検討委員会経費（2回開催）		63千円	○貸付奨学金						4,492千円
	・委員報酬 4千円（半日）× 6人×1回 7人×1回		52千円	・修学支援金（6人）						3,792千円
	・費用弁償		11千円	大学生等 1,000千円×3人						
	○給付奨学金		1,368千円	大学生等 280千円×2人						
		・大学生等（11人）		大学生等 232千円×1人						
		月額12千円×12月×2人（前・後期）	288千円	・入学支度金（1人）						700千円
		月額10千円×12月×9人（前・後期）	1,080千円	進学予定者 700千円×1人						
				○定住促進奨学金返還支援補助金の制度周知経費						88千円
				・広報チラシ印刷製本費						35千円
				・大学等へのチラシ送料						53千円
				※認定申請者 143人（令和4年3月31日現在）						
				成果・課題	○勉学意欲と能力のある生徒及び学生への就学支援を行うことにより、困窮世帯の生徒及び学生が勉学に取り組むための環境を整えることができた。 ○新型コロナウイルス感染症の影響により経済状況が一層厳しい中で、給付奨学金の随時申請や奨学金返還猶予など制度を周知し、支援に努めた。 ○令和3年度に創設した定住促進奨学金返還補助事業について、制度周知に努めた結果、多くの申請につながった。					

予算科目目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	01 教育総務費	895千円		896千円	1千円	99.8 %		
	目	04 奨学費					(参考)当初予算額	課	教育総務課
	事業	02 奨学基金					12千円		
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実	主な財源	財産収入 奨学基金利子収入 40千円					
				諸収入 奨学資金貸付償還金滞納繰越分 855千円					
目的		経済的理由により大学等への修学が困難な者に対し、奨学金を給付することを目的とした奨学基金への積立金							
主要な事務・事業の概要	○奨学基金積立金 855千円								
	・旧網野町で貸し付けた奨学資金償還金分								
	○奨学基金積立金（利子分） 40千円								
	(単位：千円)								
	令和2年度末 現在高 ①	令和3年度中増減額		令和3年度末 現在高 ①-②+(③+④)					
		繰入金 ②	運用利子 ③	積立金 ④					
	136,862	1,368	40	855	136,389				
	(充当：1事業)								
	・奨学金事業 1,368千円								
				成果・課題					

予算科目目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局					
	項	01 教育総務費	3,351千円		3,351千円	0千円	100.0 %							
	目	04 奨学費					(参考)当初予算額	課	教育総務課					
	事業	03 谷口謙・未来応援基金					1,460千円							
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実	主な財源	財産収入 谷口謙・未来応援基金利子収入 27千円										
目的		経済的理由により大学等への進学及び修学が困難な者に対し、奨学金を貸し付けることを目的とした谷口謙・未来応援基金への積立金		諸収入 奨学資金貸付償還金 3,255千円										
主要な事務・事業の概要	○谷口謙・未来応援基金積立金 3,324千円													
	・京丹後市貸付奨学金で貸し付けた奨学資金償還金分													
	○谷口謙・未来応援基金積立金（利子分） 27千円													
	(単位：千円)													
	<table><tr><td>令和2年度末 現在高 ①</td><td colspan="2">令和3年度中増減額</td><td>令和3年度末 現在高 ①-②+(③+④)</td></tr><tr><td></td><td>繰入金 ②</td><td>運用利子 ③</td><td>積立金 ④</td></tr><tr><td>72,042</td><td>4,492</td><td>27</td><td>3,324</td></tr></table>								令和2年度末 現在高 ①	令和3年度中増減額		令和3年度末 現在高 ①-②+(③+④)		繰入金 ②
令和2年度末 現在高 ①	令和3年度中増減額		令和3年度末 現在高 ①-②+(③+④)											
	繰入金 ②	運用利子 ③	積立金 ④											
72,042	4,492	27	3,324											
(充当：1事業)			成果・課題											
・奨学金事業 4,492千円														

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	02 小学校費	151,908千円		153,364千円	1,456千円	99.0 %		
	目	01 小学校管理費					(参考)当初予算額	課	学校教育課
	事業	02 小学校管理運営事業					152,455千円		
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源	寄附金	ふるさと応援寄附金			100千円
目的	適正な学校運営や教育環境の充実に取り組み、小学校における円滑な教育活動を実施する。				諸収入	学校施設改修工事等電気水道利用負担金			19千円
					諸収入	小学校施設光熱水費利用負担金			18千円
主要な事務・事業の概要	○会計年度任用職員任用経費（作業員13人）			33,862千円		○使用料及び賃借料			1,567千円
	・報酬			23,411千円		・テレビ受信料、ガス警報器使用料			246千円
	・会計年度任用職員期末手当			4,741千円		・コピー機借上料、印刷機借上料			1,321千円
	・共済費（社会保険料、労災保険料、雇用保険料）			4,493千円		（うち、コピー機5台/7台中、印刷機7台/7台中を更新）			
	・費用弁償			1,217千円					
	○需用費			107,174千円		○備品購入費			3,066千円
	・消耗品費、燃料費（事務用品、用紙、灯油ほか）			31,724千円		・電話機、特別支援学級備品、ストーブほか			
	・食糧費、印刷製本費（来客用茶、卒業証書ほか）			420千円		（うち、ふるさと応援寄附金充当額100千円 ※高龍小テント購入代）			
	・電気代			51,597千円		○負担金、補助及び交付金			581千円
	・水道料			22,879千円		・校長会、教頭会、教務主任会ほか各種団体負担金			
・修繕費（印刷機等の修繕）			554千円						
○役務費			5,174千円		成果・課題	○教育環境の整備や維持管理など、児童が安全に安心して学ぶことのできる学校づくりに取り組み、小学校における円滑な教育活動を実施することができた。 ○老朽化した印刷機器を更新し、校務の効率化を推進した。 ○より充実した教育環境の整備と学校施設の効率的な管理運営に努めていく必要がある。			
・電話代、郵送料			3,679千円						
・手数料（ピアノ調律、ミシン調整ほか）			1,495千円						
○委託料			484千円						
・理科薬品廃棄処分、 害虫駆除委託料									

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局	
	項	02 小学校費	70,973千円		70,977千円	4千円	99.9 %			
	目	01 小学校管理費					(参考)当初予算額	課	教育総務課	
	事業	03 小学校施設改修事業					81,577千円			
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実	主な財源	国補	学校施設環境改善交付金（1/3）				11,793千円	
				市債	小学校施設整備事業債（過疎対策費）				50,000千円	
目的	小学校施設における改修工事等を行い、児童が安全に、安心して学校生活を送ることができる教育環境を整備する。									
主要な事務・事業の概要	○小学校トイレ洋式化工事（網野北・島津）		55,721千円		○令和4年度工事に向けた業務委託					6,227千円
	・工事監理委託料		2,052千円		・小学校トイレ洋式化等工事実施設計業務（峰山・長岡）					
	・工事請負費		53,573千円		○調査委託料					16千円
	・仮設トイレ借上料、汲取手数料		96千円		・いさなご小学校落雷解析データ調査					
	○いさなご小学校職員室エアコン改修工事		726千円		災害復旧事業の申請において、指定する地域・期間内に落雷が発生していた事実を証明するために必要な調査					
	・工事請負費									
	○橘小学校特別支援室エアコン設置工事		1,171千円							
	・工事請負費									
	○その他工事請負費		7,112千円							
	・網野南小学校高圧ケーブル更新工事		1,023千円							
	・いさなご小学校高圧気中開閉器改修工事		405千円							
	・久美浜小学校揚水ポンプ改修工事ほか11件		5,684千円		成果・課題	○網野北、島津各小学校のトイレ洋式化工事を行うなど、児童の安全・安心を最優先に施設整備を行うことにより、良好な教育環境を整えることができた。 ○令和3年3月に策定した学校施設の長寿命化計画に基づき、計画的な改修を実施する必要がある。				

予算科目	款	10 教育費				本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	教育委員会事務局																	
	項	02 小学校費				9,538千円		25,440千円		15,902千円		37.4 %																				
	目	01 小学校管理費										(参考)当初予算額		課	学校教育課																	
	事業	04 児童教職員健康管理事業										10,166千円																				
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実				主な財源	国補	学校保健特別対策事業費補助金（1/2）						864千円																		
							府負	フッ素による子どものむし歯予防事業費補助金（1/2）						19千円																		
目的		児童及び教職員の健康管理を行うとともに、設備の安全対策を講じることにより、児童及び教職員の健康の保持増進と小学校の教育活動における安全・安心な環境を整える。																														
主要な事務・事業の概要	○需用費（保健衛生消耗品、修繕料、医薬材料）														1,988千円		○使用料及び賃借料														1,033千円	
	（うち感染症対策に要した消耗品等 744千円）																												51千円			
	○委託料														5,169千円		○備品購入費（感染症対策）														1,348千円	
	・児童検診委託料														3,790千円		CO ₂ モニター、空気清浄機ほか															
	心臓検診委託料 1次 796人（1・4年、経過観察者）																															
	2次 102人																															
	眼科検診委託料 2,332人																															
	耳鼻科検診委託料 2,332人																															
	尿検査委託料（春）1次 2,340人 2次 61人																															
	尿検査委託料（秋）1次 2,343人 2次 57人																															
	脊柱側わん症検診委託料 7人（校医抽出者）																															
	結核検診料 3人																															
	・教職員健康診断委託料														1,177千円																	
	・教職員結核検診委託料														202千円																	
																成果・課題		○新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策や各種健康診断を実施するなどし、児童及び教職員の健康を保持増進するとともに、学校の安全・安心な環境を整備することができた。 ○市内全小学校においてフッ化物洗口を実施し、児童のむし歯予防の環境を整えることができた。														

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	02 小学校費	13,924千円		14,050千円	126千円	99.1 %		
	目	01 小学校管理費					(参考)繰越予算額	課	学校教育課
	事業	04 児童教職員健康管理事業（繰越）					14,050千円		
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源	国補 学校保健特別対策事業費補助金（1/2） 6,944千円				
目的	新型コロナウイルス感染症による感染リスクを最小限にしながら円滑に教育活動を継続するためにも、学校における感染症対策及び児童の学びの保障に必要な体制を整備する。								
主要な事務・事業の概要	○需用費 4,571千円 ・消耗品費（手指消毒液、消毒用ビニール手袋ほか） 3,082千円 ・修繕料（水道蛇口のレバーハンドル化ほか） 1,489千円 ○備品購入費 8,835千円 ・備品購入費（空気清浄機、サーモグラフィー、CO ₂ モニターほか） ○負担金、補助及び交付金 518千円 ・修学旅行等新型コロナウイルス感染症対策費補助金 （該当校：大宮第一小学校、丹後小学校、宇川小学校、高龍小学校 計4校） 補助内容：新型コロナウイルス感染症の感染対策（密対策）として、修学旅行における貸切バスの増台及び車両変更に要した経費を補助。				成果・課題	国の補助金を活用し、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、持続的に児童の教育を受ける権利を保障していくため、学校における感染及び拡大のリスクに対処したうえで、学校運営を継続していくことができた。			

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局		
	項	02 小学校費	88,791千円		89,700千円	909千円	98.9 %				
	目	01 小学校管理費					(参考)当初予算額	課	学校教育課		
	事業	05 小学校スクールバス運行管理事業					106,928千円				
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実	主な財源	繰入金 ふるさと応援基金繰入金 65,000千円								
目的	遠距離通学及び通学路の状況や冬期積雪時等、特に必要と認めた児童の通学のためにスクールバスを運行する。										
主要な事務・事業の概要	○スクールバス運行管理委託料				88,402千円						
	※バスの運転及び車両の維持管理を業者委託										
	いさなご小	3台	橘小	1台	弥栄小	3台					
	しんざん小	1台	島津小	1台	久美浜小	1台					
	大宮南小	3台	丹後小	4台	高龍小	4台					
	網野南小	3台	宇川小	1台	かぶと山小	4台					
				計	29台						
	○バス停維持管理経費				10千円						
	・火災保険料、土地借上料（15.66㎡）										
	○需用費				379千円						
	・消耗品費、修繕料										
成果・課題	○スクールバスの運行により、小学校に通学する児童の安全な通学手段を確保することができた。 ○より安全なスクールバスの運行を行うため、引き続き運行管理委託業者への指導及びドライバーへの安全啓発等を行う必要がある。										

予算科目目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	02 小学校費	283千円		283千円	0千円	100.0 %		
	目	01 小学校管理費					(参考)当初予算額	課	学校教育課
	事業	06 小学校通学支援事業					271千円		
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源					
目的		遠距離通学をする児童を対象に、通学の状況に応じて遠距離通学補助金を支給し、通学の安全確保と保護者の負担軽減を図る。							
主要な事務・事業の概要	○遠距離通学補助金		283千円						
				成果・課題	遠距離通学をする児童を対象とした遠距離通学の支援を行うことで、通学の安全確保と保護者の負担軽減を図ることができた。				

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局		
	項	02 小学校費	27,171千円		27,344千円	173千円	99.3 %				
	目	01 小学校管理費					(参考)当初予算額				
	事業	07 小学校施設管理事業						25,813千円	課	教育総務課	
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実									
目的		学校施設の適切な維持管理により、良好な学習環境の確保を図る。		主な財源							
主要な事務・事業の概要	○施設等修繕費			11,805千円		○施設修繕のための原材料、消耗品				411千円	
	・校舎、体育館、給食調理室、消防設備、遊具等の修繕					・グラウンド用山土、砂、体育館用ドレッシングオイル、修繕用木材等					
	○各種検査、手数料			514千円		○網野北小学校芝生化事業				922千円	
	・浄化槽法定検査、貯水槽法定検査、漏水調査手数料、倒木処理手数料					・芝生肥料、芝刈機用燃料、芝刈機修繕、補植用芝生及び芝生用土購入					
	○建物火災保険料			994千円		芝生目土作業委託料					
主要な事務・事業の概要	○施設保守管理等委託料（13業務）			12,375千円							
	・デマンド監視業務、消防設備等保守点検、浄化槽維持管理、電気設備保守管理、エレベーター保守点検、給食用リフト保守点検、学校警備、プール循環保守点検、給食施設消毒等業務、雑木伐採、貯水槽等保守点検、グリストラップ処理、給排水設備保守点検										
	○施設用地借上料			150千円		成果・課題					
・いさなご小学校（学童農園用地ほか 751.22㎡）					○法令等に基づいた定期点検を行うなど、施設の適切な維持管理により、学校運営を円滑に行うことができた。 ○老朽化した施設が多い中、良好な教育活動を行うため、安全性・機能性の確保に努め、今後も適切な維持管理を行う必要がある。						

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局				
	項	02 小学校費	14,953千円		20,719千円	5,766千円	72.1 %						
	目	02 小学校教育振興費					(参考)当初予算額	課	学校教育課				
	事業	01 小学校教育振興事業					25,176千円						
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実	主な財源	府補 きょうと地域連携交付金（教育振興事業） 4,258千円									
目的	副読本や学習教材を有効に活用するとともに、地域の特性を取り入れた学習指導を実践し、学力等の向上を図る。												
主要な事務・事業の概要	○報償費 1,274千円 ・入学記念品（394人分） 310千円 ・卒業記念品（415人分） 964千円 ○旅費 26千円 ・費用弁償（大地の学習講師費用弁償） ○需用費 11,338千円 ・消耗品費 11,102千円 学用品、理科実験費、学力検査、指導書（教職員用）ほか ・印刷製本費 236千円 社会科副読本「わたしたちのきょうたんご」437部 ※3・4年生用 ○委託料 1,447千円 ・スクールバス定期外運行運転委託料				○使用料及び賃借料 868千円 ・自動車借上料 680千円 ・有料道路通行料 31千円 ・駐車場使用料 5千円 ・著作物使用料 152千円								
					成果・課題		学校内での学習活動に加え、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を講じながら、可能な限り、各学校の創意工夫や独自性を活かした様々な社会活動、体験活動などの校外学習を行うことで、児童の基礎学力の向上や社会を生き抜く力を高めることができた。						

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	02 小学校費	11,010千円		11,432千円	422千円	96.3 %		
	目	02 小学校教育振興費					(参考)当初予算額	課	学校教育課
	事業	02 小学校教育振興備品整備事業					11,385千円		
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実	主な財源	国補	理科教育設備整備費等補助金（1/2）				1,220千円
目的		授業に必要な教材備品や学校図書を計画的に整備することで、児童の主体的、意欲的な学習活動を充実させ、学力の向上を図るとともに豊かな心を育む。		府補	きょうと地域連携交付金（教育振興事業）				2,460千円
				寄附金	ふるさと応援寄附金				200千円
主要な事務・事業の概要	学習環境を整えるため、必要となる教材備品を購入した。図書については、充足率の向上に努めるよう整備を行うとともに、学校図書館蔵書管理システムを使用して管理を行った。 ○需用費 201千円 ・修繕料（教材備品の修繕） ○役務費 22千円 ・家電リサイクル料（テレビ1台、冷蔵庫2台） ○使用料及び賃借料 166千円 ・ソフトウェア使用料（全小学校分） （学校図書室蔵書管理システム用）			○備品購入費 10,621千円 ・教材備品整備 4,382千円 ・学校図書整備 3,550千円 （うち、ふるさと応援寄附金充当額 200千円） ・理科・算数備品整備 2,689千円					
				成果・課題	令和2年度に改訂された新学習指導要領の下、必要な学習教材、教育備品及び学校図書の整備に努めるとともに、理科備品については、国の補助金を活用し計画的に整備することで、学習指導要領に沿った教育環境を整えることができた。				

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局	
	項	02 小学校費	19,704千円		19,800千円	96千円	99.5 %			
	目	02 小学校教育振興費					(参考)当初予算額	課	学校教育課	
	事業	03 小学校就学援助事業					22,744千円			
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実	主な財源	国補	就学援助費補助金（1/2）				54千円	
				国補	特別支援教育就学奨励費補助金（1/2）				738千円	
				諸収入	過年度就学援助費返還金				58千円	
目的		要保護者、準要保護者及び特別支援学級に入級する児童の保護者等の経済的負担を軽減する。								
主要な事務・事業の概要	○就学援助費		18,202千円		○特別支援教育就学奨励費					1,502千円
	・要保護認定者 12人（R2：13人）		108千円		・対象者 45人（R2：53人）					
	修学旅行費 82千円				学用品費等 378千円					
	医療費 26千円				給食費 1,001千円					
	・準要保護認定者 254人（R2：254人）		16,275千円		修学旅行費 123千円					
	学用品費等 4,270千円									
	給食費 10,806千円									
	修学旅行費 1,155千円									
	医療費 44千円									
	・準要保護認定者（被災児童） 1人（R2：2人）		83千円							
学用品費等 17千円										
給食費 40千円										
修学旅行費 26千円										
※申請者数 283人（R2：298人）										
認定者数 264人（R2：267人）										
・令和4年度新入学児童生徒学用品費入学前支給分		1,736千円								
支給者数 34人 ※令和4年2月21日支給										
				成果・課題	○就学に必要な学用品費、給食費、修学旅行費等を支援することで、対象児童の保護者の経済的負担を軽減することができた。 ○新入学児童生徒学用品費の入学前支給を行ったことで、新入学児童の保護者の経済的負担を軽減することができた。 ○新型コロナウイルス感染症の影響により家計が変化した世帯も含め、制度内容の周知を徹底するとともに、世帯状況や家計状態などを考慮し、公正かつ適正な援助に引き続き努める必要がある。					

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局																																			
	項	02 小学校費	60,282千円		60,928千円	646千円	98.9 %																																					
	目	02 小学校教育振興費					(参考)当初予算額	課	学校教育課																																			
	事業	04 小学校スクールサポーター等設置事業					72,396千円																																					
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実		府補 きょうと地域連携交付金（スクールサポーター等設置事業） 19,040千円																																								
目的	スクールサポーターを配置し、児童一人ひとりの課題・特性を的確に把握し、よりきめ細やかな指導に努めるとともに、円滑な授業を実施する。			主な財源																																								
主要な事務・事業の概要	○介護職員 27人（1日7時間、週5日勤務） ○講師 1人（1日7時間、週5日勤務） ○スクールサポーター28人（会計年度任用職員）任用経費 60,275千円 ・報酬 40,900千円 ・期末手当 8,419千円 ・共済費（社会保険料、労災保険料、雇用保険料） 8,754千円 ・費用弁償 2,202千円 ○事務費（校外学習引率に伴う旅費、入場料、参加負担金等） 7千円				配置一覧 <table><tr><td>学校名</td><td>介護</td><td>学校名</td><td>介護</td></tr><tr><td>峰山小</td><td>5人</td><td>橘小</td><td>1人</td></tr><tr><td>しんざん小※</td><td>2人</td><td>丹後小</td><td>1人</td></tr><tr><td>長岡小</td><td>1人</td><td>吉野小</td><td>1人</td></tr><tr><td>大宮第一小</td><td>4人</td><td>弥栄小</td><td>2人</td></tr><tr><td>大宮南小</td><td>2人</td><td>久美浜小</td><td>2人</td></tr><tr><td>網野北小</td><td>2人</td><td>高龍小</td><td>1人</td></tr><tr><td>網野南小</td><td>3人</td><td></td><td></td></tr><tr><td>島津小</td><td>1人</td><td>計</td><td>28人</td></tr></table> ※講師1人含む					学校名	介護	学校名	介護	峰山小	5人	橘小	1人	しんざん小※	2人	丹後小	1人	長岡小	1人	吉野小	1人	大宮第一小	4人	弥栄小	2人	大宮南小	2人	久美浜小	2人	網野北小	2人	高龍小	1人	網野南小	3人			島津小	1人	計
	学校名	介護	学校名	介護																																								
峰山小	5人	橘小	1人																																									
しんざん小※	2人	丹後小	1人																																									
長岡小	1人	吉野小	1人																																									
大宮第一小	4人	弥栄小	2人																																									
大宮南小	2人	久美浜小	2人																																									
網野北小	2人	高龍小	1人																																									
網野南小	3人																																											
島津小	1人	計	28人																																									
成果・課題	○必要に応じてスクールサポーターを配置することで、円滑な授業や効率的な学校運営を行うことができた。 ○児童一人ひとりの課題・特性を把握するとともに、必要とする学校を的確に見極め、効果的なスクールサポーターの配置に努めていく必要がある。																																											

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	02 小学校費	1,232千円		1,574千円	342千円	78.2 %		
	目	02 小学校教育振興費					(参考)当初予算額	課	学校教育課
	事業	05 小学校教育推進活動実践事業					1,853千円		
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実	主な財源	府補	KYO発見仕事・文化体験活動推進事業補助金（1/2）			166千円	
				府委	次世代型小・中・高連携外国語教育推進事業費委託金（10/10）			100千円	
目的		府の研究指定校を受けて教育活動に取り組むとともに、体験活動や総合的な学習活動の充実、基礎学力の向上や豊かな人間性の育成を図る。							
主要な事務・事業の概要	○校外学習や仕事・文化体験活動、総合的な学習活動（講師謝金、消耗品費等） 833千円 ・「KYO発見 仕事・文化体験事業」推進事業（府補助事業） 336千円 ・総合的な学習活動推進事業（市単独事業：全校で実施） 497千円 ○次世代型小・中・高連携外国語教育推進事業（消耗品費） 100千円 実施校：いさなご小学校・しんざん小学校 実施年度：令和2年度～4年度（3か年） ○教育研究事業負担金 146千円 京丹後市小学校教育研究会 小学校教育に関する研究を推進し、小学校教育の充実・発展と教職員の資質の向上を図るため、各教科の研究、研修会等を実施。				○修学旅行引率補助金 153千円 小学校17校 引率教員65人				
					成果・課題	○地域社会における仕事や文化の体験活動を通して、キャリア教育を推進するとともに、府の研究指定校を受けて教育活動に取り組むことで、児童の基礎学力の向上を図り、豊かな人間性を育む教育のより一層の推進につながった。 ○児童の基礎学力の向上や豊かな人間性を育てる教育を継続していくため、教職員の資質の向上や創意工夫による実践活動が必要である。			

予算科目目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局			
	項	03 中学校費	64,079千円		66,373千円	2,294千円	96.5 %					
	目	01 中学校管理費					(参考)当初予算額	課	学校教育課			
	事業	02 中学校管理運営事業					64,840千円					
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実	主な財源	諸収入 学校施設改修工事等電気水道利用負担金 11千円									
目的	適正な学校運営や教育環境の充実に取り組み、小学校における円滑な教育活動を実施する。											
主要な事務・事業の概要	○会計年度任用職員任用経費（作業員6人）		11,913千円		○委託料 288千円							
	・報酬		8,286千円		・理科薬品廃棄処分、害虫駆除委託料							
	・会計年度任用職員期末手当		1,748千円									
	・共済費（社会保険料、労災保険料、雇用保険料）		1,418千円		○使用料及び賃借料 505千円							
	・費用弁償		461千円		・テレビ受信料、ガス警報器使用料 88千円							
	○需用費		46,152千円		・コピー機借上料等 417千円							
	・消耗品費、燃料費（事務用品、用紙、灯油ほか）		14,035千円		○備品購入費 1,786千円							
	・食糧費、印刷製本費（来客用茶、卒業証書ほか）		217千円		・保健器具、特別支援学級備品、ストーブほか							
	・電気代		24,069千円									
	・水道料		7,688千円		○負担金、補助及び交付金 980千円							
	・修繕費（印刷機等の修繕）		143千円		・校長会、教頭会、教務主任会ほか各種団体負担金							
	○役務費		2,455千円		成果・課題	○教育環境の整備や維持管理など、生徒が安全に安心して学ぶことのできる学校づくりに取り組み、中学校における円滑な教育活動を実施することができた。 ○より充実した教育環境の整備と学校施設の効率的な管理運営に努めていく必要がある。						
	・電話代、郵送料		1,662千円									
	・手数料（ピアノ調律、ミシン調整ほか）		793千円									

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	03 中学校費	210,763千円		210,844千円	81千円	99.9 %		
	目	01 中学校管理費					(参考)当初予算額	課	教育総務課
	事業	03 中学校施設改修事業					236,800千円		
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実	主な財源	国補	学校施設環境改善交付金（1/3）				61,211千円
				市債	中学校施設整備事業債（過疎対策債）				145,400千円
目的	中学校施設における改修工事等を行い、生徒が安全に、安心して学校生活を送ることができる教育環境を整備する。								
主要な事務・事業の概要	○中学校特別教室空調化工事		205,782千円						
	（6中学校の音楽室、美術室、理科室 24室）								
	・工事監理委託料		4,675千円						
	・工事請負費		201,107千円						
	○大宮中学校コンピューター室エアコン更新工事		878千円						
	・工事請負費								
	○その他工事請負費		4,103千円						
	・大宮中学校体育館壁用スピーカー取替工事		418千円						
	・丹後中学校校長室エアコン改修工事		451千円						
	・久美浜中学校図書室エアコン更新工事		541千円						
	・弥栄中学校理科室洗い場シンク改修工事		693千円						
	・弥栄中学校トイレ改修及び手摺設置等工事		1,120千円						
	・網野中学校防球ネット取替工事		880千円						
				成果・課題	○生徒の安全・安心を最優先に施設整備を行うことにより、良好な教育環境を整えることができた。 ○「新しい生活様式」を踏まえ、健やかに学習、生活できる環境整備を進めるため、6中学校の特別教室空調化工事を実施することができた。 ○令和3年3月に策定した学校施設の長寿命化計画に基づき、計画的な改修を実施する必要がある。				

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	03 中学校費	4,921千円		10,000千円	5,079千円	49.2 %		
	目	01 中学校管理費					(参考)繰越予算額	課	教育総務課
	事業	03 中学校施設改修事業(繰越)					10,000千円		
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実	主な財源	市債 中学校施設整備事業債（合併特例債） 4,600千円					
目的	「新しい生活様式」を踏まえ、健やかな学びの保障を目指すため、新型コロナウイルス感染症対策として特別教室の空調化設計を行い、教育環境を整備する。								
主要な事務・事業の概要	○中学校特別教室空調化工事 6中学校の音楽室、美術室、理科室 24室の工事設計委託料		4,921千円						
					成果・課題	「新しい生活様式」を踏まえ、学校においても感染症対策と児童生徒が健やかに学習、生活できる環境整備を整えるため、6中学校の特別教室空調化に向けた設計業務を行うことができた。			

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局									
	項	03 中学校費	6,393千円		12,285千円	5,892千円	52.0 %											
	目	01 中学校管理費					(参考)当初予算額	課	学校教育課									
	事業	04 生徒教職員健康管理事業					7,115千円											
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実	主な財源	国補 学校保健特別対策事業費補助金（1/2） 344千円														
目的	生徒及び教職員の健康管理を行うとともに、設備の安全対策を講じることにより、生徒及び教職員の健康の保持増進と中学校の教育活動における安全・安心な環境を整える。																	
主要な事務・事業の概要	○需用費（保健衛生消耗品、修繕料、医薬材料） （うち感染症対策に要した消耗品 212千円）		812千円		○備品購入費 688千円 （うち感染症対策に要した備品分 688千円） CO ₂ モニター、サーモグラフィー ほか													
	○委託料		4,222千円		<table><tr><td rowspan="2">参考</td><td>繰越明許費を除いた最終予算額</td><td>6,435千円</td></tr><tr><td>実質的な予算執行率</td><td>99.3%</td></tr></table>					参考	繰越明許費を除いた最終予算額	6,435千円	実質的な予算執行率	99.3%				
	参考	繰越明許費を除いた最終予算額	6,435千円															
		実質的な予算執行率	99.3%															
	・生徒検診委託料		3,279千円															
	心臓検診委託料 1次 471人（1年、経過観察者）																	
	2次 106人																	
	眼科検診委託料 1,305人				■令和4年度への繰越事業 5,850千円													
	耳鼻科検診委託料 1,306人				中学校新型コロナウイルス感染症対策事業 令和5年3月完了予定													
	尿検査委託料（春）1次 1,316人 2次 121人																	
	尿検査委託料（秋）1次 1,311人 2次 78人																	
	血液検査委託料 443人（2年、経過観察者）																	
	脊柱側弯症検診委託料 10人（校医抽出者）																	
	・教職員健康診断委託料		792千円		<table><tr><td rowspan="4">成果・課題</td><td colspan="2">新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策や各種健康診断を実施するなどして、生徒及び教職員の健康を保持増進するとともに、学校の安全・安心な環境を整備することができた。</td></tr><tr><td colspan="2"></td></tr><tr><td colspan="2"></td></tr><tr><td colspan="2"></td></tr></table>					成果・課題	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策や各種健康診断を実施するなどして、生徒及び教職員の健康を保持増進するとともに、学校の安全・安心な環境を整備することができた。							
	成果・課題	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策や各種健康診断を実施するなどして、生徒及び教職員の健康を保持増進するとともに、学校の安全・安心な環境を整備することができた。																
・教職員結核検診委託料		151千円																
○使用料及び賃借料		671千円																
・自動車借上料（検診時医師送迎用）		19千円																
・機械器具借上料（AEDリース料・6校分）		652千円																

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	03 中学校費	5,594千円		5,650千円	56千円	99.0 %		
	目	01 中学校管理費					(参考)繰越予算額	課	学校教育課
	事業	04 生徒教職員健康管理事業（繰越）					5,650千円		
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源	国補 学校保健特別対策事業費補助金（1/2） 2,797千円				
目的	新型コロナウイルス感染症による感染リスクを最小限にしながら円滑に教育活動を継続するためにも、学校における感染症対策及び生徒の学びの保障に必要な体制整備を促進する。								
主要な事務・事業の概要	○需用費 832千円 ・消耗品費（手指消毒液、消毒用ビニール手袋ほか）								
	○備品購入費 4,762千円 ・備品購入費（空気清浄機、サーマルカメラ、CO ₂ モニターほか）								
					成果・課題	国の補助金を活用し、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、持続的に生徒の教育を受ける権利を保障していくため、学校における感染及び拡大のリスクに対処したうえで、学校運営を継続していくことができた。			

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局	
	項	03 中学校費	71,704千円		73,542千円	1,838千円	97.5 %			
	目	01 中学校管理費					(参考)当初予算額			
	事業	05 中学校スクールバス運行管理事業						96,076千円	課	学校教育課
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実	主な財源	国補	へき地生徒援助費補助金（1/2）				3,750千円		
目的	遠距離通学及び通学路の状況や冬期積雪時等、特に必要と認めた生徒の通学のためにスクールバスを運行する。		繰入金	ふるさと応援基金繰入金				55,000千円		
			市債	中学校スクールバス整備事業債（過疎対策債）				4,400千円		
主要な事務・事業の概要	○スクールバス運行管理委託料		63,215千円		○スクールバス購入に係る経費					8,243千円
	※バスの運転及び車両の維持管理を業者委託				（久美浜中学校スクールバス29人乗り 1台）					
	峰 山 中 学 校	1台			・ 備品購入費					8,197千円
	大 宮 中 学 校	（1台）			・ 手数料、保険料、自動車重量税等					46千円
	網 野 中 学 校	3台								
	丹 後 中 学 校	2台								
	弥 栄 中 学 校	1台								
	久 美 浜 中 学 校	10台								
	計	17台（18台）								
	※大宮中の車両は、大宮南小スクールバスの大宮中生徒対象分									
	○車両維持管理経費		110千円							
	・ 消耗品費、修繕料									
	○バス停・車庫維持管理経費		136千円		成果・課題	○スクールバスの運行により、中学校に通学する生徒の安全な通学手段を確保することができた。 ○老朽化したスクールバスを更新し、久美浜中学校に通学する生徒の安全な通学手段を確保することができた。 ○より安全なスクールバスの運行を行うため、引き続き運行管理委託業者への指導及びドライバーへの安全啓発等を行う必要がある。				
	・ 燃料費、火災保険料									

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局																						
	項	03 中学校費	195千円		196千円	1千円	99.4 %																								
	目	01 中学校管理費					(参考)当初予算額	課	学校教育課																						
	事業	06 中学校通学支援事業					194千円																								
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源																											
目的	自転車通学をする生徒を対象に、通学の状況に応じてヘルメット購入補助金を支給し、通学の安全確保と保護者の負担軽減を図る。																														
主要な事務・事業の概要	○通学用ヘルメット購入補助金（補助率1/2）		195千円																												
	<table><tr><td>学校名</td><td>対象生徒数</td><td>補助金額</td></tr><tr><td>峰 山 中 学 校</td><td>105人</td><td>94千円</td></tr><tr><td>大 宮 中 学 校</td><td>44人</td><td>40千円</td></tr><tr><td>網 野 中 学 校</td><td>19人</td><td>17千円</td></tr><tr><td>丹 後 中 学 校</td><td>11人</td><td>10千円</td></tr><tr><td>弥 栄 中 学 校</td><td>31人</td><td>28千円</td></tr><tr><td>久 美 浜 中 学 校</td><td>7人</td><td>6千円</td></tr><tr><td>計</td><td>217人</td><td>195千円</td></tr></table>		学校名	対象生徒数						補助金額	峰 山 中 学 校	105人	94千円	大 宮 中 学 校	44人	40千円	網 野 中 学 校	19人	17千円	丹 後 中 学 校	11人	10千円	弥 栄 中 学 校	31人	28千円	久 美 浜 中 学 校	7人	6千円	計	217人	195千円
	学校名	対象生徒数	補助金額																												
	峰 山 中 学 校	105人	94千円																												
	大 宮 中 学 校	44人	40千円																												
	網 野 中 学 校	19人	17千円																												
	丹 後 中 学 校	11人	10千円																												
	弥 栄 中 学 校	31人	28千円																												
	久 美 浜 中 学 校	7人	6千円																												
	計	217人	195千円																												

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	03 中学校費	9,548千円		9,611千円	63千円	99.3 %		
	目	01 中学校管理費					(参考)当初予算額	課	教育総務課
	事業	07 中学校施設管理事業					9,148千円		
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実	主な財源						
目的		学校施設の適切な維持管理により、良好な学習環境の確保を図る。							
主要な事務・事業の概要	○施設等修繕費 ・校舎、体育館、給食調理室、消防設備等の修繕		3,672千円	○施設修繕のための原材料、消耗品 202千円 ・グラウンド用山土、砂、体育館用ドレッシングオイル、修繕用木材等					
	○各種検査、手数料 ・貯水槽法定検査、倒木処理手数料		79千円						
	○建物火災保険料		548千円						
	○施設保守管理等委託料（9業務） ・デマンド監視業務、消防設備等保守点検、雑木伐採、電気設備保守管理、給食用リフト保守点検、学校警備、給食施設消毒等業務、貯水槽保守点検、グリストラップ処理		3,590千円						
	○施設用地借上料 ・弥栄中学校（給食棟、テニスコート用地 4,922㎡）		1,457千円	成果・課題	○法令等に基づいた定期点検を行うなど、施設の適切な維持管理により、学校運営を円滑に行うことができた。 ○老朽化した施設が多い中、良好な教育活動を行うため、安全性・機能性の確保に努め、今後も適切な維持管理を行う必要がある。				

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局	
	項	03 中学校費	20,735千円		21,134千円	399千円	98.1 %			
	目	02 中学校教育振興費					(参考)当初予算額	課	学校教育課	
	事業	01 中学校教育振興事業					28,147千円			
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源	府補 きょうと地域連携交付金（教育振興事業）				6,018千円	
目的	副読本や学習教材を有効に活用するとともに、地域の特性を取り入れた学習指導の実践や部活動、体育大会等への参加を支援し、学力等の向上を図る。									
主要な事務・事業の概要	○報償費			1,101千円	○使用料及び賃借料					129千円
	・入学記念品（441人分）			253千円	・著作物使用料					
	・卒業記念品（448人分）			848千円	○負担金、補助及び交付金					2,867千円
	○需用費			9,444千円	・体育大会等選手派遣費補助金					
・消耗品費			9,109千円							
学用品、理科実験費、学力検査、指導書（教職員用）ほか										
・印刷製本費			335千円							
社会科副読本「京丹後市の歴史」470部										
※令和4年度入学の新中学1年生用										
○役務費			30千円							
・楽器（ティンパニ、チューバほか）運搬手数料（峰山中学校）										
○委託料			7,164千円	成果・課題	学校内での学習活動に加え、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を講じながら、可能な限り、各学校の創意工夫や独自性を活かした様々な社会活動、体験活動などの校外学習を行うことで、生徒の基礎学力の向上や社会を生き抜く力を高めることができた。					
・スクールバス定期外運行運転委託料										

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	03 中学校費	8,418千円		8,585千円	167千円	98.0 %		
	目	02 中学校教育振興費					(参考)当初予算額	課	学校教育課
	事業	02 中学校教育振興備品整備事業							
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実	主な財源	国補	理科教育設備整備費等補助金（1/2）				390千円
目的 授業に必要な教材備品や学校図書を計画的に整備することで、生徒の主体的、意欲的な学習活動を充実させ、学力の向上を図るとともに豊かな心を育む。				府補	きょうと地域連携交付金（教育振興事業）				2,233千円
				寄附金	ふるさと応援寄附金				300千円
主要な事務・事業の概要	学習環境を整えるため、必要となる教材備品を購入した。図書については、充足率の向上に努めるよう整備を行うとともに、学校図書館蔵書管理システムを使用して管理を行った。 また、音楽備品については、適正な維持管理を行うとともに計画的に整備した。 ○需用費 321千円 ・修繕料（教材備品の修繕） ○役務費 335千円 ・楽器調整手数料（峰山、網野、弥栄中学校分） 330千円 ・家電リサイクル料（テレビ1台） 5千円 ○使用料及び賃借料 59千円 ・ソフトウェア使用料（全中学校分）（学校図書室蔵書管理システム用）			○備品購入費 7,703千円 ・教材備品 3,049千円 ・学校図書 1,678千円 （うち、ふるさと応援寄附金充当額 300千円） ・理科備品 962千円 ・音楽備品 2,014千円					
				成果・課題	令和3年度に改訂された新学習指導要領の下、必要な学習教材、教育備品及び学校図書の整備に努めるとともに、理科備品については、国の補助金を活用し計画的に整備することで、学習指導要領に沿った教育環境を整えることができた。				

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局	
	項	03 中学校費	20,348千円		20,510千円	162千円	99.2 %			
	目	02 中学校教育振興費					(参考)当初予算額	課	学校教育課	
	事業	03 中学校就学援助事業					23,135千円			
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実	主な財源	国補	就学援助費補助金（1/2）				90千円	
				国補	特別支援教育就学奨励費補助金（1/2）				809千円	
目的	要保護者、準要保護者及び特別支援学級に入級する生徒の保護者等の経済的負担を軽減する。									
主要な事務・事業の概要	○就学援助費				18,705千円	○特別支援教育就学奨励費				1,643千円
	・要保護認定者 8人（R2：11人）				181千円	・対象者 29人（R2：23人）				
	修学旅行費 181千円					学用品費等 621千円				
	・準要保護認定者 142人（R2：124人）				15,739千円	給食費 651千円				
	学用品費等 6,079千円					修学旅行費 371千円				
	給食費 6,661千円									
	修学旅行費 2,993千円									
	医療費 6千円									
	・準要保護認定者（被災児童） 1人（R2：0人）				145千円					
	学用品費等 100千円									
	給食費 45千円									
	※申請者数 166人（R2：152人）									
	認定者数 148人（R2：136人）									
	・令和4年度新入学児童生徒学用品費入学前支給分				2,640千円	成果・課題	○就学に必要な学用品費、給食費、修学旅行費等を支援することで、対象生徒の保護者の経済的負担を軽減することができた。 ○新入学児童生徒学用品費の入学前支給を行ったことで、新入学生徒の保護者の経済的負担を軽減することができた。 ○新型コロナウイルス感染症の影響で家計が変化した世帯も含め、制度内容の周知を徹底するとともに、世帯状況や家計状態などを考慮し、公正かつ適正な援助に引き続き努める必要がある。			
	支給者数 44人 ※令和4年2月21日支給									

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局																																										
	項	03 中学校費	38,027千円		45,691千円	7,664千円	83.2 %																																												
	目	02 中学校教育振興費					(参考)当初予算額	45,902千円																																											
	事業	04 中学校スクールサポーター等設置事業																																																	
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実	主な財源	府補助活動指導員配置促進事業補助金（2/3）	1,754千円																																														
				府補助きょうと地域連携交付金（スクールサポーター等設置事業）	10,991千円																																														
目的	スクールサポーターを配置し、生徒一人ひとりの課題・特性を的確に把握し、よりきめ細やかな指導に努めるとともに、円滑な授業を実施する。																																																		
主要な事業・事業の概要	○介護職員 3人（1日7時間、週5日勤務） ○講師（小中一貫コーディネーター） 6人（1日7時間45分、週4日勤務） ○心の教室相談員 3人（1日7時間、週5日勤務） ○部活動指導員 11人（1日1時間、年間250時間勤務） ○事務補助員 1人（1日6時間、週5日勤務） ○スクールサポーター24人（会計年度任用職員）任用経費 37,812千円 ・報酬 26,808千円 ・期末手当 4,804千円 ・共済費（社会保険料、労災保険料、雇用保険料） 4,797千円 ・費用弁償 1,403千円 ○事務費（市内移動に伴う旅費） 215千円			配置一覧																																															
				<table><tr><th>学校名</th><th>介護</th><th>小中一貫 コーディネーター</th><th>相談員</th><th>部活動 指導員</th><th>事務 補助員</th></tr><tr><td>峰山中学校</td><td>1人</td><td>1人</td><td rowspan="6">3人</td><td>2人</td><td>0人</td></tr><tr><td>大宮中学校</td><td>0人</td><td>1人</td><td>2人</td><td>0人</td></tr><tr><td>網野中学校</td><td>1人</td><td>1人</td><td>2人</td><td>0人</td></tr><tr><td>丹後中学校</td><td>0人</td><td>1人</td><td>1人</td><td>0人</td></tr><tr><td>弥栄中学校</td><td>1人</td><td>1人</td><td>2人</td><td>0人</td></tr><tr><td>久美浜中学校</td><td>0人</td><td>1人</td><td>2人</td><td>1人</td></tr><tr><td>計</td><td>3人</td><td>6人</td><td>3人</td><td>11人</td><td>1人</td></tr></table>						学校名	介護	小中一貫 コーディネーター	相談員	部活動 指導員	事務 補助員	峰山中学校	1人	1人	3人	2人	0人	大宮中学校	0人	1人	2人	0人	網野中学校	1人	1人	2人	0人	丹後中学校	0人	1人	1人	0人	弥栄中学校	1人	1人	2人	0人	久美浜中学校	0人	1人	2人	1人	計	3人	6人	3人	11人
学校名	介護	小中一貫 コーディネーター	相談員	部活動 指導員	事務 補助員																																														
峰山中学校	1人	1人	3人	2人	0人																																														
大宮中学校	0人	1人		2人	0人																																														
網野中学校	1人	1人		2人	0人																																														
丹後中学校	0人	1人		1人	0人																																														
弥栄中学校	1人	1人		2人	0人																																														
久美浜中学校	0人	1人		2人	1人																																														
計	3人	6人	3人	11人	1人																																														
成果・課題	○必要に応じてスクールサポーターを配置することで、円滑な授業や効率的な学校運営を行うことができた。 ○心の教室相談員を配置し、生徒が悩みを話せる環境を整えることで、生徒の不安を和らげることができた。また、部活動指導員を配置することで、部活動の質の向上と部活担当教諭の負担軽減を図ることができた。 ○生徒一人ひとりの課題・特性を把握するとともに、必要とする学校を的確に見極め、効果的なスクールサポーターの配置に努めていく必要がある。																																																		

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	03 中学校費	4,077千円		4,487千円	410千円	90.8 %		
	目	02 中学校教育振興費					(参考)当初予算額	課	学校教育課
	事業	05 中学校教育推進活動実践事業					1,380千円		
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実	主な財源	国補	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金				3,000千円
目的	府の研究指定校を受けて教育活動に取り組むとともに、体験活動や総合的な学習活動の充実、基礎学力の向上や豊かな人間性の育成を図る。			府補	KYO発見仕事・文化体験活動推進事業補助金（1/2）				121千円
				府委	未来の担い手育成プログラム研究事業費委託金（10/10）				200千円
				府委	次世代型小・中・高連携外国語教育推進事業費委託金（10/10）				50千円
主要な事務・事業の概要	○校外学習や仕事・文化体験活動、総合的な学習活動（消耗品費等） 376千円 ・「KYO発見 仕事・文化体験事業」推進事業（府補助事業：全校で実施） 247千円 ・総合的な学習活動推進事業（市単独事業：全校で実施） 129千円 ○和装教育推進事業（消耗品費） 18千円 ・着付け体験学習（全中学校） 受講生徒：452人 ○教育実践研究指定事業（講師謝金、消耗品費） 250千円 ・未来の担い手育成プログラム研究校 200千円 実施校：弥栄中学校 実施年度：令和元年度～3年度（3か年） ・次世代型小・中・高連携外国語教育推進事業 50千円 実施校：峰山中学校 実施年度：令和2年度～4年度（3か年）			○教育研究事業負担金 83千円 京丹後市中学校教育研究会 中学校教育に関する研究を推進し、教職員の資質の向上と中学校教育の推進を図るため、各教科の研究、研究集録・指導案の作成を実施。					
				○修学旅行引率補助金 95千円 中学校6校 引率教員50人					
				○修学旅行キャンセル料補助金 3,255千円 新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していた中学校2校の修学旅行を延期したことに伴う旅行代金のキャンセル料を補助（旅行代金の30%） 大宮中学校（生徒94人・教員10人）・久美浜中学校（生徒70人・教員7人）					
				成果・課題	○府の研究指定校を受けて教育活動に取り組むことで、生徒の基礎学力の向上を図り、コミュニケーション能力など、豊かな人間性を育む教育の推進につながった。 ○新型コロナウイルス感染症の影響で予定をしていた修学旅行をやむを得ず延期したことにより発生したキャンセル料について市の補助金で支援することで、保護者等の経済的な負担を軽減することができた。				

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局					
	項	04 社会教育費	474千円		520千円	46千円	91.1 %							
	目	01 社会教育総務費					(参考)当初予算額	課	生涯学習課					
	事業	02 社会教育委員設置事業					520千円							
基本計画		27 多様な学びを支援する社会教育の充実		主な財源										
目的	社会教育委員を設置し、社会教育行政全般について調査・研究及び審議し、答申及び建議を行うことによって、市民の声を反映した社会教育事業を推進する。													
主要な事務・事業の概要	社会教育委員会議を開催し、社会教育事業及び社会教育の諸課題について審議するとともに、委員の研修機会を提供した。													
	○委員報酬（委員：15人、報酬対象：12人）	345千円								＜会議の主な内容＞（3回開催） ・京丹後市文化芸術振興計画の策定について ・成人式の在り方について、社会体育施設の一部見直しについて ・令和4年度予算、社会教育推進の重点について ほか				
	○旅費（費用弁償、研修事業への参加旅費）	57千円								＜委員研修等＞ ・丹後地方社会教育委員連絡協議会理事・幹事会（3回：宮津市）				
	○需用費（研修事業資料代、燃料費）	5千円								・丹後地方社会教育委員連絡協議会総会・研修会（6月11日：与謝野町）				
	○役務費（有料道路通行料、駐車場使用料）	2千円								・京都府社会教育委員連絡協議会総会（6月25日：綾部市）				
	○負担金、補助及び交付金 ・京都府及び丹後地方社会教育委員連絡協議会分担金	65千円								・丹後地方社会教育委員連絡協議会・視察研修会（10月12日：豊岡市） ・京都府社会教育委員連絡協議会研究大会（11月2日：舞鶴市）				
				成果・課題	○社会教育事業及び社会教育の諸課題について審議し、市民の意向を反映した社会教育行政を進めることができた。 ○社会教育委員として、より自主的に活動できるように検討が必要。									

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	04 社会教育費	3,342千円		3,381千円	39千円	98.8 %		課
	目	01 社会教育総務費					(参考)当初予算額		
	事業	50 社会教育総務一般経費					3,321千円		
基本計画		27 多様な学びを支援する社会教育の充実		主な財源					
目的	会計年度任用職員を配置し社会教育事業を円滑に実施するほか、女性教育活動団体に対し活動支援の補助金を交付し生涯学習の振興を図る。								
主要な事務・事業の概要	○会計年度任用職員任用経費（社会教育指導員1人）		2,967千円						
	（配置先：生涯学習課）								
	・報酬		2,012千円						
	・職員手当		399千円						
	・共済費		392千円						
・旅費		164千円							
○事務費（消耗品費）		14千円							
○京丹後市連合婦人会活動補助金		361千円							
活動内容：講演会、各種ボランティア、管外研修 ほか									
				成果・課題	○社会教育指導員の配置により、各種社会教育事業を円滑に進めることができた。 ○市連合婦人会の活動を支援することにより、女性の自主的な学習活動、ボランティア活動等の推進に寄与した。				

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局				
	項	04 社会教育費	1,183千円		1,235千円	52千円	95.7 %						
	目	02 社会教育推進費					(参考)当初予算額	課	生涯学習課				
	事業	01 成人式開催事業					1,235千円						
基本計画		27 多様な学びを支援する社会教育の充実		主な財源									
目的	人生の節目としての式典を開催することによって、大人になったことの自覚を促すとともに、今後自らの人生を生き抜こうとする青年（新成人）を祝い激励する。												
主要な事務・事業の概要	＜開催概要＞ ・日 時 令和4年3月20日（日）※午前・午後の分散開催 ・会 場 京都府丹後文化会館 ・対 象 平成13年4月2日～平成14年4月1日生まれの市内在住者及び市内各中学校卒業生591人（男277人、女314人） ・出席者 459人（出席率77.6%） ・内 容 式 典：記念式典、二十歳の主張、恩師ビデオメッセージ上映等 記念品：記念写真、慶弔用ふくさ				○委託料（式典中継配信業務委託料）83千円								
					○使用料及び賃借料（会場借上料等）200千円								
					○報償費813千円								
					・報償物品（記念写真、慶弔用ふくさ）								
					○需用費（消耗品費、燃料費）33千円								
	○役務費（通信運搬費）54千円				成果・課題	○新型コロナウイルス感染予防のため、式典対象者を午前・午後に分けて分散実施するなど感染症対策を講じた。 ○当日式典の様子を、市公式YouTubeチャンネルでライブ配信し欠席者や保護者等が視聴できる機会を提供することができた。							

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	04 社会教育費	1,057千円		1,141千円	84千円	92.6 %		
	目	02 社会教育推進費					(参考)当初予算額		
	事業	02 青少年教育事業					1,531千円	課	生涯学習課
基本計画		27 多様な学びを支援する社会教育の充実							
目的	地域の青少年を守り育てる活動を支援し、将来を担う青少年の心豊かな人間の基礎づくりと健やかな成長を促す。		主な財源						
主要な事務・事業の概要	○京丹後市青少年健全育成会補助金 400千円 青少年の体験活動やあいさつ運動など、青少年の健全育成に資する取組を実施する組織に対し、補助金を交付								
	○少年少女児童合唱団補助金（3団体） 267千円 音楽を通して子どもたちの自分を表現する力や社会性、豊かな心を育む活動を行う団体に対し、補助金を交付								
主要な事務・事業の概要	○地域子ども教室補助金（3団体×130千円） 390千円 地域の中に子どもたちの居場所を確保するとともに、さまざまな体験活動、住民との交流活動等地域全体で子どもを守り育てる活動を行う教室に対し、補助金を交付 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、3団体は年間の活動を休止した。								
	成果・課題 ○新型コロナウイルス感染予防のため、計画通りの事業実施ができない団体もあったが、青少年の健やかな成長を促す体験活動や地域活動を支援することができた。 ○今後も市青少年健全育成会等関係団体と連携しながら、より効果的な青少年活動を推進する必要がある								

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局																																																													
	項	04 社会教育費	2,384千円		2,551千円	167千円	93.4 %																																																															
	目	02 社会教育推進費					(参考)当初予算額	課	生涯学習課																																																													
	事業	03 高齢者教育事業					3,236千円																																																															
基本計画		27 多様な学びを支援する社会教育の充実		主な財源	府補	きょうと地域連携交付金（高齢者教育事業）			800千円																																																													
					諸収入	社会教育事業等参加料			740千円																																																													
目的		高齢者大学の講座を市内全域で実施することによって、高齢者の社会参加と生きがいがいづくりに貢献するとともに、その知識や経験をいかした地域活動を推進する。																																																																				
主要な事務・事業の概要	■高齢者大学				○報償費（講師謝金）					1,599千円																																																												
	・受講者数 720人（令和4年3月31日現在）				○旅費					14千円																																																												
	・実施地域 各町域（各地域公民館主管）				○需用費（消耗品費、燃料費、食糧費）					174千円																																																												
	市全域（生涯学習課主管：百才活力学園）				○委託料（バス運転委託料）					443千円																																																												
	・事業の概要				○使用料及び賃借料（会場使用料、有料道路通行料等）					154千円																																																												
	【一般講座及び教養講座】																																																																					
	<table><tr><th rowspan="2">学園</th><th colspan="2">一般講座</th><th colspan="4">教養講座</th></tr><tr><th>回数</th><th>延べ参加者数</th><th>延べ回数</th><th>延べ参加者数</th><th>講座数</th><th>内 容</th></tr><tr><td>峰山</td><td>6回</td><td>146人</td><td>72回</td><td>737人</td><td>10講座</td><td>民謡、ちぎり絵、他</td></tr><tr><td>大宮</td><td>6回</td><td>169人</td><td>40回</td><td>550人</td><td>7講座</td><td>剪定、寄せ植え、他</td></tr><tr><td>網野</td><td>6回</td><td>353人</td><td>108回</td><td>1,533人</td><td>11講座</td><td>グラウンドゴルフ、唱歌、他</td></tr><tr><td>丹後</td><td>4回</td><td>129人</td><td>33回</td><td>361人</td><td>9講座</td><td>生け花、そば打ち、他</td></tr><tr><td>弥栄</td><td>5回</td><td>115人</td><td>51回</td><td>530人</td><td>8講座</td><td>絵手紙、スマホ、他</td></tr><tr><td>久美浜</td><td>5回</td><td>156人</td><td>43回</td><td>474人</td><td>7講座</td><td>ピアノ、古典文学、他</td></tr><tr><td>合計</td><td>32回</td><td>1,068人</td><td>347回</td><td>4,185人</td><td>52講座</td><td></td></tr></table>				学園	一般講座		教養講座				回数	延べ参加者数	延べ回数	延べ参加者数	講座数	内 容	峰山	6回	146人	72回	737人	10講座	民謡、ちぎり絵、他	大宮	6回	169人	40回	550人	7講座	剪定、寄せ植え、他	網野	6回	353人	108回	1,533人	11講座	グラウンドゴルフ、唱歌、他	丹後	4回	129人	33回	361人	9講座	生け花、そば打ち、他	弥栄	5回	115人	51回	530人	8講座	絵手紙、スマホ、他	久美浜	5回	156人	43回	474人	7講座	ピアノ、古典文学、他	合計	32回	1,068人	347回	4,185人	52講座					
	学園	一般講座		教養講座																																																																		
		回数	延べ参加者数	延べ回数	延べ参加者数	講座数	内 容																																																															
	峰山	6回	146人	72回	737人	10講座	民謡、ちぎり絵、他																																																															
大宮	6回	169人	40回	550人	7講座	剪定、寄せ植え、他																																																																
網野	6回	353人	108回	1,533人	11講座	グラウンドゴルフ、唱歌、他																																																																
丹後	4回	129人	33回	361人	9講座	生け花、そば打ち、他																																																																
弥栄	5回	115人	51回	530人	8講座	絵手紙、スマホ、他																																																																
久美浜	5回	156人	43回	474人	7講座	ピアノ、古典文学、他																																																																
合計	32回	1,068人	347回	4,185人	52講座																																																																	
※合同講座を含む				成果・課題																																																																		
【百才活力学園】 10講座 延べ参加者数120人																																																																						

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局																	
	項	04 社会教育費	1,026千円		1,066千円	40千円	96.2 %																			
	目	02 社会教育推進費					(参考)当初予算額																			
	事業	04 家庭教育事業						1,750千円																		
基本計画		27 多様な学びを支援する社会教育の充実		府補	家庭教育支援基盤形成事業補助金（2/3）				506千円																	
目的	発達段階に応じた学習及び交流機会を提供するとともに、PTA活動を支援することによって、全ての教育の出発点であり、子どもの成長の基礎となる家庭教育を推進する。				主な財源																					
主要な事務・事業の概要	乳児期から就学前、思春期の各発達段階に応じた学習機会の提供と家庭教育支援チームによる子育て支援活動を実施したほか、PTA活動の支援を行った。																									
	○家庭教育支援チーム事業（ファシリテーター謝金等）			563千円		○子育て講座（講師謝金等）				205千円																
	子育て経験者や専門的な知識・経験を持つサポーターで構成する「家庭教育支援チーム」を各地域公民館で組織し、地域課題に即した子育て支援活動を行った。																									
	※家庭教育支援チーム：計6チーム、子育てサポーター：計49人																									
	<table><tr><th>事業</th><th>回数</th><th>延べ参加者数</th></tr><tr><td>子育て交流会</td><td>3回</td><td>42人</td></tr><tr><td>「手紙で結ぶ家族の絆」事業</td><td>14回</td><td>429人</td></tr><tr><td>子育て広場</td><td>6回</td><td>223人</td></tr><tr><td>高校生と赤ちゃんのふれあい交流</td><td>5回</td><td>119人</td></tr><tr><td>合 計</td><td>28回</td><td>813人</td></tr></table>			事業	回数	延べ参加者数	子育て交流会	3回	42人	「手紙で結ぶ家族の絆」事業	14回	429人	子育て広場	6回	223人	高校生と赤ちゃんのふれあい交流	5回	119人	合 計	28回	813人					
事業	回数	延べ参加者数																								
子育て交流会	3回	42人																								
「手紙で結ぶ家族の絆」事業	14回	429人																								
子育て広場	6回	223人																								
高校生と赤ちゃんのふれあい交流	5回	119人																								
合 計	28回	813人																								
※広報紙発行：1回																										
成果・課題	○子どもの発達段階に応じた子育てに関する学習機会を提供し、子どもとのコミュニケーションの大切さや、生活習慣を身に付けさせるための家庭の役割の重要性などについて啓発することができた。 ○課題を関係機関と共有し、より効果的な学習会等の実施を進める必要がある。																									

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	04 社会教育費	35,645千円		35,858千円	213千円	99.4 %		
	目	02 社会教育推進費					(参考)当初予算額	生涯学習課	
	事業	05 文化芸術事業							34,976千円
基本計画		28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進		府補	きょうと地域連携交付金（文化芸術事業）				2,256千円
目的	市民の豊かな心を育み、生きがいのある生活を送ることができるよう文化芸術活動を支援し、ゆとりと潤いのある社会づくりを推進する。 また、文化芸術振興審議会を設置し、文化芸術振興計画の策定に向け、調査・審議する。				主な財源				
主要な事務・事業の概要	文化芸術活動団体への支援を行い、市民が優れた文化芸術に触れる機会を提供し市民による文化芸術活動の充実に努めた。 ○京都：Re-Search実行委員会負担金 2,000千円 R3.10.1～11.7 網野町浅茂川地区、三津漁港でアーティストの作品等展示 ○京都府丹後文化事業団運営補助金 27,000千円 コロナ禍の中、多くの事業・公演が中止・延期となったが、映画上映やコンサート、各種公演の実施など、丹後地域における豊かな文化の振興及び普及事業を支援した。 映画上映3回（計760人）、コンサート2回（計1,137人）などを開催 ○京丹後市文化協会活動費補助金 3,500千円 加盟団体：135団体、1,825人 コロナ禍で開催できなかった「総合文化祭」の代替事業として実施された「小さな発表会配信事業（所属サークルの発表を撮影し、ケーブルテレビで放映）」や「総合作品展」開催のほか、支部事業など市民の芸術鑑賞機会や自主的な活動を支援した。 R3.12.4～12.5 総合作品展開催（網野体育センター・来場者数355人） R3.12.4～12.5 小さな発表会配信事業実施（参加16団体、R4.2～放映） ○京丹後文化のまちづくり推進事業補助金 30千円 閉校になった学校の校歌保存事業（旧吉原小、旧五箇小）や人形劇公演、子育て講演会の開催を支援			○丹後文化芸術祭実行委員会補助金 1,300千円 舞台2事業、展示2事業、セミナー2事業を支援 ○小町ろまん全国短歌大会開催補助金 7千円 募集期間：R3.7.1～9.10 大会開催：R3.11.27 ○田中彩子京丹後公演実行委員会補助金 1,000千円 R4.2.6 田中彩子ソプラノリサイタル 丹後文化会館 [文化芸術振興計画策定検討に関する経費] ○文化振興に関する意向アンケートの実施 399千円 市民の文化芸術活動や文化芸術に関する意向を把握するために、アンケート調査を実施。回答：市民714人、高校生338人、団体116団体 ○京丹後市文化芸術振興審議会 409千円 ・文化芸術振興審議会委員報酬、アドバイザー謝金ほか 委員13人、アドバイザー3人、審議会開催回数：4回					
	成果・課題				○幅広い世代が優れた文化を鑑賞できる機会の提供及び地域文化の普及・振興等を推進し、文化芸術活動の充実に図ることができた。 ○市民ニーズを的確に把握した事業の推進、文化協会等各団体の更なる自立運営に向けて支援していく必要がある。 ○文化芸術に関する施策を総合的、計画的に推進するため、京丹後市文化芸術振興計画策定に向け、文化芸術振興審議会を設置し、審議を進めている。				

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	04 社会教育費	181千円		249千円	68千円	72.6 %		
	目	02 社会教育推進費					(参考)当初予算額	課	生涯学習課
	事業	06 人権教育事業					249千円		
基本計画		22 人権を尊重するまちづくり		主な財源	国補	障害者地域生活支援事業費補助金（1/2）			6千円
目的		あらゆる人権問題について正しく理解し、認識を深めるための学習機会を提供するなど、人権教育を推進することにより、人権が尊重され、誰もが自分らしく生きることができる社会の実現を目指す。			府補	障害者地域生活支援事業費補助金（1/4）			3千円
					府補	人権問題啓発事業費補助金			72千円
主要な事務・事業の概要	<人権学習> ・人権教育研究京丹後市大会（R3.8.18） 参加者：329人 講演「人権・同和問題の解決をめざして…」 講師 関西外国語大学 明石一朗 教授 （会場：京都府丹後文化会館） ・夏休み子ども映画会（R3.8.8） 参加者：300人（3会場） 映画「すみっコぐらし とびだす絵本とひみつのコ」の上映 （会場：丹後地域公民館、アグリセンター大宮、アミティ丹後） ○講師謝金 50千円 ○通信運搬費（Wi-Fi使用料） 2千円 ○使用料（京都府丹後文化会館） 90千円 ○需用費（消耗品費） 5千円 ○その他経費（消耗品費） 13千円				<障害者交流研修会> ・視覚障害者交流研修会（R3.6.22） 参加者数15人 講演「丹後の古代史」、グラウンドゴルフ体験 （会場：大宮ふれあい工房、ふれあいスポーツ広場） ・聴覚障害者交流研修会（R3.10.1） 参加者数15人 ユニボッチャ体験、講演「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会について」 （会場：京丹後市役所大宮庁舎） ○委託料（マイクロバス運転委託料） 16千円 ○需用費（燃料費、消耗品費） 5千円				
					成果・課題	○人権教育研究京丹後市大会、障害者交流研修会や夏休み子ども映画会を開催することにより、障害者の社会参加の促進や、人権学習の機会を提供することができた。 ○人権を尊重する心を身につけ、日常生活の中で無意識に実践できるよう、啓発活動だけでなく学習活動を充実させることが必要である。			

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局	
	項	04 社会教育費	433千円		434千円	1千円	99.7 %		課	子ども未来課
	目	02 社会教育推進費					(参考)当初予算額			
	事業	07 放課後子ども教室事業					780千円			
基本計画		27 多様な学びを支援する社会教育の充実		府補	京のまなび教室推進事業補助金（2/3）289千円					
目的	放課後に小学校の余裕教室を子どもたちの安全・安心な居場所として活用し、地域住民の参画により、子どもたちが心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。				主な財源					
主要な事務・事業の概要	○委託料 放課後子ども教室運営委託料（2か所）			433千円						
	※事業の概要									
		網野北小学校区放課後子ども教室	網野南小学校区放課後子ども教室							
	実施場所	網野北小学校施設内		網野南小学校施設内						
	委託先	放課後子ども教室実行委員会		放課後子ども教室実行委員会						
	実登録人数	42人		76人						
	参加児童数	延べ615人（1回平均36人）		延べ1,064人（1回平均63人）						
	支援員の数	延べ113人（1回平均7人）		延べ168人（1回平均10人）						
	実施日	令和3年4月～令和4年3月（授業のある水曜日の放課後）								
	活動内容	自主学習、体験活動、集団遊び、自由遊び、スポーツなど								
※実登録人数は令和4年3月末時点の人数										
※新型コロナウイルス感染症対策のため、両教室とも当初36回の実施回数を17回とした。										
					成果・課題	○子どもたちの安全・安心な活動拠点（居場所）として放課後子ども教室を開設し、地域住民の協力を得て子どもたちに世代間交流の機会を提供するとともに、さまざまな体験活動を実施することができた。 ○子ども教室の運営は、地域住民の協力を得て実施することになっており、スタッフの確保が課題である。				

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局																																				
	項	04 社会教育費	36,281千円		36,360千円	79千円	99.7 %																																						
	目	03 公民館費					(参考)当初予算額	課	生涯学習課																																				
	事業	01 中央公民館管理運営事業								36,789千円																																			
基本計画		27 多様な学びを支援する社会教育の充実		主な財源	市債 過疎地域持続的発展特別事業債（過疎対策債） 28,900千円																																								
目的		地域住民の学習及び交流活動の拠点として設置されている地区（自治）公民館活動を支援し、地域の活性化を推進する。																																											
主要な事務・事業の概要	○地区公民館活動交付金 34,228千円				○公民館職員研修会 6千円																																								
	<table><tr><td>区 分</td><td>地区公民館数</td><td>交付金額</td></tr><tr><td>峰山町公民館連絡協議会</td><td>8館</td><td>7,684千円</td></tr><tr><td>大宮町公民館連絡協議会</td><td>15館</td><td>6,005千円</td></tr><tr><td>網野町公民館連絡協議会</td><td>12館</td><td>7,751千円</td></tr><tr><td>丹後町公民館連絡協議会</td><td>4館</td><td>3,343千円</td></tr><tr><td>弥栄町公民館連絡協議会</td><td>5館</td><td>3,226千円</td></tr><tr><td>久美浜町公民館連絡協議会</td><td>8館</td><td>6,219千円</td></tr><tr><td>合 計</td><td>52館</td><td>34,228千円</td></tr></table>				区 分	地区公民館数	交付金額	峰山町公民館連絡協議会	8館	7,684千円	大宮町公民館連絡協議会	15館	6,005千円	網野町公民館連絡協議会	12館	7,751千円	丹後町公民館連絡協議会	4館	3,343千円	弥栄町公民館連絡協議会	5館	3,226千円	久美浜町公民館連絡協議会	8館	6,219千円	合 計	52館	34,228千円	<table><tr><td>講師謝金</td><td>6千円</td></tr><tr><td>日 時</td><td>令和3年11月17日</td></tr><tr><td>会 場</td><td>アグリセンター大宮</td></tr><tr><td>演題1</td><td>新たな地域コミュニティ推進について （講師：市地域コミュニティ推進課職員）</td></tr><tr><td>演題2</td><td>前例・手本・答えのない時代の地域運営 （講師：久美浜町佐濃自治会 森本賢一郎会長）</td></tr><tr><td>参加者数</td><td>91人</td></tr></table>					講師謝金	6千円	日 時	令和3年11月17日	会 場	アグリセンター大宮	演題1	新たな地域コミュニティ推進について （講師：市地域コミュニティ推進課職員）	演題2	前例・手本・答えのない時代の地域運営 （講師：久美浜町佐濃自治会 森本賢一郎会長）	参加者数	91人
	区 分	地区公民館数	交付金額																																										
	峰山町公民館連絡協議会	8館	7,684千円																																										
	大宮町公民館連絡協議会	15館	6,005千円																																										
	網野町公民館連絡協議会	12館	7,751千円																																										
	丹後町公民館連絡協議会	4館	3,343千円																																										
	弥栄町公民館連絡協議会	5館	3,226千円																																										
	久美浜町公民館連絡協議会	8館	6,219千円																																										
	合 計	52館	34,228千円																																										
講師謝金	6千円																																												
日 時	令和3年11月17日																																												
会 場	アグリセンター大宮																																												
演題1	新たな地域コミュニティ推進について （講師：市地域コミュニティ推進課職員）																																												
演題2	前例・手本・答えのない時代の地域運営 （講師：久美浜町佐濃自治会 森本賢一郎会長）																																												
参加者数	91人																																												
積算内訳（調整有）																																													
地区割 20,000円×225地区																																													
世帯数割 1,400円×20,469世帯 （世帯数：平成27年国勢調査）																																													
町均等割 250,000円×6町																																													
○その他経費（役務費） 2,047千円				成果・課題																																									
・公民館総合（傷害）保険料（52地区館分） 2,038千円																																													
・切手代 9千円																																													
				○地区公民館活動の支援を通じて、住民のコミュニティ活動の推進を図るとともに、学習及び交流機会の提供など、地区公民館が地域づくりの拠点としての機能を発揮することに寄与した。 ○持続可能な地域づくりのため、公民館体制や新たな地域コミュニティづくりについて、関係機関と連携し推進する必要がある。																																									

予算科目	款	10 教育費			本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	教育委員会事務局			
	項	04 社会教育費			21,783千円		22,134千円		351千円		98.4 %			課	生涯学習課		
	目	03 公民館費									(参考)当初予算額						
	事業	02 地域公民館管理運営事業									23,794千円						
基本計画		27 多様な学びを支援する社会教育の充実			主な財源	使用料	峰山地域公民館使用料						250千円				
目的	地域の学習及びコミュニティ活動の拠点として設置している地域公民館の管理運営を行い、地域住民の身近な学習・交流機会の確保と充実を図る。また、社会教育活動、生涯学習等を行う拠点として、峰山、丹後、弥栄地域公民館の管理運営を行う。			使用料		丹後地域公民館使用料						26千円					
				使用料		弥栄地域公民館使用料						6千円					
				諸収入		社会教育事業等参加料						51千円					
				諸収入		峰山地域公民館光熱水費負担金						246千円					
					諸収入	丹後地域公民館光熱水費負担金						56千円					
主要な事務・事業の概要	＜地域公民館利用状況＞													○講座・教室等の実施、地域公民館事業の広報		753千円	
	区 分		利用回数		延べ利用者数		施設等維持管理経費		・報償費（講師謝金）						130千円		
	峰山地域公民館		1,809回		29,189人		9,005千円		・需用費（消耗品費、燃料費）						574千円		
	丹後地域公民館		264回		4,675人		5,585千円		・委託料（バス運転委託料）						49千円		
	弥栄地域公民館		708回		24,668人		6,348千円		○地域公民館施設等維持管理経費						21,030千円		
									・需用費（消耗品費、燃料費、印刷製本費、光熱水費）						9,194千円		
									・役務費（通信運搬費、ゴミ処理手数料）						350千円		
									・委託料						8,630千円		
									（宿日直、施設清掃、電気保安全管理、丹後地域公民館施設管理ほか）								
									・使用料及び賃借料（テレビ受信料、土地借上料）						285千円		
									・修繕費（峰山地域公民館キュービクル発錆再塗装修繕ほか）						2,568千円		
									・その他（施設使用料返還金）						3千円		
		＜主な公民館事業＞													成果・課題	○新型コロナウイルス感染予防のため、一部施設の使用制限を行ったり、計画どおり事業を実施することができなかったが、可能な限り地域住民に幅広い学習機会を提供することで、社会教育活動を推進することができた。 ○引き続き、地域住民のニーズ把握に努めるとともに、時代や地域課題に即した事業展開を図る必要がある。 ○広報の工夫・充実に努めるなど、引き続き参加者の増加を図る必要がある。	
	事業種別	事業・講座名			回数	延べ参加者数		決算額									
成人教育		花とグリーン講座（峰山・大宮・弥栄）			3回	54人		18千円									
		丹後ちりめん講座（峰山・大宮）			3回	33人		12千円									
		ゆったりヨーガ講座（大宮）			5回	44人		12千円									
		ジオ・山野草ウォーク（網野・丹後・久美浜）			3回	48人		6千円									
		ふるさと探検 チャレンジウォーク（丹後）			1回	17人		6千円									
		バードウォッチング入門講座（丹後）			2回	13人		12千円									
青少年教育		Twinぼーるエクササイズ教室（久美浜）			3回	28人		18千円									
		網野町ウイークエンド事業（網野）			5回	128人		6千円									
		丹後町少年少女意見発表大会（丹後）			1回	160人		20千円									

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局																					
	項	04 社会教育費	5,526千円		5,692千円	166千円	97.0 %																							
	目	03 公民館費					(参考)当初予算額	課	生涯学習課																					
	事業	03 地区公民館管理運営事業					5,692千円																							
基本計画		27 多様な学びを支援する社会教育の充実		主な財源	諸収入 網野、新庄公民館光熱水費負担金 213千円																									
目的		地域住民の身近な生涯学習・地域活動の拠点である、網野地域の地区公民館を維持・管理する。																												
主要な事務・事業の概要	○地区公民館施設管理費				＜利用状況＞																									
	・地区公民館施設管理委託料（1館分） 480千円				・網野地区公民館																									
	・地区公民館火災保険料等補助金（7館分） 1,830千円				<table><tr><td>区 分</td><td>利用回数</td><td>延べ利用者数</td></tr><tr><td>大広間</td><td>45回</td><td>1,073人</td></tr><tr><td>大会議室・小会議室</td><td>61回</td><td>873人</td></tr><tr><td>公民館会議室</td><td>1回</td><td>6人</td></tr><tr><td>和 室</td><td>22回</td><td>132人</td></tr><tr><td>調理室</td><td>0回</td><td>0人</td></tr><tr><td>合 計</td><td>129回</td><td>2,084人</td></tr></table>					区 分	利用回数	延べ利用者数	大広間	45回	1,073人	大会議室・小会議室	61回	873人	公民館会議室	1回	6人	和 室	22回	132人	調理室	0回	0人	合 計	129回	2,084人
	区 分	利用回数	延べ利用者数																											
	大広間	45回	1,073人																											
	大会議室・小会議室	61回	873人																											
	公民館会議室	1回	6人																											
	和 室	22回	132人																											
	調理室	0回	0人																											
	合 計	129回	2,084人																											
・新庄地区公民館屋根工事委託料 1,048千円																														
・その他地区公民館管理経費（9館分） 2,168千円																														
報償費（地区公民館管理謝金） 936千円																														
需用費（消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕費） 1,116千円																														
役務費（通信運搬費、し尿汲み取り手数料、火災保険料 48千円																														
委託料（消防設備等保守点検委託料、防火対象物定期点 26千円																														
報告業務委託料）																														
使用料及び賃借料（ガス警報器使用料） 3千円																														
備品購入費（消火器6本） 39千円																														
				成果・課題	○適正に維持管理を行うことにより、施設の機能、利用者の利便性を維持確保することができた。 ○網野地域には地区集会施設の一部を公民館施設として占用しているものがある。この施設管理費について負担割合を設定し、補助金などにより支出しているが、他地域の地区公民館の現状を踏まえ、市負担の軽減・廃止に向けて調整を図る必要がある。																									

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局					
	項	04 社会教育費	32,500千円		33,038千円	538千円	98.3 %							
	目	03 公民館費					(参考)当初予算額	課	生涯学習課					
	事業	50 公民館一般経費					33,968千円							
基本計画		27 多様な学びを支援する社会教育の充実		主な財源										
目的	公民館の事務事業に必要な公用車などを適切に管理するほか、会計年度任用職員を各地域公民館に配置し、公民館の円滑な運営を図る。													
主要な事務・事業の概要	○会計年度任用職員任用経費（2人×6館）				31,575千円		○京都府公民館連絡協議会負担金				33千円			
	・報酬				22,505千円		○AED借上料（峰山・丹後地域公民館）				63千円			
	・期末手当				4,489千円		○その他経費（消耗品費、食糧費）				34千円			
	・共済費				4,247千円									
	・費用弁償				334千円									
	○公民館職員研修会、担当者会議への参加				15千円									
	・旅費				5千円									
	・有料道路通行料、駐車場使用料				10千円									
	○地域公民館配置公用車の維持管理経費（5台）				780千円									
	・燃料費				245千円		成果・課題				○令和2年度から地域公民館の職員体制を変え、正職員である地域公民館長1人と会計年度任用職員2人とし、組織体制を強化した。			
	・修繕料				365千円						○公民館職員の資質向上と地域公民館間の情報共有の機会を確保する必要がある。			
	・登録手数料、損害保険料				143千円									
	・自動車重量税				27千円									

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	04 社会教育費	71,294千円		71,635千円	341千円	99.5 %		
	目	04 図書館費					(参考)当初予算額	課	生涯学習課
	事業	01 図書館管理運営事業					75,303千円		
基本計画		27 多様な学びを支援する社会教育の充実		主な財源	国補 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 7,500千円				
目的		生涯学習の拠点施設として、市民の読書、調査研究等の要求に応えるよう施設整備を進めるとともに、様々な資料や情報を収集、整理、保存し提供するための図書館・図書室運営を行う。			府補 地方創生推進交付金 182千円				
					寄附金 ふるさと応援寄附金 800千円				
主要な事務・事業の概要	○図書館協議会委員報酬・費用弁償（委員10人、会議2回、視察1回）		94千円		＜利用状況等＞				
	○市立図書館（2館）図書室（4室）の管理運営費		70,837千円						
	・会計年度任用職員任用経費（通常業務19人、代行職員）		46,700千円						
	・図書購入費（AV資料含む）		8,780千円						
	・雑誌及び新聞購入費		1,298千円						
	・ブックスタート事業経費		127千円						
	・Wi-Fiルータ通信料		50千円						
	・図書システム利用料、保守委託料		2,876千円						
	・光熱水費（あみの図書館）		1,629千円						
	・備品購入費（図書除菌機6台）		7,843千円						
	・その他（図書装備用品等）		1,534千円						
	○あみの図書館「野村克也図書コーナー設置」（2月2日～）		363千円						
	・書架、サイン等備品購入費		264千円						
	・コーナー用図書購入費		99千円						
	＜主なサービス内容＞				成果・課題	○市内全域にサービスを行い読書推進を図ることができた。 ○コロナ禍の中、出来る範囲での活動を実施し、昨年度に比べ利用が増加した。 ○ブックスタート事業の再開、Wi-Fi接続サービスの開始、図書除菌機の設置、雑誌スポンサー制度の導入、野村克也図書コーナーの開設等、新たな取組を実施することができた。 ○未利用者等への図書館活動の周知、サービスの充実に努めるなどし、利用拡大を図る必要がある。			
・資料（図書・AV資料・雑誌新聞）の収集、整理、保存、貸出など									
・閲覧、学習スペースの提供（Wi-Fi接続サービス）・図書館相互協力									
・国会図書館デジタル化資料送信サービス・おはなし会等の行事開催・広報活動									
・学校等との連携による読書推進事業・読み聞かせボランティアの活用など									

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局	
	項	04 社会教育費	29,484千円		29,866千円	382千円	98.7 %		課	文化財保護課
	目	05 資料館費								
	事業	01 郷土資料館管理運営事業								
基本計画	28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進		主な財源	使用料	郷土資料館入館料				18千円	
目的	民俗資料等の収蔵、調査並びに公開施設である郷土資料館の維持管理を行い、郷土の歴史や文化遺産に対する住民の関心を高める。			市債	旧社会教育施設解体事業債（公共施設等適正管理推進債）				23,700千円	
主要な事務・事業の概要	豊富に残る市所蔵の民俗資料、古文書・典籍・書籍等の適切な保管・公開を行った。また旧網野郷土資料館解体工事を実施した。			【企画展示】						
				期 間		タイトル		入館者数		
	○会計年度任用職員任用経費（資料館業務員1人） ・報酬、費用弁償、労災保険料			730千円	R3.7.24～R3.8.31		企画展示「昔のおもちゃ」		147人	
	○維持管理費			2,056千円	【入館者数・推移】					
	・維持管理経費（燃料、光熱水費、修繕、通信費等）			1,452千円	H30	R元	R2	R3		
	・施設保守管理経費（貯水槽、浄化槽、消防設備）			160千円	1,684人	822人	75人	215人		
	・施設警備委託料			83千円	※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、4/25～5/31及び8/27～9/17を臨時休館としたこと、市内小学校利用がなかったことから入館者数は大きく回復しなかった。					
	・使用賃借料（コピー機借上料、テレビ受信料）			161千円						
	・その他事務経費（消耗品、ごみ処理手数料）			200千円						
	○郷土資料館展示室エアコン取付工事			86千円	成果・課題	○民俗資料・典籍等の公開並びに小学生を対象とした夏休み特別企画「昔のおもちゃ」展を実施するなど、文化財の普及啓発を図った。 ○今後も安全・安心な来館者の受入に努めるとともに、常設展示の配置や展示資料の解説内容などを工夫、改善していくことが課題である。				
○旧網野郷土資料館解体工事			26,612千円							
・工事請負費（施設除却）			25,439千円							
・工事監理委託料			1,100千円							
・処理手数料（廃消火器、鉄屑等）			73千円							

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局																
	項	04 社会教育費	11,412千円		11,542千円	130千円	98.8 %		課	文化財保護課															
	目	05 資料館費					(参考)当初予算額																		
	事業	02 古代の里資料館管理運営事業					11,541千円																		
基本計画		28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進	主な財源	使用料	古代の里資料館入館料				340千円																
目的		考古資料・美術工芸品等の収蔵・調査・公開施設である丹後古代の里資料館の維持管理を行い、文化にふれあい、歴史を学ぶ機会を提供するとともに、郷土の文化遺産に関しての住民の関心を高める。		諸収入	古代の里資料館陶芸教室実習料				93千円																
				諸収入	古代の里資料館書籍販売代金				129千円																
主要な事務・事業の概要	考古資料・美術工芸品を適切に保管・公開し、文化財の保護、普及啓発を図った。			【企画展示】 <table><tr><td>期 間</td><td colspan="2">タイトル</td><td>入館者数</td></tr><tr><td>R3.4.24～R3.8.1</td><td colspan="2">春季企画展示「地域の中の湯舟坂2号墳」</td><td>437人</td></tr><tr><td>R3.10.2～R3.12.26</td><td colspan="2">秋季企画展示「永浜宇平の生涯」</td><td>555人</td></tr><tr><td>R34.2.19～R4.4.10</td><td colspan="2">企画展示「丹後震災の記憶」</td><td>282人</td></tr></table>						期 間	タイトル		入館者数	R3.4.24～R3.8.1	春季企画展示「地域の中の湯舟坂2号墳」		437人	R3.10.2～R3.12.26	秋季企画展示「永浜宇平の生涯」		555人	R34.2.19～R4.4.10	企画展示「丹後震災の記憶」		282人
	期 間	タイトル								入館者数															
	R3.4.24～R3.8.1	春季企画展示「地域の中の湯舟坂2号墳」								437人															
	R3.10.2～R3.12.26	秋季企画展示「永浜宇平の生涯」								555人															
	R34.2.19～R4.4.10	企画展示「丹後震災の記憶」		282人																					
	○会計年度任用職員任用経費（資料館業務員4人）		8,384千円	【入館者数・推移】 <table><tr><td>H30</td><td>R元</td><td>R2</td><td>R3</td></tr><tr><td>3,259人</td><td>2,821人</td><td>1,380人</td><td>1,579人</td></tr></table> ※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、4/25～5/31及び8/27～9/17を臨時休館としたこと等の影響から、入館者数が微増するにとどまった。						H30	R元	R2	R3	3,259人	2,821人	1,380人	1,579人								
	H30	R元	R2							R3															
	3,259人	2,821人	1,380人							1,579人															
	・報酬、期末手当、共済費、費用弁償																								
	○維持管理、展示等に関する経費		3,028千円																						
・維持管理経費（燃料、光熱水費、修繕、通信費、火災保険）		1,630千円																							
・施設保守管理経費（電気設備、浄化槽、消防設備）		389千円																							
・施設警備委託料		86千円	成果・課題																						
・使用料及び賃借料（コピー機、清掃用具、土地借上げ等）		462千円																							
・その他事務経費（消耗品、ごみ処理手数料）		280千円																							
・展示関係経費（展示パネル印刷、旅費、有料道路通行料等）		181千円																							

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局				
	項	04 社会教育費	8,977千円		9,165千円	188千円	97.9 %		課	文化財保護課			
	目	05 資料館費					(参考)当初予算額						
	事業	03 資料館等指定管理施設運営事業					8,587千円						
基本計画		28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進		主な財源									
目的		琴引浜鳴き砂文化館の維持管理を行い、琴引浜の鳴き砂の保全及び保護啓発活動、自然環境学習の援助並びに促進を図る。											
主要な事務・事業の概要	鳴き砂や環境保全の学習施設として設置し、指定管理者制度により、琴引き浜鳴り砂を守る会が管理運営を行った。環境学習のための教育施設であるとともに、山陰海岸ジオパークを紹介する観光施設としても重要な拠点と位置付けている。												
	○琴引浜鳴き砂文化館指定管理委託料									7,299千円			
	○使用料及び賃借料 公益財団法人日本ナショナルトラストへの建物賃借料及び土地所有者への駐車場用地賃借料									1,288千円			
	○指定管理者休業協力金 臨時休館期間（4/25～5/23及び8/27～9/17）									390千円			
	【入館者数・推移】									成果・課題			
<table><tr><td>H30</td><td>R元</td><td>R2</td><td>R3</td></tr><tr><td>9,787人</td><td>9,520人</td><td>6,055人</td><td>6,443人</td></tr></table>				H30	R元	R2	R3	9,787人	9,520人				
H30	R元	R2	R3										
9,787人	9,520人	6,055人	6,443人										
※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、4/25～5/31及び8/27～9/17を臨時休館とした影響から、入館者数が微増するにとどまった。													

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局															
	項	04 社会教育費	9,137千円		9,270千円	133千円	98.5 %																	
	目	06 社会教育施設費					(参考)当初予算額	課	生涯学習課															
	事業	01 峰山いさなご施設管理運営事業					9,500千円																	
基本計画		27 多様な学びを支援する社会教育の充実		主な財源	使用料	峰山林業総合センター使用料			56千円															
目的	林業の振興のほか、スポーツ及びレクリエーション活動による市民の健康づくり、生きがいづくりを推進し、市民福祉の向上を図る。				使用料	峰山いさなご工房使用料			520千円															
					使用料	峰山いさなごコート使用料			19千円															
					諸収入	峰山林業総合センター木工教室等材料代			20千円															
主要な事務・事業の概要	○会計年度職員任用経費（3人）			6,346千円		<利用状況> <table><tr><th>区 分</th><th>利用回数</th><th>延べ利用人数</th></tr><tr><td>林業センター</td><td>188回</td><td>1,219人</td></tr><tr><td>いさなご工房</td><td>264回</td><td>666人</td></tr><tr><td>いさなごコート</td><td>262回</td><td>4,183人</td></tr><tr><td>合 計</td><td>714回</td><td>6,068人</td></tr></table>				区 分	利用回数	延べ利用人数	林業センター	188回	1,219人	いさなご工房	264回	666人	いさなごコート	262回	4,183人	合 計	714回	6,068人
	区 分	利用回数	延べ利用人数																					
	林業センター	188回	1,219人																					
	いさなご工房	264回	666人																					
	いさなごコート	262回	4,183人																					
	合 計	714回	6,068人																					
	・報酬			4,492千円																				
	・職員手当等（期末手当）			910千円																				
	・共済費（社会保険料、労災保険料、雇用保険料）			864千円																				
	・費用弁償			80千円																				
	○管理運営経費			2,791千円																				
	・需用費（消耗品費、燃料費、印刷製本費、光熱水費、修繕料			2,201千円																				
・役務費（通信運搬費、浄化槽法定検査手数料、火災保険料）			165千円																					
・委託料（消防設備等保守点検委託料、浄化槽維持管理委託料）			305千円																					
・使用料及び賃借料（テレビ放送受信料、機械器具借上料）			46千円																					
・備品購入費（電話機1台、小型ドリル機1台）			74千円																					
			成果・課題		○適切な施設の管理及び貸し出し、木工・陶芸の指導、定期講座の実施などを通して、市民に学習と交流の機会を提供し、スポーツ・文化活動の振興、健康づくりの推進などに寄与することができた。																			

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局																												
	項	04 社会教育費	15,771千円		16,068千円	297千円	98.1 %																														
	目	06 社会教育施設費					(参考)当初予算額	課	生涯学習課																												
	事業	02 マスターズビレッジ 管理運営事業					18,309千円																														
基本計画		27 多様な学びを支援する社会教育の充実		主な財源	使用料	大宮ふれあい工房使用料			639千円																												
					使用料	大宮ふれあいスポーツ広場使用料			17千円																												
					諸収入	大宮ふれあい工房関係諸収入			5千円																												
目的		大宮ふれあい工房（陶芸・染色体験等施設）、ふれあいスポーツ広場等を管理運営することで、市民の交流及び健康づくりの場を提供し、生涯学習の推進を図る。																																			
主要な事務・事業の概要	○会計年度任用職員任用経費（6人）		9,841千円		＜利用状況＞																																
	・報酬		7,770千円		<table><tr><th colspan="2">区 分</th><th colspan="2">延べ利用者数等</th></tr><tr><td rowspan="5">ふれあい工房</td><td>展示室</td><td>利用者数</td><td>766人</td></tr><tr><td>会議室</td><td>利用者数</td><td>777人</td></tr><tr><td>陶芸体験</td><td>体験者数</td><td>343人</td></tr><tr><td>染色体験</td><td>体験者数</td><td>275人</td></tr><tr><td>その他</td><td>利用者数</td><td>1,767人</td></tr><tr><td colspan="2">ふれあいスポーツ広場</td><td>利用者数</td><td>3,949人</td></tr><tr><td colspan="3">合 計</td><td>7,877人</td></tr></table>					区 分		延べ利用者数等		ふれあい工房	展示室	利用者数	766人	会議室	利用者数	777人	陶芸体験	体験者数	343人	染色体験	体験者数	275人	その他	利用者数	1,767人	ふれあいスポーツ広場		利用者数	3,949人	合 計			7,877人
	区 分		延べ利用者数等																																		
	ふれあい工房	展示室	利用者数	766人																																	
		会議室	利用者数	777人																																	
		陶芸体験	体験者数	343人																																	
		染色体験	体験者数	275人																																	
		その他	利用者数	1,767人																																	
	ふれあいスポーツ広場		利用者数	3,949人																																	
	合 計			7,877人																																	
・職員手当		1,073千円																																			
・共済費		770千円																																			
・旅費		228千円																																			
○施設維持管理経費		5,679千円																																			
・需用費（消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕料等）																																					
・役務費（通信運搬費、火災保険料）																																					
・委託料（電気設備保安管理委託料、草刈委託料等）																																					
・使用料及び賃借料（テレビ放送受信料、清掃用具借上料等）																																					
・備品購入費（電気窯・消防ホース）																																					
○体験事業経費（材料代）		251千円		成果・課題	○陶芸、染色実習室、展示室、会議室、及びスポーツ広場の利用提供並びに各種講座及び教室を実施することで、市民の生きがいづくり及び健康増進に寄与することができた。 ○委託から直営管理にすることで経費削減につながった。 ○施設の老朽化が進行する中、施設所有者である京都府等と、今後の適切な維持管理や運営の在り方を検討する必要がある。																																

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	04 社会教育費	1,173千円		1,205千円	32千円	97.3 %		
	目	06 社会教育施設費					(参考)当初予算額	課	生涯学習課
	事業	03 たちばな会館管理運営事業					1,205千円		
基本計画		27 多様な学びを支援する社会教育の充実		主な財源	諸収入 たちばな会館管理光熱水費負担金 291千円				
目的	橘地区における生涯学習及びコミュニティ活動の拠点として当該施設を管理運営し、地域住民に各種活動の場を提供するとともに、施設の利用の促進を図る。								
主要な事務・事業の概要	○施設維持管理費			1,173千円					
	・需用費（消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕費）			617千円					
	・役務費（通信運搬費、火災保険料）			67千円					
	・委託料（施設管理委託料、消防設備等保守点検委託料）			489千円					
	＜利用状況＞								
	区 分	利用回数	延べ利用者数						
	会議室	34回	212人						
	大会議室	17回	163人						
	料理実習室	4回	12人						
	和室1	101回	390人						
和室2									
多目的ホール	160回	1,376人							
合 計	316回	2,153人							
				成果・課題	○地域の学習活動及びコミュニティ活動の拠点施設として適正に維持管理することで、施設を活用した効果的な地域活動を促進することができた。 ○かねてより検討している施設の管理方法などの見直しについては、引き続き、地元の意向を聞きながら、検討を進めていく必要がある。				

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局																								
	項	04 社会教育費	1,216千円		1,257千円	41千円	96.7 %																										
	目	06 社会教育施設費					(参考)当初予算額	課	生涯学習課																								
	事業	04 網野教育会館管理運営事業					1,257千円																										
基本計画		27 多様な学びを支援する社会教育の充実		主な財源																													
目的	教育及び地域の文化活動・生涯学習の拠点として当該施設を管理運営し、地域住民に各種活動の場を提供するとともに、施設の利用の促進を図る。																																
主要な事務・事業の概要	○施設維持管理費		1,216千円		＜利用状況＞																												
	・需用費（消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕料）		487千円		<table><tr><td>区 分</td><td>利用回数</td><td>延べ利用者数</td></tr><tr><td>1階和室</td><td>78回</td><td>639人</td></tr><tr><td>料理実習室</td><td>0回</td><td>0人</td></tr><tr><td>講義室</td><td>55回</td><td>248人</td></tr><tr><td>2階和室</td><td>0回</td><td>0人</td></tr><tr><td>大ホール</td><td>155回</td><td>1,639人</td></tr><tr><td>全 館</td><td>6回</td><td>560人</td></tr><tr><td>合 計</td><td>294回</td><td>3,086人</td></tr></table>					区 分	利用回数	延べ利用者数	1階和室	78回	639人	料理実習室	0回	0人	講義室	55回	248人	2階和室	0回	0人	大ホール	155回	1,639人	全 館	6回	560人	合 計	294回	3,086人
	区 分	利用回数	延べ利用者数																														
	1階和室	78回	639人																														
	料理実習室	0回	0人																														
	講義室	55回	248人																														
	2階和室	0回	0人																														
	大ホール	155回	1,639人																														
	全 館	6回	560人																														
	合 計	294回	3,086人																														
・役務費（通信運搬費、火災保険料等）		48千円																															
・委託料（施設管理委託料、浄化槽維持管理委託料、		647千円																															
消防設備等保守点検委託料、防火対象物定期点検報告																																	
業務委託料）																																	
・使用料及び賃借料（テレビ放送受信料）		14千円																															
・備品購入費（消火器3本）		20千円																															
				成果・課題	○人権学習や地域の拠点施設として適正に維持管理することで、施設を活用した効果的な学習及び地域活動を促進することができた。 ○かねてより検討している施設の管理方法などの見直しについては、引き続き、地元の意向を聞きながら、検討を進めていく必要がある。																												

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	04 社会教育費	171千円		213千円	42千円	80.2 %		
	目	07 文化財保護費					(参考)当初予算額	課	文化財保護課
	事業	01 文化財保護審議会委員設置事業					213千円		
基本計画		28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進		主な財源					
目的	文化財の指定解除等の諮問機関である文化財保護審議会で、文化財の保全及び活用について調査・審議を行うことで、市の文化財の保全や活用に資する。								
主要な事務・事業の概要	○文化財保護審議会の開催経費				140千円				
	文化財指定、市指定文化財の管理、現状変更に関する事項や、文化財関係事業等を検討するため審議会を開催。（委員定数：10人）								
	・報酬		半日×2回（4千円×延べ19人）		125千円				
			1日×1回（7千円×7人）						
	・費用弁償				15千円				
	○両丹文化財保護連絡協議会への参加経費				31千円				
	令和3年度は宮津市で開催（令和3年11月19日）								
	・報酬		協議会出席：半日×7人（4千円×7人）		28千円				
	・費用弁償				3千円				
					成果・課題	文化財関係事業について、審議会委員の意見を聞きながら進めることができた。			

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	04 社会教育費	4,546千円		4,771千円	225千円	95.2 %		
	目	07 文化財保護費					(参考)当初予算額	課	文化財保護課
	事業	02 指定文化財等管理事業					4,052千円		
基本計画		28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進		主な財源					
目的	文化財の修理などの保全事業に対して補助金を交付することにより、貴重な文化財を守り次世代に引き継ぐ。また、指定文化財及びそれに関連する施設の草刈や補修等の維持管理を行い、指定文化財の適切な管理活用を図る。								
主要な事務・事業の概要	○京丹後市指定文化財等補助金 21件 2,389千円 （内訳）・国、府指定登録文化財補助金該当分 11件 1,509千円 ・京都府社寺等文化資料保全補助金該当分 10件 880千円 （京丹後市指定文化財及び未指定文化財のうち補助要件を満たすもの） 神社・寺院建物の修理、覆屋・収蔵庫の修理、民俗芸能の道具の修理・新調、史跡の修理などを支援。 ※参考 令和2年度実績 補助件数 28件 補助金額 2,000千円 事業総額 22,550千円				○コウノトリモニタリング事業 784千円 国指定特別天然記念物・コウノトリが市内3か所で営巣したため、モニタリング監視員を置き、観察・記録を行うとともに、巣周辺の立ち入り制限などの保護活動を行った。（期間：令和3年4月1日～6月28日）				
	○指定文化財看板等修繕 288千円 ・説明板、案内看板等修繕・設置工事費 285千円 （しわ榎・越水・売布神社・黒部銚子山古墳・奈良岡遺跡看板等） ・看板土地借上料（3か所） 3千円				○指定文化財関連施設管理経費 72千円 ・郷村断層、丹後震災記念館等の指定文化財施設の維持管理経費 45千円 ・火災保険料（旧口大野村役場庁舎、郷村断層、浜詰遺跡復元住居） 27千円				
	○史跡等草刈・環境美化委託 1,013千円 神明山古墳、函石浜遺跡、赤坂今井墳墓、産土山古墳、郷村断層、旧口大野村役場庁舎、湯舟坂2号墳、竹野神社環境保全地区、高山12号墳、遠慮遺跡、黒部銚子山古墳、震災記念館用地、大谷古墳、浜詰遺跡、細川ガラシャ夫人隠棲地、岡1号墳 計16件				成果・課題	○市内に数多く残る文化財の保全のために、修理等への補助金を交付し、文化財所有者等の負担軽減と貴重な文化財の保全を図ることができた。 ○コウノトリの営巣に伴い必要な保護活動を行い、コウノトリの個体保護に寄与することができた。 ○史跡や周辺施設等の環境整備を行うことにより、文化財の保全が図られ、文化財見学等の利用促進につながった。また、文化財案内看板等の計画的な整備につとめ、来訪者の利便性向上と文化財の保護啓発を図る必要がある。			

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	04 社会教育費	46,150千円		46,332千円	182千円	99.6 %		
	目	07 文化財保護費					(参考)当初予算額	課	文化財保護課
	事業	03 遺跡整備事業					46,332千円		
基本計画		28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進	主な財源	国補	国宝重要文化財等保存・活用事業補助金（1/2）				22,617千円
				市債	遺跡整備事業債（過疎対策債）				21,900千円
目的	丹後の特色と歴史を物語る重要な文化財の環境整備を推進し、教育・観光・地域づくりの資源などへ有効に活用する。								
主要な事務・事業の概要	国史跡網野銚子山古墳について、平成23年度に策定した整備基本計画に基づき、史跡の保存を図りつつ整備工事を行った。整備工事は、条例に基づき設置した京丹後市史跡整備検討委員会、文化庁等関係機関の指導を受け実施した。（令和6年度完成予定） また、国史跡神明山古墳について、墳丘の保全を阻害する樹木の整理伐採及び園路階段の補修を行った。			○神明山古墳環境整備事業費 3,250千円					
	○網野銚子山古墳整備事業費 42,900千円			・委託料 環境整備業務設計監理委託料 308千円					
	・報酬 史跡整備検討委員会委員報酬 48千円 （1回開催、委員12人）			雑木伐採委託料 2,006千円					
	・旅費 史跡整備検討委員会委員参集旅費等 184千円			・工事請負費 作業道搬出路階段改修工事 936千円					
	・需用費 消耗品費 85千円			古墳墳丘上の危険木・支障木伐採19本分、木製階段・手摺取替工事23段分					
	・委託料 実施設計委託料 2,970千円								
	工事監理委託料 1,485千円								
	維持管理草刈委託料 703千円								
	・工事請負費 環境整備工事費 37,425千円								
	墳丘部の整理伐採69本、墳丘前方部の墳丘復元盛土工574㎡、周溝表示工（新設）1430㎡・表面舗装1571㎡等。			成果・課題					
				○網野銚子山古墳については、史跡整備検討委員会の指導を受け、古墳の保存・活用を図るための環境整備工事の一部を遂行できた。					
				○神明山古墳については、墳丘の危険木等を伐採し、適切な維持管理を図るとともに、後円部墳丘上からの眺望を確保し、環境整備と活用に資することができた。					

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	04 社会教育費	6,606千円		6,641千円	35千円	99.4 %		
	目	07 文化財保護費					(参考)当初予算額	課	文化財保護課
	事業	04 遺跡発掘調査等事業					6,641千円		
基本計画		28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進	主な財源	国補	国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金（1/2）			3,300千円	
				府補	埋蔵文化財緊急発掘調査費補助金（1/4）			1,650千円	
目的	発掘調査等により、市内の遺跡を効果的に保護するための資料を得るとともに、開発等により現地保存の困難な遺跡の記録保存を図り、文化財の保護活用につなげる。								
主要な事務・事業の概要	浜詰遺跡（網野町浜詰）、東風ヶ奥遺跡（大宮町河辺）の発掘調査を実施し、報告書を刊行した。また、網野銚子山古墳（網野町網野）発掘調査の報告書刊行に向け、整理作業を行った。				＜調査概要＞				
	○会計年度任用職員任用経費 3,945千円				・ 浜詰遺跡（現地調査 令和3年5月6日～31日）				
	（発掘調査補助員・整理員・作業員9人）				府営住宅跡地の分譲計画に先立ち、範囲確認調査を行い、周辺の旧地形の復元を考えるデータを得ることができた。また、令和2年度調査で見つかった貝塚から出土した縄文土器・石器・貝類・骨類の整理作業を行った。				
	・報酬 3,591千円				・ 東風ヶ奥遺跡（現地調査 令和3年6月29日～7月30日）				
	・報酬期末手当 132千円				墓地造成計画に先立ち、範囲確認調査を実施し、弥生時代～古墳時代の土器を確認した。				
	・共済費（労災保険料、雇用保険料） 23千円				・ 網野銚子山古墳（整理作業のみ）				
	・費用弁償 199千円				平成28年度～31年度に実施した発掘調査出土遺物の整理や、遺構のデジタル化、赤色立体図の作成を行った。（令和5年度報告書発刊予定）				
	○発掘調査等経費 2,661千円								
	・旅費（協議） 11千円								
	・需用費（消耗品、発電機燃料代、印刷製本費等） 395千円								
・役務費（し尿汲取手数料） 4千円									
・委託料（網野銚子山古墳に関する遺構図面作成・赤色立体地図等作成委託料） 1,864千円									
・使用賃借料（重機・機械器具・仮設トイレ借上料） 387千円									
成果・課題									

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局					
	項	04 社会教育費	6,565千円		7,275千円	710千円	90.2 %							
	目	07 文化財保護費					(参考)当初予算額	課	文化財保護課					
	事業	05 地域文化財総合活用推進事業					6,174千円							
基本計画		28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進	主な財源	国補 文化芸術振興費補助金 6,539千円										
目的	市内に数多く残る文化財について、指針となる文化財保存活用地域計画の策定を行うことで、市の歴史文化の特色や課題を明らかにするとともに、その課題解決に向け教育、観光、地域づくり等の各分野が地域資源として有効活用につなげる。													
主要な事務・事業の概要	文化財関係者および、商工・観光関係者等が参画した策定協議会及び保存・活用分科会を設置し、文化財保存活用地域計画の作成を進めた。		○事務経費 33千円											
	○文化財保存活用地域計画策定協議会開催経費（委員15人） 163千円		●消耗品費、地区アンケート返信用切手代 （地区アンケート…神社・寺院・祭礼行事の意識調査とともに、民俗行事の現状把握、地域資源の掘り起こしを行ったもの。）					<table><tr><td rowspan="2">参考</td><td>繰越明許費を除いた最終予算額</td><td>6,583千円</td></tr><tr><td>実質的な予算執行率</td><td>99.7%</td></tr></table>		参考	繰越明許費を除いた最終予算額	6,583千円	実質的な予算執行率	99.7%
	参考	繰越明許費を除いた最終予算額									6,583千円			
		実質的な予算執行率								99.7%				
	・協議会委員謝金 半日×2回 （4,000円×延べ26人） 104千円													
・委員費用弁償 59千円														
○地域計画策定協議会保存分科会開催経費（委員3人） 85千円		■令和4年度への繰越事業 692千円					京丹後市文化財保存活用地域計画策定業務 令和4年12月完了予定							
・分科会委員謝金 半日×2回 （4,000円×6人） 24千円														
・協議旅費 61千円														
○地域計画策定協議会活用分科会開催経費（委員7人） 57千円		成果・課題												
・分科会委員謝金 半日×2回 （4,000円×12人） 48千円														
・委員費用弁償 9千円														
○計画策定委託料 6,227千円		○協議会及び分科会を設置し、委員の意見を聞きながら、計画作成を進めた。（令和4年12月文化庁認定予定） ○計画策定後、本計画を実行・推進していくための枠組みや体制づくりが重要な課題である。												
・文化財保存活用地域計画策定支援委託料														

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	04 社会教育費	216千円		352千円	136千円	61.3 %		
	目	07 文化財保護費					(参考)当初予算額		
	事業	50 文化財保護一般経費					352千円	課	文化財保護課
基本計画	28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進		主な財源						
目的	文化財保管施設の維持管理及び各種文化財保護関係団体の活動を推進し、文化財の保護と活用を図る。								
主要な事務・事業の概要	○文化財収蔵施設維持管理費（5か所） 資料館以外で所管している文化財収蔵施設に係る維持管理費 十楽収蔵庫（久美浜町十楽） 網野出土遺物収蔵庫（網野町網野） 旧成路分校（峰山町鱒留） 旧三重保育所（大宮町三重） 高嶋寮（丹後町上野） ・光熱水費、火災保険料、草刈委託料、事務費				122千円 122千円				
	○文化財関係加盟団体経費 ・全国史跡整備市町村協議会 ・全国鳴き砂ネットワーク ○会議出席経費 全国史跡整備市町村協議会臨時大会出席旅費 ・開催日：令和3年11月25日 ・内 容：陳情活動 ・出席者：担当職員1人				60千円 40千円 20千円 34千円	成果・課題	文化財保護事務及び所管施設の維持管理を適切に実施し、文化財の保護と活用を図ることができた。		

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局																																													
	項	05 保健体育費	19,309千円	19,452千円	143千円	99.2 %																																															
	目	01 保健体育総務費				(参考)当初予算額	課	生涯学習課																																													
	事業	01 社会体育団体育成事業				19,752千円																																															
基本計画		27 多様な学びを支援する社会教育の充実	主な財源																																																		
目的	スポーツ団体による主体的な活動を支援し、市民へのスポーツの普及と振興を図るとともに、スポーツによる青少年の健全育成と体力の向上を図る。																																																				
主要な事務・事業の概要	○京丹後市体育協会補助金 15,727千円 ・加盟団体数：21団体（3,702人） ※令和4年3月末現在 ・本部及び支部事業の実施 スポーツ指導者研修会の開催（令和3年11月17日、12月2日） 各町支部、各競技団体の活動支援（年間） 大会協力（丹後大学駅伝） ・広報紙の発行（年3回）			＜京丹後市青少年スポーツ協会 種目別加盟団体数＞																																																	
	○京丹後市青少年スポーツ協会活動補助金 3,582千円 ・加盟団体数：65団体（児童生徒数：1,345人、指導者数：353人） ・事業内容：指導者研修会の実施、各加盟団体の支援、生徒募集チラシの発行 ※子どもスポーツ推進事業（補助金）は、新型コロナウイルス感染予防のため中止			<table><tr><td>種 目</td><td>団体数</td><td>種 目</td><td>団体数</td><td>種 目</td><td>団体数</td></tr><tr><td>野 球</td><td>10</td><td>柔 道</td><td>1</td><td>卓 球</td><td>1</td></tr><tr><td>バレーボール</td><td>10</td><td>硬式テニス</td><td>2</td><td>複合(複数種目)</td><td>1</td></tr><tr><td>バスケットボール</td><td>6</td><td>ソフトテニス</td><td>2</td><td>カヌー</td><td>1</td></tr><tr><td>サッカー</td><td>6</td><td>バドミントン</td><td>3</td><td>レスリング</td><td>1</td></tr><tr><td>空手道</td><td>6</td><td>少林寺拳法</td><td>1</td><td>スキー</td><td>1</td></tr><tr><td>陸 上</td><td>7</td><td>新体操</td><td>1</td><td rowspan="2">合 計</td><td rowspan="2">65</td></tr><tr><td>剣 道</td><td>4</td><td>体 操</td><td>1</td></tr></table>					種 目	団体数	種 目	団体数	種 目	団体数	野 球	10	柔 道	1	卓 球	1	バレーボール	10	硬式テニス	2	複合(複数種目)	1	バスケットボール	6	ソフトテニス	2	カヌー	1	サッカー	6	バドミントン	3	レスリング	1	空手道	6	少林寺拳法	1	スキー	1	陸 上	7	新体操	1	合 計	65	剣 道	4	体 操
種 目	団体数	種 目	団体数	種 目	団体数																																																
野 球	10	柔 道	1	卓 球	1																																																
バレーボール	10	硬式テニス	2	複合(複数種目)	1																																																
バスケットボール	6	ソフトテニス	2	カヌー	1																																																
サッカー	6	バドミントン	3	レスリング	1																																																
空手道	6	少林寺拳法	1	スキー	1																																																
陸 上	7	新体操	1	合 計	65																																																
剣 道	4	体 操	1																																																		
成果・課題	○コロナ禍の中、活動期間や場所が限られたが、スポーツ団体の組織強化を支援することにより、スポーツ団体が実施する各種教室及び大会などを通して、幅広い年代層へスポーツに親しむ機会を提供することができた。 ○京丹後市青少年スポーツ協会の加盟団体への活動助成金の交付や指導者研修会を開催し青少年のスポーツを通じた健全育成を支援した。 ○体育協会は、組織強化を図るため法人化に向けた準備を進め、令和4年度当初に法人格を取得することができた。																																																				

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	05 保健体育費	2,536千円		2,769千円	233千円	91.5 %		
	目	01 保健体育総務費					(参考)当初予算額		
	事業	50 保健体育総務一般経費					3,065千円	課	生涯学習課
基本計画		27 多様な学びを支援する社会教育の充実		主な財源					
目的	社会体育事業を円滑に実施するための事務経費のほか、スポーツ基本法に基づき設置したスポーツ推進審議会を運営し、市民の意見を反映したスポーツ環境の整備及びスポーツ活動の推進を図る。								
主要な事務・事業の概要	○スポーツ推進審議会に関する経費		102千円						
	・審議会委員報酬：12人、開催回数：2回		88千円						
	・費用弁償		14千円						
	○会計年度任用職員任用経費 （スポーツ推進室事務補助：1人）		2,335千円						
	○社会体育に関する事務経費		99千円						
	・担当国会議、大会誘致活動等旅費		7千円						
・全国大会等出場懸垂幕作成経費		76千円		成果・課題	「第2次京丹後市スポーツ推進計画」の進捗状況の管理や審議を行い、市民の意見を反映したスポーツ環境の整備やスポーツ活動の推進を図ることができた。				
・有料道路通行料等		16千円							

予算科目目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	05 保健体育費	2,697千円		3,018千円	321千円	89.3 %		
	目	02 スポーツ推進費					(参考)当初予算額	課	生涯学習課
	事業	01 スポーツ推進委員活動事業					3,610千円		
基本計画		27 多様な学びを支援する社会教育の充実		主な財源					
目的	市民にスポーツに関する指導を行うスポーツ推進委員を委嘱し、住民の求めに応じた、身近な場でのスポーツの機会を提供することにより、市民が気軽に親しめるスポーツ活動を推進する。								
主要な事務・事業の概要	○スポーツ推進委員報酬（48人分）			2,400千円	＜活動内容＞ ・ノルディック・ウォーキング体験会 年間7回、延べ125人参加 ・ニュースポーツ体験会（ビーチボールバレーほか） 年間27回、延べ221人参加 ・地区活動やPTA行事、高齢者大学などにおけるスポーツ指導（ノルディック・ウォーキング、ニュースポーツ、体力テストほか） ・スポーツ大会への協力（丹後大学駅伝ほか）				
	○旅費（スポーツ推進委員活動費用弁償、職員旅費）			143千円					
	○需用費（消耗品費） ・機関紙購読料、広報用カラーペーパー			11千円					
	○役務費（スポーツ安全保険料）			88千円					
	○負担金、補助及び交付金 ・丹後スポーツ推進委員連絡協議会負担金			55千円 43千円					
	・障害者スポーツ指導員養成研修会参加負担金			12千円					
					成果・課題	○コロナ禍の中、活動が制限され例年のような活動ができなかったが、「ノルディック・ウォーキング」、「ニュースポーツ」の普及に努め、幅広い年代の方へスポーツへの参加機会を提供することができた。 ○今後も、スポーツへの参加機会の提供だけでなく、地域において、スポーツ指導をする場を設けられるよう、地区公民館等への働きかけ、連携を強化する必要がある。			

予算科目目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局																								
	項	05 保健体育費	2,904千円		3,078千円	174千円	94.3 %		課	生涯学習課																							
	目	02 スポーツ推進費					(参考)当初予算額																										
	事業	02 地域スポーツ推進事業					6,545千円																										
基本計画		27 多様な学びを支援する社会教育の充実	主な財源	国補	地方創生推進交付金				539千円																								
				繰入金	韓哲・まちづくり夢基金繰入金				238千円																								
				諸収入	スポーツ大会参加料				11千円																								
目的	ライフステージに応じた各種スポーツ大会を実施することで、市民の生きがいの実感や健康づくりを促進するとともに、スポーツを通じた交流機会を確保しスポーツ人口の拡大を図る。																																
主要な事務・事業の概要	○報償費		332千円		＜大会等実施状況＞																												
	・野村克也メモリアル事業講師謝金		310千円		<table><tr><th>大会名</th><th>開催日</th><th>参加者等</th></tr><tr><td>市民陸上記録会</td><td>6/27（日）</td><td>60人</td></tr><tr><td>市長杯争奪中学校野球大会</td><td>7/3（土）、4（日）</td><td>75人</td></tr><tr><td>京丹後市総合体育（交流）大会</td><td>8/20（金）～3/15（火）</td><td>3種目171人 ※</td></tr><tr><td>京都府民総合体育（交流）大会</td><td>8/30（金）～2/28（火）</td><td>7競技66人参加 ※</td></tr><tr><td>京丹後チャレンジデー2021</td><td>10/27（水）</td><td>21,140人</td></tr><tr><td>はしうど杯卓球選手権大会</td><td>12/5（日）</td><td>100人</td></tr><tr><td>野村克也メモリアル事業</td><td>12/19（日）</td><td>360人</td></tr></table>					大会名	開催日	参加者等	市民陸上記録会	6/27（日）	60人	市長杯争奪中学校野球大会	7/3（土）、4（日）	75人	京丹後市総合体育（交流）大会	8/20（金）～3/15（火）	3種目171人 ※	京都府民総合体育（交流）大会	8/30（金）～2/28（火）	7競技66人参加 ※	京丹後チャレンジデー2021	10/27（水）	21,140人	はしうど杯卓球選手権大会	12/5（日）	100人	野村克也メモリアル事業	12/19（日）	360人
	大会名	開催日	参加者等																														
	市民陸上記録会	6/27（日）	60人																														
	市長杯争奪中学校野球大会	7/3（土）、4（日）	75人																														
	京丹後市総合体育（交流）大会	8/20（金）～3/15（火）	3種目171人 ※																														
	京都府民総合体育（交流）大会	8/30（金）～2/28（火）	7競技66人参加 ※																														
	京丹後チャレンジデー2021	10/27（水）	21,140人																														
	はしうど杯卓球選手権大会	12/5（日）	100人																														
	野村克也メモリアル事業	12/19（日）	360人																														
	・はしうど杯卓球選手権大会審判員謝金		18千円																														
	・入賞記念品（はしうど杯卓球大会）		4千円																														
	○旅費		7千円																														
	○需用費（消耗品費、燃料費、食糧費、修繕料、印刷製本費）		269千円																														
	○委託料		1,184千円																														
	・市長杯争奪中学校野球大会開催委託料		101千円																														
	・ジュニアカヌースプリント大会運営委託料		256千円																														
	※開催日直前の中止決定により既に実施していた業務の経費が発生				※ 一部のみ実施																												
	・京丹後市民陸上記録会運営委託料		300千円		＜大会中止＞																												
	・野村克也メモリアル事業関連委託料		527千円		・ジュニアカヌースプリント春季・秋季大会、北近畿中学生ソフトテニス大会など																												
○使用料及び賃借料（会場借上料等）		143千円		成果・課題	○市民が気軽に参加できるスポーツ事業の実施及びスポーツ大会への支援をすることにより、市民の健康・体力づくりやスポーツを通じた住民間・地域間の交流機会の提供、地域の活性化に寄与した。 ○新型コロナウイルス感染予防のため、一部の大会は実施できなかった。																												
○負担金、補助金及び交付金		969千円																															
・京都府民総合体育大会派遣費補助金		346千円																															
・京丹後市総合体育大会開催補助金		253千円																															
・京丹後チャレンジデー実行委員会補助金		100千円																															
・野村克也杯学童野球大会実行委員会補助金		270千円																															

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	05 保健体育費	2,746千円		2,848千円	102千円	96.4 %		
	目	02 スポーツ推進費					(参考)当初予算額		
	事業	03 スポーツイベント推進事業						6,286千円	
基本計画		04 滞在型観光・スポーツ観光の促進		主な財源	寄附金 1,565千円				
目的		観光分野と連携し、各種スポーツイベントの開催を支援することで、スポーツを通じた本市の魅力を発信し、交流人口の増加を図る。							
主要な事務・事業の概要	＜スポーツイベントの実施状況等＞								
	イベント名		開催日程	会 場	参加者等				
	丹後100kmウルトラマラソン代替事業 ①「丹後でウルトラ旅ラン」（観光型ランニングイベント） ②「丹後ウルトラの『顔』になろう！～フォトコンテスト～」		9/1 ～12/10	京丹後市内	申込者数：50人 参加者数：25人 フォトコン：9作品				
	丹後大学駅伝（第83回関西学生対校駅伝競走大会）		11/20(土)	丹後地域	22チーム、220人				
	＜大会中止＞								
・あみの八丁浜ロードレース大会		・京丹後市ドラゴンカヌー選手権大会							
・久美浜湾一周駅伝競走大会		・丹後100kmウルトラマラソン							
○負担金（丹後大学駅伝後援会への負担金）		900千円		成果・課題	○新型コロナウイルス感染予防のため、多くの大会が中止となったが、対策を行って開催可能な大会等を実施し、本市の魅力発信に寄与した。 ○丹後100kmウルトラマラソンは中止となったが、代替事業を実施し、ファンの繋ぎ止めを図ることができた。 ○丹後大学駅伝は、2年ぶりに従来の規模で実施。ガバメントクラウドファンディング（寄附金）により、地上波によるテレビ放映（20分番組）の実施支援を行ったことで、事業の周知・京丹後市のPRにつなげることができた。				
○補助金		1,647千円							
・関西学生対校駅伝競走大会情報発信事業補助金		1,565千円							
・丹後ウルトラマラソン補助金		82千円							
○その他経費（消耗品費、燃料費、修繕料）		199千円							

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	05 保健体育費	23,191千円		23,404千円	213千円	99.0 %		
	目	02 スポーツ推進費					(参考)当初予算額		
	事業	04 オリンピック・パラリンピックホストタウン推進事業						24,751千円	
基本計画		04 滞在型観光・スポーツ観光の促進		府補 ホストタウン等新型コロナウイルス感染症対策事業基金交付金	6,322千円				
目的	東京2020オリンピック・パラリンピックホストタウン事業の実施により、スポーツツーリズムの推進、インバウンドの増加及びスポーツによる地域の活性化を図る。				主な財源				
主要な事務・事業の概要	【ホストタウン交流・オリンピック事前合宿受入事業】				【パラリンピック関連事業】				
	相手国（人数）：スペイン（17人）、ポルトガル（11人）				＜パラスポーツ体験会＞ 68千円				
	場所：京丹後市久美浜湾カヌー競技場 ほか				開催日：令和3年12月18日（土）				
	実施期間：7月18日（日）～7月28日（水）11日間				会場：大宮社会体育館				
	＜トレーニングキャンプ＞ 14,728千円				講師：阪根 泰子 氏（アテネパラリンピック車いすバスケットボール日本代表）				
	○報償費（招待者記念品：ポロシャツ・巾着・扇子など） 195千円				内容：講演、パラスポーツ体験会（参加者76人）				
	○需用費（消耗品費、燃料費） 646千円				○報償費（講師謝金） 41千円				
	○手数料				○需用費（消耗品費） 27千円				
	（船舶検査手数料、PCR検査手数料 ほか） 1,312千円				＜パラリンピック採火式＞ 79千円				
	○保険料（モーターボート保険料） 44千円				開催日：令和3年8月16日（月）				
	○委託料				会場：浜詰夕日の丘				
	（会場設営、バス運転、交流事業、通訳、廃棄物処理） 10,836千円				○委託料（会場設営委託料） 75千円				
	○使用料及び賃借料（船舶借上、機械器具、施設使用） 1,695千円				○使用料及び賃借料（有料道路通行料） 4千円				
	＜選手移動支援＞ 8,316千円				成果・課題	○スペイン及びポルトガルカヌーチームの本市におけるオリンピック事前合宿受入れを実施、交流することにより、多文化共生の推進や地域活性化につなげることができた。			
○旅費（費用弁償、普通旅費） 213千円				○パラスポーツ体験会では、障害者スポーツ、共生社会の実現についての理解を深める契機となった。					
○委託料（艇輸送、選手移動支援） 7,297千円				○継続的な事業の実施により、スポーツを通したまちづくりを推進する必要がある。					
○使用料及び賃借料（自動車借上、有料道路、駐車場） 806千円									

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	05 保健体育費	1,698千円		1,825千円	127千円	93.0 %		
	目	02 スポーツ推進費					(参考)当初予算額		
	事業	05 ワールドマスターズゲームズ 関西推進事業						3,961千円	課
基本計画	04 滞在型観光・スポーツ観光の促進		府補 丹後半島振興広域連携促進事業費補助金 165千円						
目的	ワールドマスターズゲームズ2021関西（WMG）の取組を通じて、本市の滞在型スポーツ観光の推進、障害者スポーツの基盤づくり及び地域の活性化を図る。		主な財源						
主要な事務・事業の概要	OWMG京丹後市実行委員会補助金 1,473千円				○その他 225千円				
	・実行委員会ホームページ運営等 427千円				・WMG京都府実行委員会負担金 200千円				
	・WMGプレ大会開催費用 1,046千円				・旅費（京都府実行委員会会議）、消耗品費、有料道路通行料 25千円				
	＜SUP2021ジャパンオープン＞ ・開催日：令和3年4月11日（日） ※10日（土）SUP無料体験会実施 ・参加者数：71人 ※無料体験会 40人 ・会場：久美浜湾カヌー競技場								
	＜令和3年度全日本カヌーマラソン選手権大会＞ ・開催予定日：令和3年6月19・20日（土・日） ・開催日：令和3年6月19・20日（土・日） ※6月14日延期決定、9月4日中止決定								
	＜全国高等学校カヌー長距離選手権大会＞ ・開催日：令和4年3月20日（日） ・参加者数：129人 ・会場：久美浜湾カヌー競技場				成果・課題 OWMGプレ大会（SUP、カヌーマラソン、全国高校長距離）を開催し、本大会に向けての競技運営に必要な運営体制等について確認することができ、今後の大会・合宿誘致に向けてノウハウを得られた。 ○大会ホームページで情報発信を行うなどWMG大会及び京丹後市のPRに努めた。 OWMG大会は2027年に延期となったが、本大会の開催に向け、引き続きプレ大会の開催等、必要な準備や本大会の啓発等を進める必要がある。				

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	05 保健体育費	917千円		1,186千円	269千円	77.3 %		
	目	02 スポーツ推進費					(参考)当初予算額		
	事業	06 東京2020オリンピック聖火リレー事業					3,810千円	課	生涯学習課
基本計画	04 滞在型観光・スポーツ観光の促進	府補 東京2020オリンピック聖火リレー開催補助金 454千円							
目的	東京2020オリンピック聖火リレーを実施することにより、大会の機運醸成、ホストタウン事業などの成功に資するとともに、スポーツ振興、地域活性化などスポーツによるまちづくりを推進する。		主な財源						
主要な事務・事業の概要	京丹後市聖火リレー（浅茂川漁港をスタートし、八丁浜小浜キャンプ場付近をゴールとした約2.2キロメートル）は、新型コロナウイルス感染予防のため中止となり、京都スタジアムでの無観客によるリレーと点火セレモニーを実施。								
	・実施日 令和3年6月25日								
	・会場 京都スタジアム（亀岡市）								
	・京丹後市からのリレー参加者数 11人								
	○旅費	5千円							
	○需用費（消耗品費、印刷製本費）	311千円							
	○委託料	569千円							
・会場設営委託料（ステージ看板委託など）									
・会場警備計画策定委託料等（リレーコースの警備計画作成など）									
※開催間際での中止（5月12日）となったため、それまでにかかった経費									
○使用料及び賃借料（自動車借上料、有料道路通行料）	32千円	成果・課題	当初予定していた網野八丁浜を会場としていた計画は変更となったが、京都スタジアムでの無観客によるリレーに本市からも参加し、スポーツ振興の機運醸成を図ることができた。						

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局	
	項	05 保健体育費	67,774千円		67,940千円	166千円	99.7 %			
	目	03 体育施設費					(参考)当初予算額	課	生涯学習課	
	事業	01 体育施設管理運営事業					77,538千円			
基本計画		27 多様な学びを支援する社会教育の充実	主な財源	使用料	社会体育施設使用料			95千円		
				諸収入	自動販売機売上料			17千円		
目的	市民の身近なスポーツ活動の拠点施設として体育施設を管理することにより、地域スポーツの振興とスポーツ競技力の向上を図る。			諸収入	旧宇川中学校、旧大宮第三小学校、旧海部小学校施設光熱水費利用負担金			596千円		
				市債	社会体育施設整備事業債（過疎対策債）			12,000千円		
			市債	社会体育施設整備事業債（合併特例債）			2,800千円			
主要な事務・事業の概要	＜体育施設の維持管理経費＞				＜利用状況＞					
	○需用費（消耗品費、燃料費、印刷製本費、光熱水費、修繕料） 34,354千円				紅葉ヶ丘運動場（テニスコート） 310 件					
	○役務費（通信運搬費、し尿汲取手数料、火災保険料等） 1,732千円				大宮自然運動公園（グラウンド、テニスコート） 395 件					
	○委託料（運動公園管理、社会体育館管理、浄化槽維持管理等） 14,184千円				大宮社会体育館 789 件					
	○使用料及び賃借料（土地借上、仮設トイレ借上、AED賃借料） 722千円				網野グラウンド（グラウンド、屋内ゲートボール場） 590 件					
	○工事設計監理委託料・工事請負費 14,201千円				網野体育センター（体育室、柔・剣道室、テニスコート） 911 件					
	○備品購入費（バスケットゴール1基、地ならし機1台など） 2,438千円				丹後社会体育館 314 件					
	○負担金（下水道加入分担金） 140千円				弥栄総合運動公園（体育館、グラウンド、屋根付ゲートボール場等） 1,279 件					
	○償還金（施設使用料返還金） 3千円				久美浜中央運動公園（グラウンド、テニスコート、屋根付ゲートボール場） 938 件					
	＜主な修繕・工事＞				その他体育施設（30施設） 3,287 件					
	・網野体育センターテニスコート照明修繕工事 1,138千円				成果・課題 ○新型コロナウイルス感染予防のため、施設の一時休業を含む利用制限を行った期間があったが、前年度に比べて年間の利用件数は微増した。施設の適切な管理運営を行うことで、市民のスポーツ活動の普及・発展に寄与した。 ○スポーツ活動拠点の効率的・効果的な管理運営を図るため、公共施設見直し計画等に基づき、管理形態の見直し等について検討していく必要がある。					
	・旧橋体育館等消防設備不備指摘事項修繕工事 891千円									
	・大宮社会体育館床改修工事 902千円									
	・大宮社会体育館ホール間仕切り工事 299千円									
	・大宮社会体育館トイレ引き戸工事 297千円									
	・大宮自然運動公園1号手洗所下水道接続等工事 10,283千円									
	・弥栄総合運動公園高圧ケーブル更新工事 4,345千円									
	・弥栄総合運動公園第2キュービクル機器改修工事 396千円									
	・久美浜中央運動公園遊具撤去工事 539千円									

予算科目	款	10 教育費							本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	教育委員会事務局																																																																																																																									
	項	05 保健体育費							1,624千円		1,697千円		73千円		95.6 %																																																																																																																												
	目	03 体育施設費													(参考)当初予算額		課	生涯学習課																																																																																																																									
	事業	02 社会体育用学校開放施設管理運営事業													1,697千円																																																																																																																												
基本計画		27 多様な学びを支援する社会教育の充実							主 な 財 源	使用料 小学校施設使用料 1千円																																																																																																																																	
目的		地域住民にとって身近で利用しやすい学校体育施設を開放及び維持管理することにより、スポーツ及びレクリエーションの振興を図り、もって生活文化の向上に資する。																																																																																																																																									
主要な事務・事業の概要		<利用状況> (単位：施設・件) <table><tr><th colspan="2"></th><th>峰山</th><th>大宮</th><th>網野</th><th>丹後</th><th>弥栄</th><th>久美浜</th><th>合計</th></tr><tr><td rowspan="6">小学校</td><td rowspan="2">体育館</td><td>施設数</td><td>4</td><td>2</td><td>4</td><td>2</td><td>2</td><td>3</td><td>17</td></tr><tr><td>利用件数</td><td>1,060</td><td>472</td><td>420</td><td>177</td><td>240</td><td>296</td><td>2,665</td></tr><tr><td rowspan="2">グラウンド</td><td>施設数</td><td>4</td><td>2</td><td>4</td><td>2</td><td>2</td><td>3</td><td>17</td></tr><tr><td>利用件数</td><td>303</td><td>133</td><td>391</td><td>44</td><td>152</td><td>61</td><td>1,084</td></tr><tr><td rowspan="2">格技場</td><td>施設数</td><td></td><td></td><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td>2</td></tr><tr><td>利用件数</td><td></td><td></td><td>222</td><td></td><td></td><td></td><td>222</td></tr><tr><td rowspan="6">中学校</td><td rowspan="2">体育館</td><td>施設数</td><td>2</td><td>1</td><td>1</td><td>2</td><td>1</td><td>1</td><td>8</td></tr><tr><td>利用件数</td><td>317</td><td>164</td><td>153</td><td>40</td><td>253</td><td>85</td><td>1,012</td></tr><tr><td rowspan="2">グラウンド</td><td>施設数</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>6</td></tr><tr><td>利用件数</td><td>19</td><td>120</td><td>41</td><td>36</td><td>162</td><td>36</td><td>414</td></tr><tr><td rowspan="2">格技場</td><td>施設数</td><td></td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td></td><td>1</td><td>4</td></tr><tr><td>利用件数</td><td></td><td>87</td><td>39</td><td>162</td><td></td><td>46</td><td>334</td></tr><tr><td colspan="4">合 計</td><td colspan="2">施設数 54</td><td colspan="3">利用件数 5,731</td></tr></table>										峰山	大宮	網野	丹後	弥栄	久美浜	合計	小学校	体育館	施設数	4	2	4	2	2	3	17	利用件数	1,060	472	420	177	240	296	2,665	グラウンド	施設数	4	2	4	2	2	3	17	利用件数	303	133	391	44	152	61	1,084	格技場	施設数			2				2	利用件数			222				222	中学校	体育館	施設数	2	1	1	2	1	1	8	利用件数	317	164	153	40	253	85	1,012	グラウンド	施設数	1	1	1	1	1	1	6	利用件数	19	120	41	36	162	36	414	格技場	施設数		1	1	1		1	4	利用件数		87	39	162		46	334	合 計				施設数 54		利用件数 5,731			○需用費（消耗品費、印刷製本費、修繕料） 1,602千円 <修繕内訳> ・いさなご小学校屋外照明不良改修 33千円 ・長岡小学校体育館ランプ取替 162千円 ・網野南小学校配電盤ボックスハンドル取替 8千円 ・島津小学校体育館電球交換 207千円 ・宇川小学校屋外照明ランプ不良取替 148千円 ・吉野小学校体育館電球交換 125千円 ・高龍小学校体育館照明灯スイッチ修繕 25千円 ・弥栄中学校屋外運動場夜間照明水銀球交換 310千円 ・久美浜中学校体育館ランプ取替 176千円 ○役務費（支障物撤去手数料） 22千円							
		峰山	大宮	網野	丹後	弥栄	久美浜	合計																																																																																																																																			
小学校	体育館	施設数	4	2	4	2	2	3	17																																																																																																																																		
		利用件数	1,060	472	420	177	240	296	2,665																																																																																																																																		
	グラウンド	施設数	4	2	4	2	2	3	17																																																																																																																																		
		利用件数	303	133	391	44	152	61	1,084																																																																																																																																		
	格技場	施設数			2				2																																																																																																																																		
		利用件数			222				222																																																																																																																																		
中学校	体育館	施設数	2	1	1	2	1	1	8																																																																																																																																		
		利用件数	317	164	153	40	253	85	1,012																																																																																																																																		
	グラウンド	施設数	1	1	1	1	1	1	6																																																																																																																																		
		利用件数	19	120	41	36	162	36	414																																																																																																																																		
	格技場	施設数		1	1	1		1	4																																																																																																																																		
		利用件数		87	39	162		46	334																																																																																																																																		
合 計				施設数 54		利用件数 5,731																																																																																																																																					
成果・課題		○新型コロナウイルス感染予防のため、施設の一時休業を含む利用制限を行ったことにより、昨年度に比べて年間の利用件数が減少したが、施設の計画的な維持管理に努め、市民のスポーツ・レクリエーション活動の場を提供することにより、市民が楽しみ共につくるスポーツのまちづくりに寄与した。 ○今後も市民にとって身近で利用しやすい施設として管理運営に努めていく必要がある。																																																																																																																																									

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	05 保健体育費	2,822千円		3,107千円	285千円	90.8 %		
	目	03 体育施設費					(参考)当初予算額		
	事業	03 久美浜湾加-セナ-管理運営事業						3,107千円	
基本計画		27 多様な学びを支援する社会教育の充実		主な財源	使用料 加-セナ-使用料 507千円				
目的	豊かな自然の中で、カヌーを通して市民のスポーツ及びレクリエーションの振興を図り、心身の健康づくりに資するとともに、本市のスポーツ活動の拠点の一つとして地域の活性化に資するため、カヌーセンターの管理運営を行う。								
主要な事務・事業の概要	＜オープニングセレモニー/リーフレット作成/センター備品運搬＞ 638千円				＜カタマラン艇（2艇）の維持管理＞ 298千円				
	オープニングセレモニー：4月11日（日）				保有艇の1年毎の点検及び修理				
	オープニングセレモニーの開催経費や、リーフレットの作成経費、旧艇庫の備品整理経費など				○需用費（燃料費） 22千円				
	○需用費（印刷製本費）、委託料（リーフレット作成委託料） 88千円				○需用費（修繕料） 66千円				
	○委託料（会場設営委託料） 39千円				○委託料（設備保守管理委託料） 210千円				
	○委託料（荷物運搬作業、産業廃棄物処理、施設運搬作業委託料） 511千円				＜譲渡により取得したオリンピック競技用備品（カタマラン艇1艇）＞ 310千円				
	＜カヌーセンター管理運営＞ 889千円				※譲渡元：公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会				
	○需用費（消耗品費、印刷製本費） 123千円				○需用費（消耗品） 11千円				
	○需用費（燃料費、光熱水費） 298千円				○手数料（船舶登録手数料） 18千円				
	○保険料（火災保険料）、委託料（消防設備等保守点検委託料） 92千円				○委託料（荷物運搬作業委託料） 264千円				
○委託料（カヌーセンター管理委託料） 499千円				○備品購入費（ライフジャケット1着） 17千円					
＜貸出用備品（SUP）の整備＞ 564千円				成果・課題	新型コロナウイルス感染予防のため、施設の一時休業を含む利用制限を行ったが、施設の適切な管理運営を行い、オリンピック代表チームの合宿誘致や、全国大会の開催など、本市のスポーツ活動の普及・発展に寄与した。				
○需用費（消耗品費） 16千円									
○備品購入費（SUP1台） 548千円									

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局	
	項	05 保健体育費	31,452千円		31,962千円	510千円	98.4 %			
	目	04 学校給食費					(参考)当初予算額	課	学校教育課	
	事業	02 網野給食センター管理運営事業					37,444千円			
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実	主な財源	諸収入	市有建物損害共済金				28千円	
				諸収入	市有自動車損害共済金				372千円	
				市債	学校給食センター整備事業債（過疎対策債）				1,500千円	
目的		網野地域の小学校及び中学校に栄養バランスの取れた給食を提供し、児童生徒の心身の健全な発達に寄与する。								
主要な事務・事業の概要	○会計年度任用職員経費（調理補助員7人、事務補助員1人）		15,099千円		○浄化槽維持管理委託、浄化槽法定検査手数料					1,311千円
	○給食調理及び施設維持経費等		9,956千円		○検便検査、その他検査					266千円
	・消耗品費（厨房用消耗品ほか）		1,649千円		○その他（電話代、保険料等、電気設備保守管理委託ほか）					953千円
	・燃料費（ボイラー用灯油、ガス、配送車燃料）		3,725千円							
	・光熱水費（電気、水道代）		4,582千円							
	○修繕料		2,116千円							
	・厨房内調理機器修理		72千円							
	・施設修理（浄化槽設備ほか）		1,315千円							
	・車両点検、車検修理（配送車3台、軽トラック1台）		729千円							
	○備品購入費		1,751千円		成果・課題	○網野町域の小中学校の学校給食を効率的に調理し、栄養バランスの取れた安全・安心な給食を提供することができた。 ○安全・安心な給食の提供を維持するため、老朽化が進む設備・備品等について計画的な更新及び修繕を行っていく必要がある。				
・業務用冷凍庫（1台）、器具消毒保管機（1台）		1,217千円								
・冷凍庫（検食保存用）（1台）、L型運搬車（4台）		534千円								

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	05 保健体育費	167,910千円		167,972千円	62千円	99.9 %		
	目	04 学校給食費					(参考)当初予算額	課	学校教育課
	事業	03 小学校給食管理運営事業					167,457千円		
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実	主な財源	諸収入	小学校給食調理機器類貸付料				5,544千円
				市債	小学校給食備品整備事業債（過疎対策債）				3,800千円
目的		児童の心身の健全な発達に寄与するため、栄養バランスのとれた給食を提供する。							
主要な事務・事業の概要	小学校の給食を提供するために必要な体制の確保と、調理機器の整備などの維持管理等を行った。 ○給食調理 13,818千円 ・消耗品費 61千円 ・燃料費（ガス） 12,359千円 ・修繕料（調理機器） 1,398千円 ○給食調理業務委託 147,332千円 ・委託料（網野地域を除く全13校を委託） ○備品購入 6,463千円 ・真空冷却器1台（大宮第一小） 3,399千円 ・業務用冷凍庫2台（弥栄小、高龍小） 599千円 ・牛乳保冷库2台（網野南小、吉野小） 536千円 ・回転釜1台、立体炊飯器1台（久美浜小） 796千円 ・保温・保冷食缶92個（全小学校全クラス分） 902千円 ・食器かご等（小学校4校） 231千円			○機器移設手数料 275千円 ・機器の移設に伴う手数料 ○協議会等負担金 22千円 ・全国学校栄養士協議会負担金 12千円 ・京都府学校給食研究会負担金 9千円 ・京都府学校栄養士協議会負担金 1千円					
				成果・課題	○給食調理業務の民間委託を行うなど、給食を提供するために必要な体制の確保と効率的な運営を図ることができた。 ○民間企業の活用を進めるとともに、引き続き栄養バランスの取れた安全・安心な給食を提供する必要がある。 ○安全・安心な給食の提供を維持するため、老朽化が進む設備・備品等について計画的な更新及び修繕を行っていく必要がある。				

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	05 保健体育費	49,871千円		52,506千円	2,635千円	94.9 %		
	目	04 学校給食費					(参考)当初予算額		
	事業	04 中学校給食管理運営事業					52,725千円	課	学校教育課
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実	主な財源	諸収入	中学校給食調理機器類貸付料	1,812千円				
目的	生徒の心身の健全な発達に寄与するため、栄養バランスのとれた給食を提供する。		市債	中学校給食備品整備事業債（過疎対策債）		1,100千円			
主要な事務・事業の概要	中学校の給食を提供するために必要な体制の確保と、調理機器の整備などの維持管理等を行った。								
	○会計年度任用職員任用経費（峰山中1人、大宮中2人） ・報酬費、期末手当、共済費、費用弁償		4,503千円	○備品購入					1,744千円
				・スチームコンベクションオープン1台（丹後中）					1,118千円
				・3槽シンク1台（峰山中）					234千円
				・保温・保冷食缶33個（全中学校全クラス分）					324千円
				・食器かご等（丹後中、大宮中）					68千円
○給食調理 ・消耗品費 ・燃料費（ガス） ・修繕料（調理機器） ・手数料（包丁研磨、調理備品移設）		7,440千円 656千円 5,747千円 1,017千円 20千円	○協議会等負担金					29千円	
			・全国学校栄養士協議会負担金					24千円	
			・京都府学校給食研究会負担金					3千円	
			・京都府学校栄養士協議会負担金					2千円	
○給食調理業務委託 ・委託料（網野中学校を除く5校中3校を委託） 丹後中、弥栄中、久美浜中		36,155千円	成果・課題	○給食調理業務の民間委託を行うなど、給食を提供するために必要な体制の確保と効率的な運営を図ることができた。 ○民間企業の活用を進めるとともに、引き続き栄養バランスの取れた安全・安心な給食を提供する必要がある。 ○安全・安心な給食の提供を維持するため、老朽化が進む設備・備品等について計画的な更新及び修繕を行っていく必要がある。					

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	05 保健体育費	560千円		701千円	141千円	79.8 %		
	目	04 学校給食費					(参考)当初予算額	課	学校教育課
	事業	50 学校給食一般経費					840千円		
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源					
目的	学校給食における衛生管理の徹底を図るとともに、献立研究会の活弁な活動を促し、衛生管理や栄養面等での充実を図る。								
主要な事務・事業の概要	○衛生管理の徹底		537千円						
	学校給食衛生管理基準に基づく給食調理施設の衛生管理を徹底するため、各種検査を実施するとともに、衛生対策関連の消耗品の種類や内容を統一して、一括購入・供給を行った。								
	・衛生用消耗品購入		446千円						
	・給食調理員等検便検査		80千円						
	・給食用食材細菌検査等		11千円						
	○栄養士負担金		15千円						
	・京都府栄養士会負担金								
○給食費公会計化に伴う視察（南丹市：3人）		8千円		成果・課題	○学校給食全般における衛生管理の徹底及び給食献立の研究を進めることで、衛生管理と栄養面での充実につながった。 ○給食調理施設の衛生管理はもとより、学校関係者や給食従事者に対する安全教育を徹底するとともに、各種検査の充実を図り、より安全・安心な学校給食を実施していく必要がある。				
・旅費（普通旅費）		5千円							
・有料道路通行料		3千円							

予算科目	款	11 災害復旧費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局	
	項	03 文教施設災害復旧費	3,850千円		3,850千円	0千円	100.0 %			
	目	01 公立学校施設災害復旧費					(参考)当初予算額	課	教育総務課	
	事業	01 公立学校施設災害復旧事業					0千円			
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源	国負	公立学校施設災害復旧事業費負担金（2/3）			513千円		
目的	令和3年8月3日の落雷により被災した学校施設の復旧を図る。			諸収入	市有建物損害共済金			2,705千円		
				市債	公立学校施設災害復旧事業債			200千円		
主要な事務・事業の概要	○いさなご小学校電気設備災害復旧事業 ・工事請負費		3,850千円							
				成果・課題	○令和3年8月3日の落雷により、いさなご小学校の高圧受電設備が被害を受け停電となる災害が発生したため、復旧工事を実施した。 ○被災した公立学校施設を復旧することにより施設の機能回復を図ることができた。					

予算科目	款	08 土木費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	建設部													
	項	04 都市計画費	65,760千円		65,766千円	6千円	99.9 %															
	目	03 都市公園費					(参考)当初予算額	課	都市計画 ・ 建築住宅課													
	事業	01 都市公園等維持整備事業【再掲】					65,753千円															
基本計画		12 快適な都市空間の形成	主な財源	使用料	都市公園占用料				76千円													
目的		都市公園を適正に維持管理し、市民が快適で安全・安心に利用できるようにする。		諸収入	地方公共団体補助活動助成金				604千円													
			市債	過疎地域持続的発展特別事業債（過疎対策債）				49,000千円														
主要な事務・事業の概要	指定管理による適切な施設管理や利用者サービスの提供を行った。また、施設の整備並びに修繕工事を実施し、利用者の安全性・利便性を確保した。 ○八丁浜シーサイドパーク維持管理経費 15,654千円 【所管：都市計画・建築住宅課】 ・ 指定管理委託料 15,610千円 ・ その他（保険料） 44千円 （参考）都市公園利用状況 <table><tr><td>施設名</td><td>利用数</td></tr><tr><td>峰山途中ケ丘公園</td><td>14,748人</td></tr><tr><td>峰山総合公園</td><td>21,048人</td></tr></table> <table><tr><td>施設名</td><td>利用数</td></tr><tr><td>八丁浜シーサイドパーク</td><td>23,615人</td></tr><tr><td>八丁浜有料駐車場</td><td>6,442台</td></tr></table>			施設名	利用数	峰山途中ケ丘公園	14,748人	峰山総合公園	21,048人	施設名	利用数	八丁浜シーサイドパーク	23,615人	八丁浜有料駐車場	6,442台	○峰山途中ケ丘公園・峰山総合公園維持管理経費 50,106千円 【所管：生涯学習課】 ・ 指定管理委託料 42,500千円 ・ 指定管理者休業協力金 154千円 期間：令和3年4月25日～令和3年5月31日 104千円 令和3年8月27日～令和3年9月17日 50千円 ・ 修繕料（峰山途中ケ丘公園街渠修繕工事） 879千円 ・ 工事請負費（京丹後夢球場内野グラウンド整備工事） 6,221千円 ・ その他（建築確認手数料、保険料） 150千円 【所管：都市計画・建築住宅課】 ・ 用地賃借料（借上面積：1,995㎡） 202千円						
				施設名	利用数																	
				峰山途中ケ丘公園	14,748人																	
				峰山総合公園	21,048人																	
				施設名	利用数																	
				八丁浜シーサイドパーク	23,615人																	
				八丁浜有料駐車場	6,442台																	
				成果・課題	○都市公園の維持管理を適正に実施し、利用者の安全で安心な利用に資することができた。 ○峰山途中ケ丘公園街渠修繕工事、京丹後夢球場内野グラウンド整備工事を実施し、利用者の安全性や利便性を確保した。																	